

—県民意識調査の実施結果について—

県民意識調査の実施結果について

趣 旨

ふるさと石川の環境を守り育てる条例に基づき、県民意識調査を実施（7月～10月の間で2週間程度）

（参考）ふるさと石川の環境を守り育てる条例（抜粋）

第二十一条（略）

4 知事は、環境総合計画を定めるに当たっては、県民の意見が広く反映されるように配慮するものとする。

調査項目

県民の環境に関する意識やニーズ等を把握するため、以下の項目で実施

- | | <県民版> |
|-------------------------|-------|
| 1 関心のある環境課題 | |
| 2 環境に関する満足度 | |
| 3 日常生活で実施している行動 | |
| 4 日常の中で感じていること | |
| 5 地球温暖化（再エネの項目も新たに追加） | |
| 6 循環型社会の構築 | |
| 7 里山里海の利用保全（生物多様性の保全） | |
| 8 自由意見 | |

- | | <事業者版> |
|------------------|--------|
| 1 環境への関心や意識 | |
| 2 再エネ・省エネの取組状況 | |
| 3 自由意見 | |

県民意識調査の実施結果について

調査概要



県民版

調査対象	満18歳以上の石川県民
有効回答数	配布対象数：2,000人 有効回答数：1,159人／回答率58.0%
調査方法	郵送又はWebで回答
調査期間	令和7年9月18日～令和7年10月10日
調査結果報告書	4ページから51ページまで



事業者版

調査対象	県内事業者
有効回答数	配布対象数：500事業者 有効回答数：197事業者／回答率39.4%
調査方法	郵送又はWebで回答
調査期間	令和7年7月28日～令和7年8月12日
調査結果報告書	52ページから109ページまで

環 境 に 関 す る 県 民 意 識 調 査
報 告 書

令 和 7 年 度
石 川 県

目 次

§ 1 調査の概要

この報告書のみかた	2
1 調査の目的	3
2 調査の項目	3
3 調査の設計	3
4 標本構成	3
5 回収結果	4
6 回答者の属性	5

§ 2 調査結果

1) 関心のある環境課題	7
2) 環境に関する満足度	9
3) 日常生活で実行している行動	11
4) 日常生活の中で感じていること.....	12
5) 地球温暖化について	13
6) 循環型社会の構築について.....	28
7) 里山里海の利用保全について.....	30
8) 環境問題に関する自由意見	33

§ 3 調査票

34

§ 1 調査の概要

この報告書のみかた

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象者数)に対する百分比(%)を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分比(%)の合計は100%を超える。
- (2) 百分比(%)は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 分類別の表中の百分比(%)は、すべて各分類項目ごとの該当対象者数を100%として算出した。
- (4) 本文中の結果の数値は、小数第1位までを%で表示したが、他の数値との比較で大小関係を示す場合は、整数値で「…ポイントの差」という表現をとった。

1. 調査の目的

この調査は、環境についての県民の意識を把握し、「石川県環境総合計画」を改定するための基礎資料とすることを目的とする。なお、一部の設問において令和元年に実施した「環境に関する県民意識調査」の調査結果との比較を行った。

2. 調査の項目

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1) 関心のある環境課題 | 5) 地球温暖化対策 |
| 2) 環境に関する満足度 | 6) 循環型社会の構築 |
| 3) 日常生活で実行している行動 | 7) 里山里海の利用保全 |
| 4) 日常生活の中で感じていること | 8) 環境問題に関する自由意見 |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：石川県全域
- (2) 調査対象：石川県に居住する満18歳以上の男女
- (3) 標本数：2,000人
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（配布：郵送、回収：郵送またはインターネット回答）
- (6) 抽出台帳：住民基本台帳
- (7) 調査時期：令和7年9月18日～令和7年10月10日

4. 標本構成

(1) 層化区分

○地域

各地域の市町は、首都圏など大都市圏と異なり、人口的に大きな差がないため、市郡規模での層化は行わず、市町を第一層、各市町内の町を第二層として層化抽出を行った。

(2) 抽出の方法

- a) 第1次抽出単位となる調査地点として、現行市町を使用した。
- b) 調査地点の抽出数については、1調査地点あたりの標本数が6程度になるように、標本数より算出し、決定した。
- c) 調査地点の抽出は、層内での抽出地点数が2地点以上割り当てられた層については、等間隔（層内の該当調査区の人口数合計を調査地点数で除すことにより算出）抽出法によって行った。
- d) 各調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・街区・番地等を指定）より、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

(3) 標本数の配分

各地域、市町規模の層における指定母集団数（令和5年10月1日現在の満18歳以上の人口数）より、2,000の標本を比例配分した。

区分	市町	抽出地点数	抽出数
能登北部	輪島市	8	48
	珠洲市	4	24
	穴水町	3	18
	能登町	5	30
能登中部	七尾市	15	90
	羽咋市	6	36
	志賀町	6	36
	宝達志水町	4	24
	中能登町	5	30
石川中央	金沢市	133	794
	かほく市	10	60
	白山市	33	198
	野々市市	16	96
	津幡町	11	66
	内灘町	8	48
加賀南部	小松市	31	186
	加賀市	20	120
	能美市	14	84
	川北町	2	12
計		334	2,000

5. 回収結果

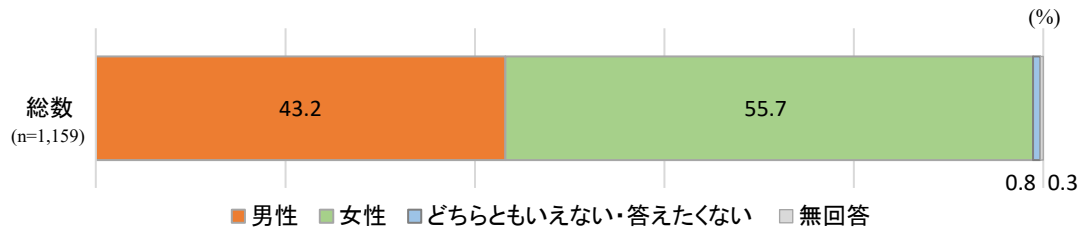
有効回収数は1,159票（58.0％）であった。地域区分別の回収数（率）は次の通り。

区分	対象数	有効回収数（率）
能登北部	120	64（53.3％）
能登中部	216	122（56.5％）
石川中央	1,262	737（58.4％）
加賀南部	402	231（57.5％）
無回答		5（－）
計	2,000	1,159（58.0％）

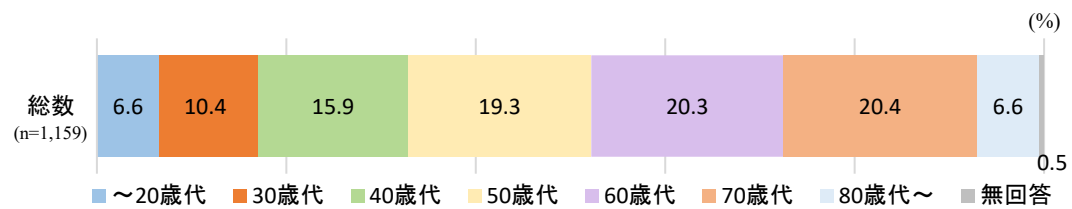
6. 回答者の属性

本調査の回答者（有効回収標本）1,159人の基本属性は次の通りである。

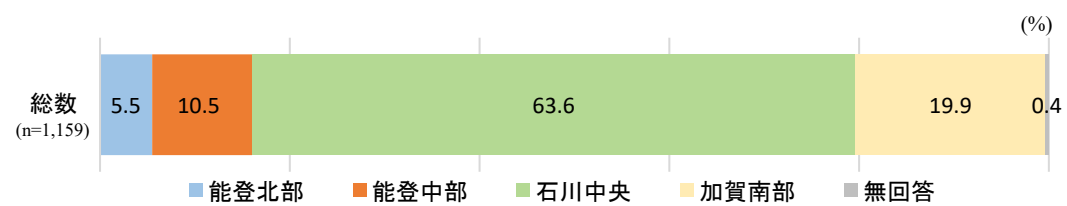
（１）性 別



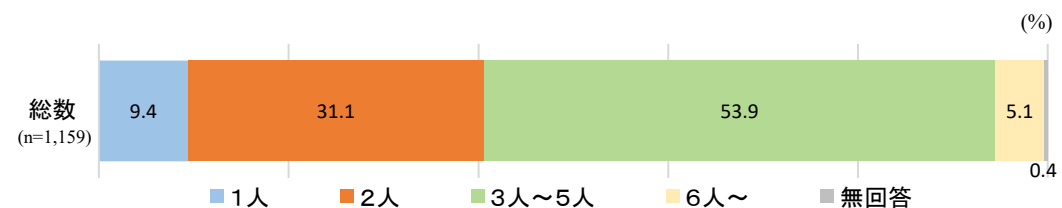
（２）年 齢



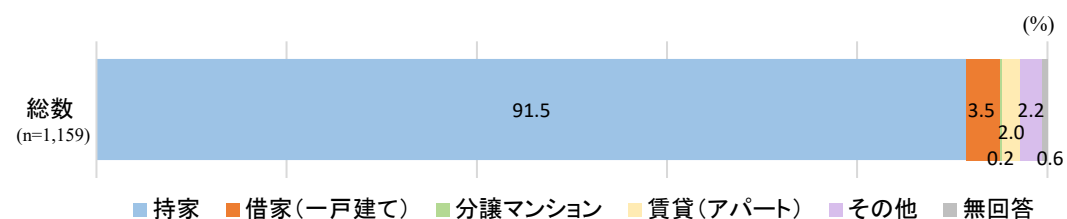
（３）居住地



（４）世帯人数



（５）住居形態

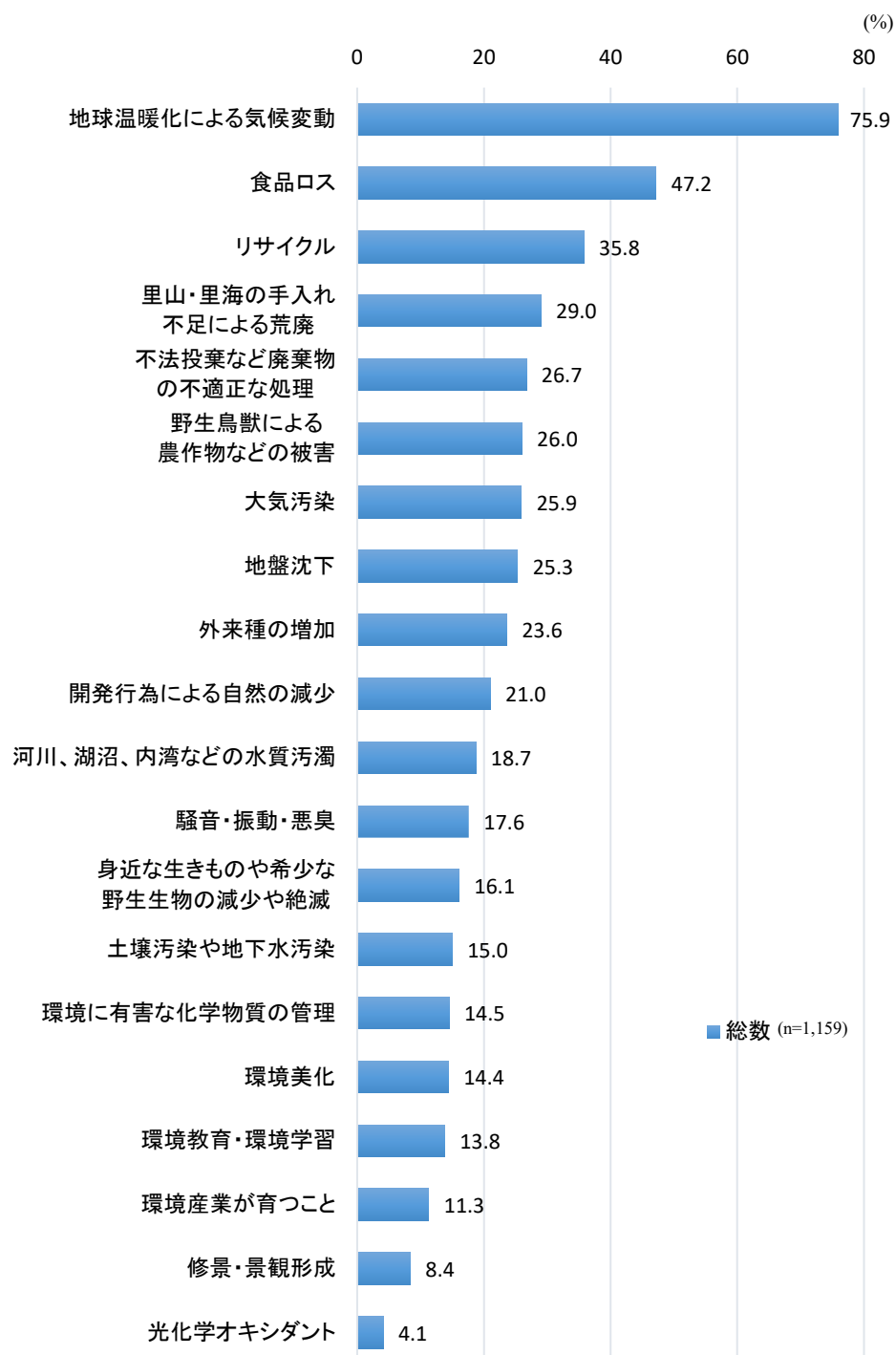


§ 2 調查結果

1) 関心のある環境課題

問2 次の環境課題について、あなたが関心のあるものを選んでください。（複数回答）

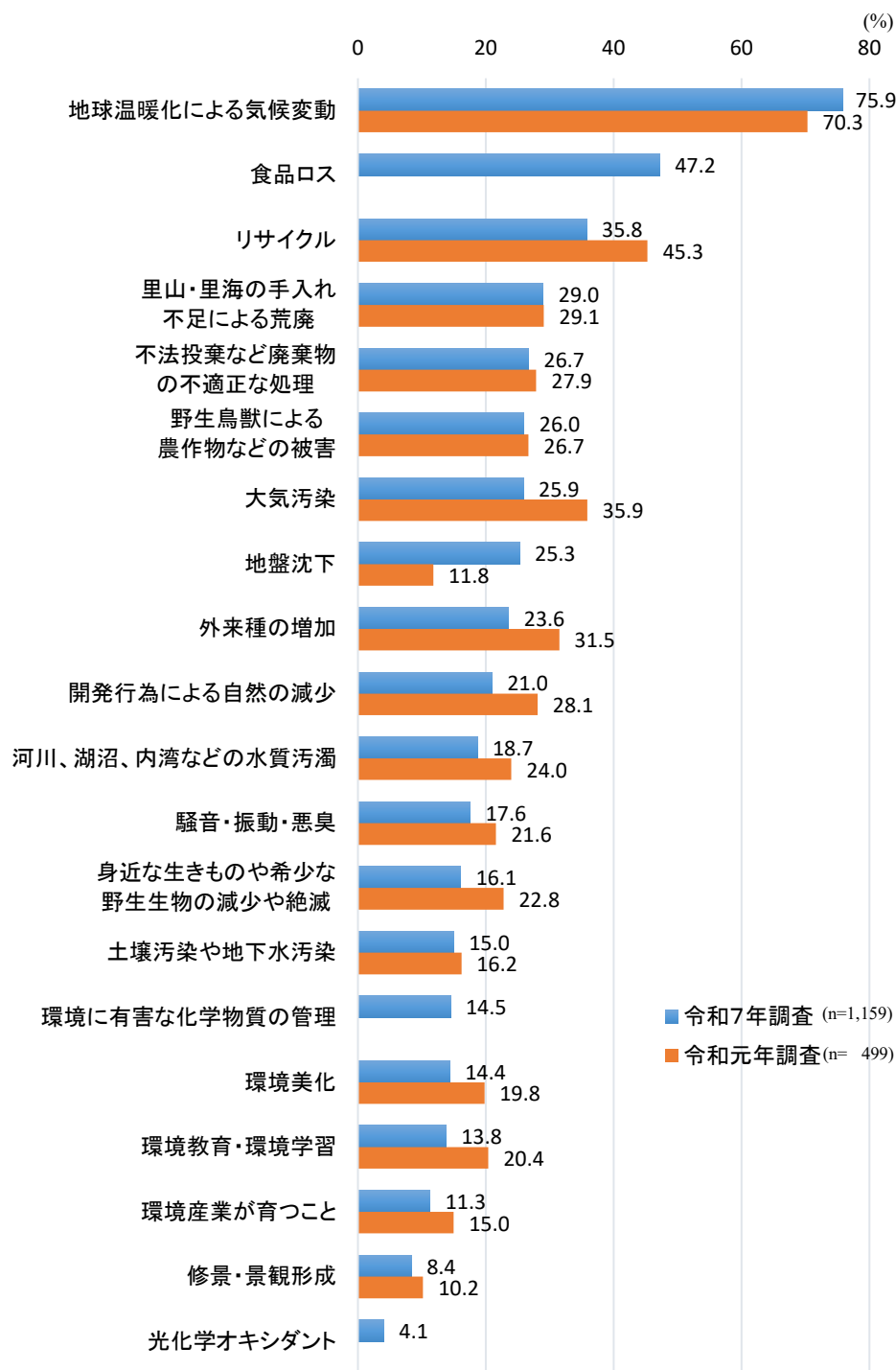
「地球温暖化による気候変動」75.9%が最も高く、「食品ロス」47.2%、「リサイクル」35.8%、「里山・里海の手入れ不足による荒廃」29.0%、「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」26.7%が続く。



1) 関心のある環境課題（経年比較）

前回調査（令和元年）と比較すると、「地球温暖化による気候変動」が最も高いことは変わらず、上位順位に大きな変動はない。「地球温暖化による気候変動」と「地盤沈下」は、前回調査を上回っているが、それら以外は前回調査を下回っている。

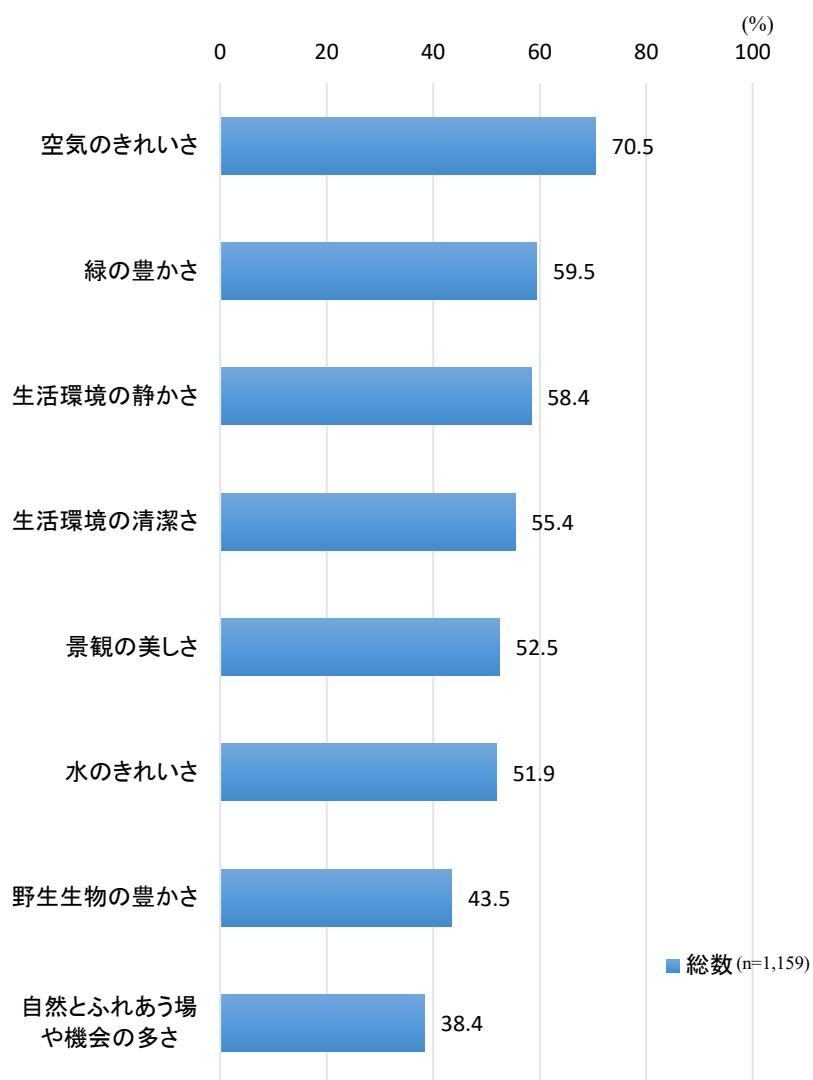
注) 「食品ロス」「環境に有害な化学物質の管理」「光化学オキシダント」は令和7年調査で初出。「PM2.5、酸性雨などの越境汚染」は令和7年調査で選択肢から除外



2) 環境に関する満足度

問3 あなたは、自分が住んでいるまちの環境についてどの程度満足していますか。あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

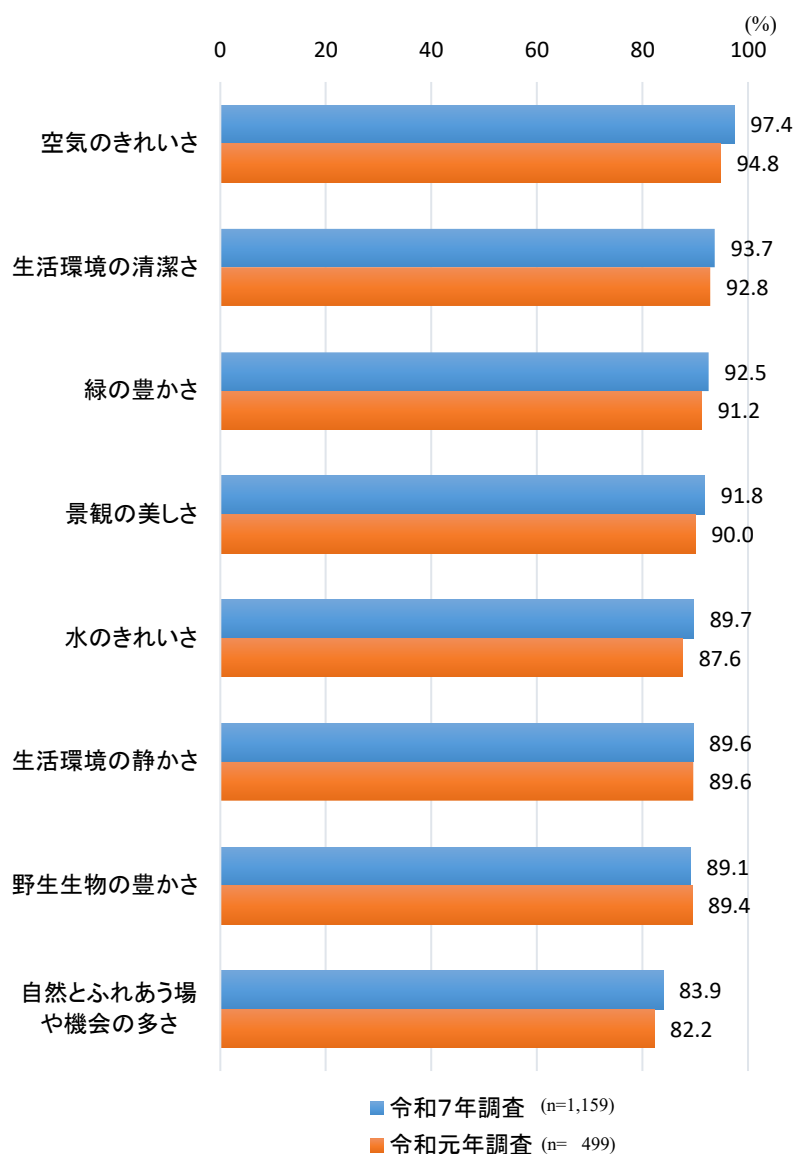
満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の計）は、「空気のきれいさ」が70.5%と最も高く、「緑の豊かさ」59.5%、「生活環境の静かさ」58.4%、「生活環境の清潔さ」55.4%、「景観の美しさ」52.5%が続く。



2) 環境に関する満足度（経年比較）

前回調査（令和元年）と比較して、各項目ごとの差は小さく、順位もほぼ同様となっている。

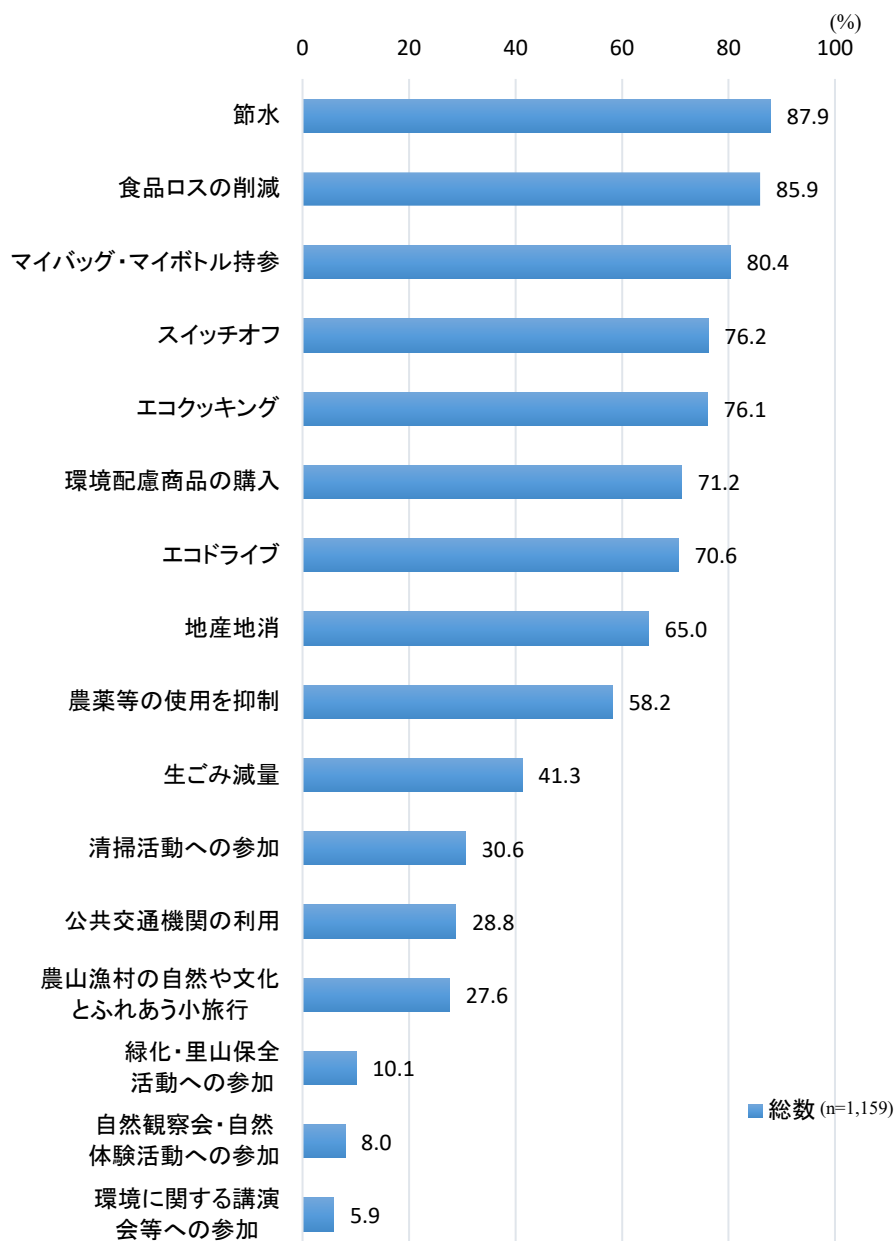
注）前回調査と比較するため、「満足」「どちらかといえば満足」に「まあまあ」を加えた値で比較



3) 日常生活で実行している行動

問4 あなた自身、あるいはあなたのご家庭における日常生活の中で、環境を守ることにつながる次の行動をどの程度実行していますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

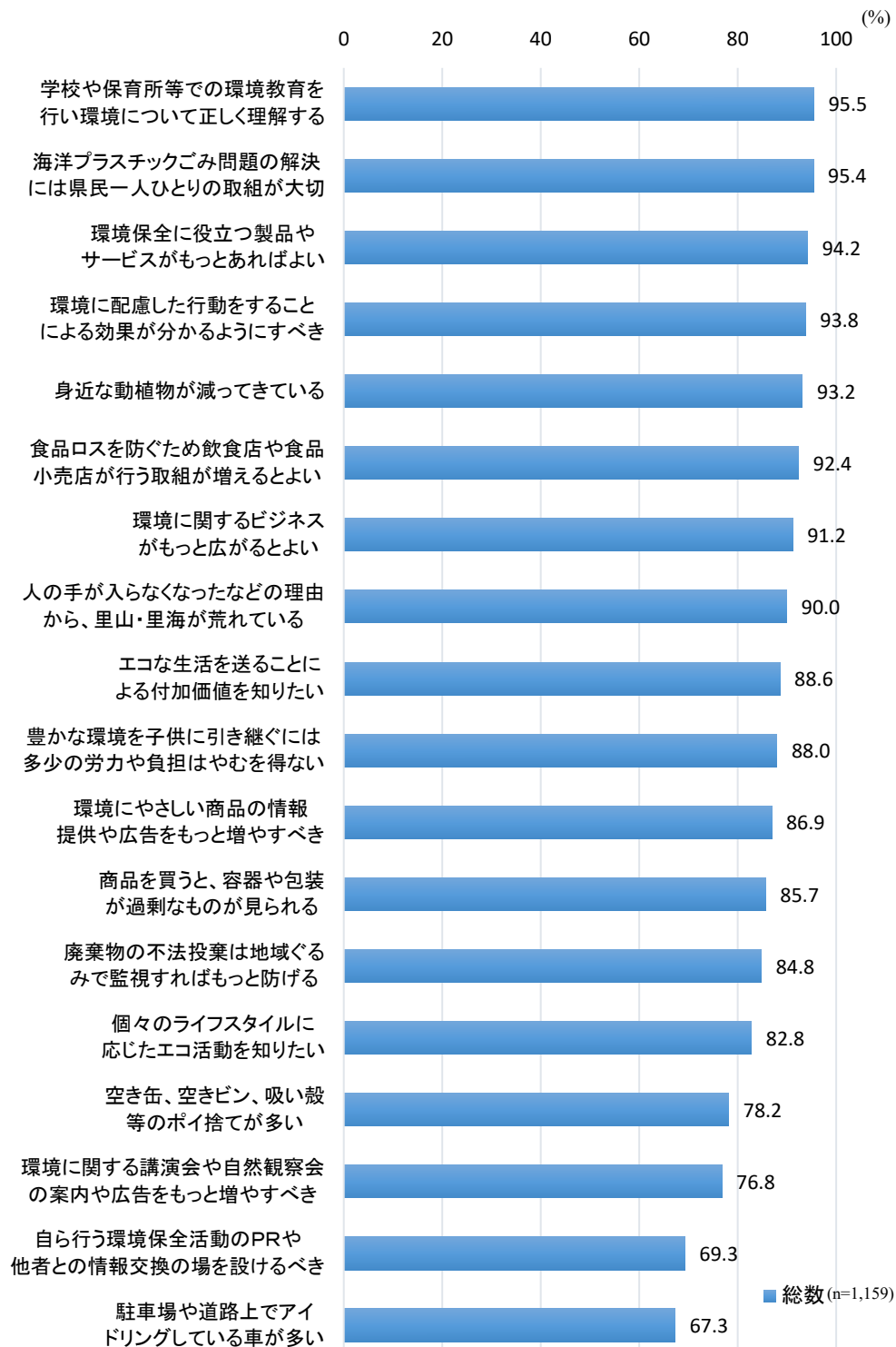
実行している（「いつも実行している」「ときどき実行している」の計）割合は、「節水」が87.9%と最も高く、「食品ロスの削減」85.9%、「マイバッグ・マイボトル持参」80.4%、「スイッチオフ」76.2%、「エコクッキング」76.1%が続く。



4) 日常生活の中で感じていること

問5 あなたは、ふだんの生活のなかで次のことをどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

そう思う（「そう思う」「少しそう思う」の計）割合は、「学校や保育所等での環境教育を行い環境について正しく理解する」が95.5%と最も高く、「海洋プラスチックごみ問題の解決には県民一人ひとりの取組が大切」95.4%、「環境保全に役立つ製品やサービスがもっとあればよい」94.2%、「環境に配慮した行動をすることによる効果が分かるようにすべき」93.8%、「身近な動植物が減ってきている」93.2%が続いている。

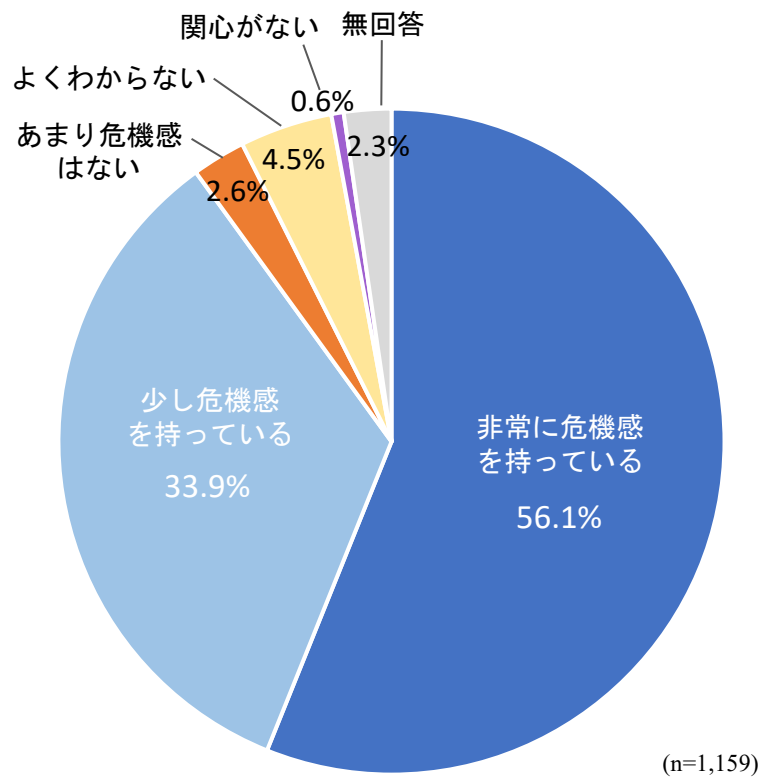


5) 地球温暖化について

(1) 地球温暖化について感じる事

問 6 (1) 地球温暖化について、あなたはどのように思われますか。

「非常に危機感を持っている」56.1%、「少し危機感を持っている」33.9%と、全体の9割が「危機感を持っている」と回答。

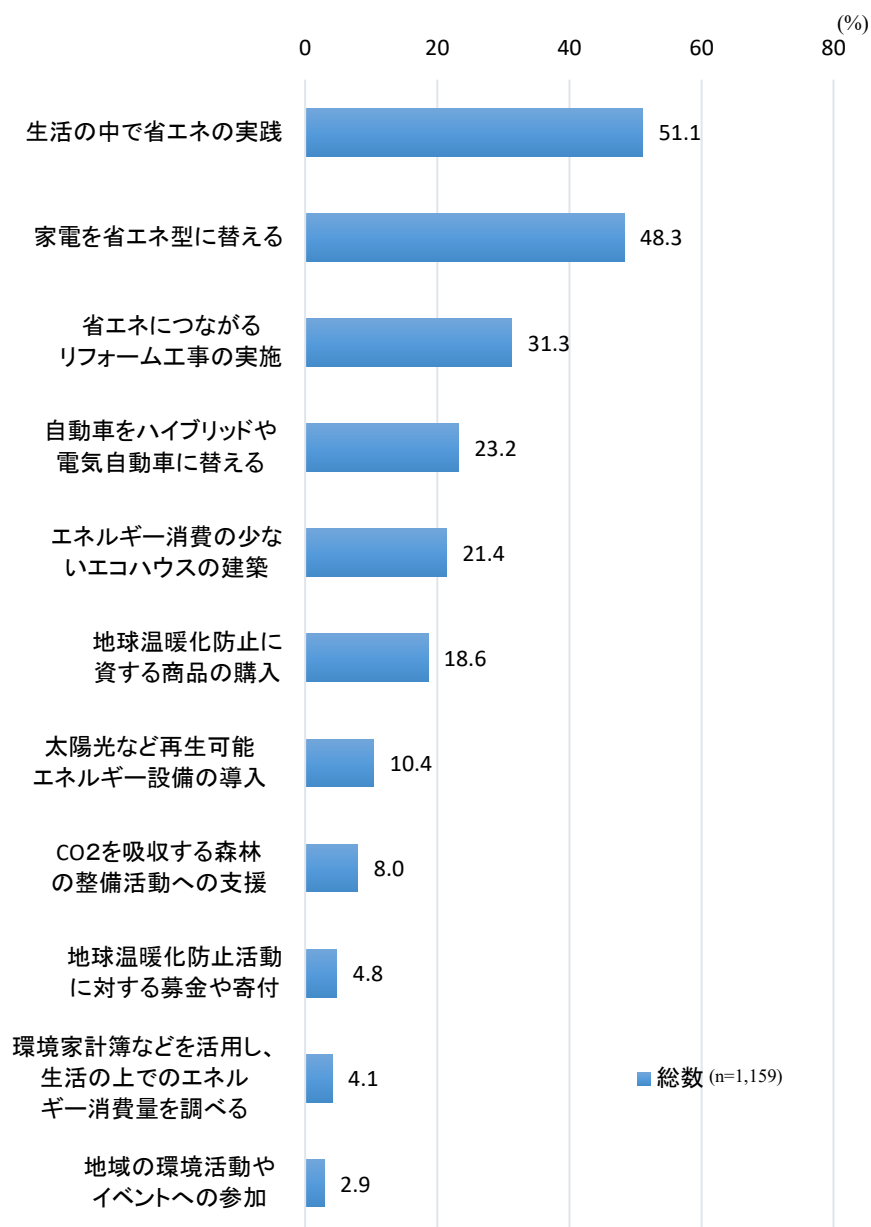


5) 地球温暖化について

(2) 取り組んでいる地球温暖化対策

(2) 地球温暖化対策について、取り組んでいることは何ですか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

「生活の中で省エネの実践」51.1%、「家電を省エネ型に替える」48.3%、「省エネにつながるリフォーム工事の実施」31.3%など、“自身の生活の中での取り組み”が上位にあがっている。

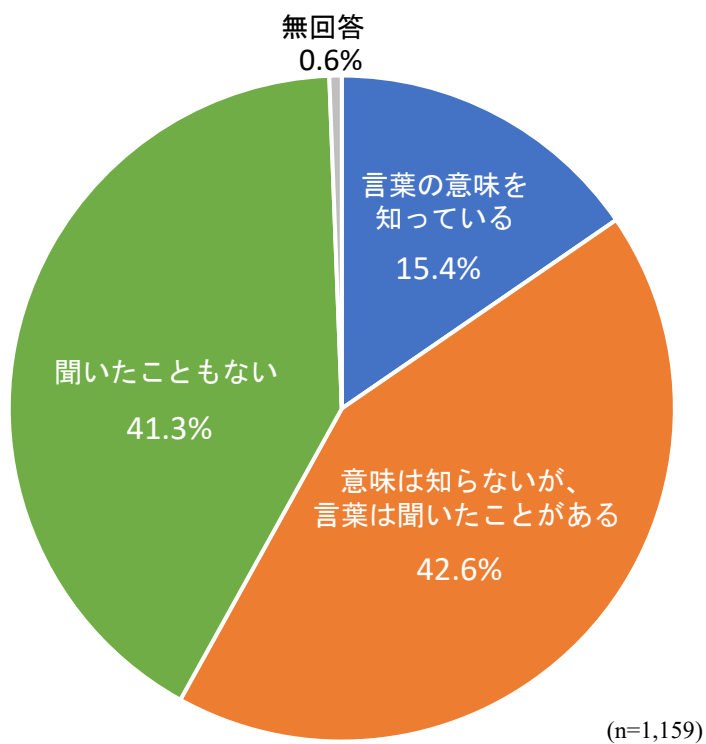


5) 地球温暖化について

(3) 「気候変動適応」認知状況

(3) あなたは「気候変動適応」という言葉の意味を知っていますか。

「言葉の意味を知っている」15.4%、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」42.6%を合わせ、『気候変動適応』認知者は全体の58.0%となっている。

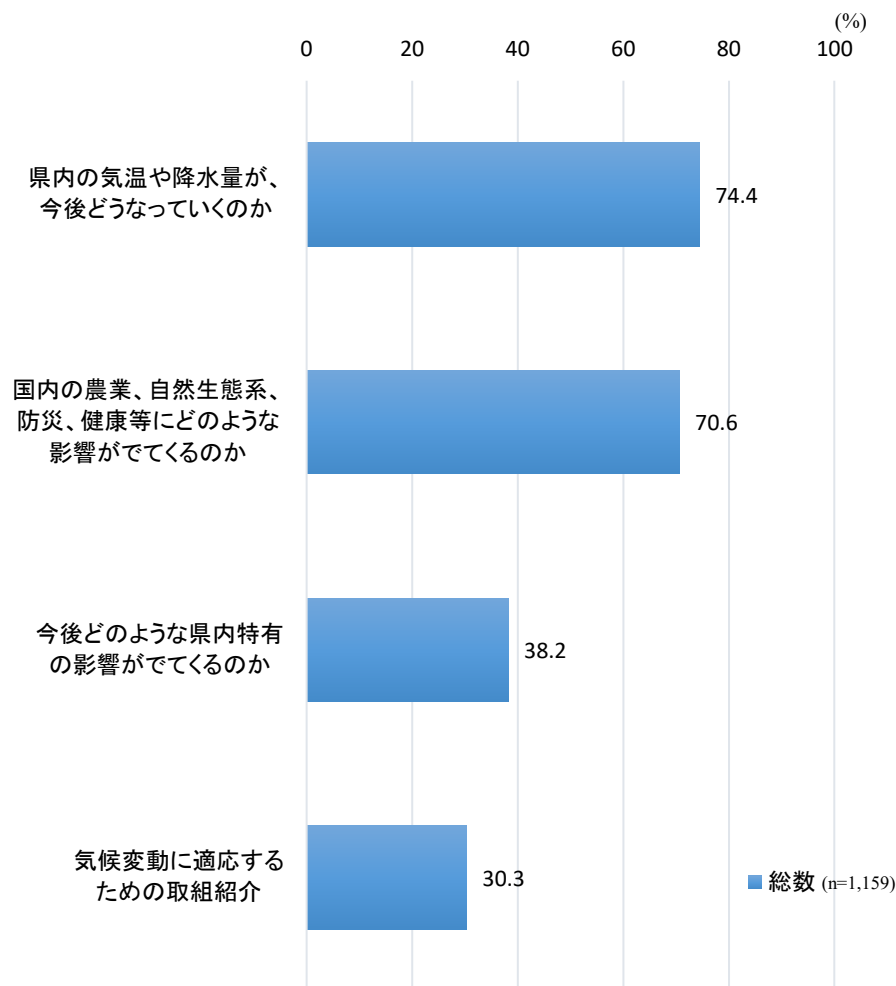


5) 地球温暖化について

(4) 関心のある情報

(4) 次の気候変動の影響や適応に関することについて、あなたが関心のあるものを選んでください。(複数回答)

「県内の気温や降水量が、今後どうなっていくのか」74.4%、「国内の農業、自然生態系、防災、健康等にどのような影響がでてくるのか」70.6%が多くあがっている。

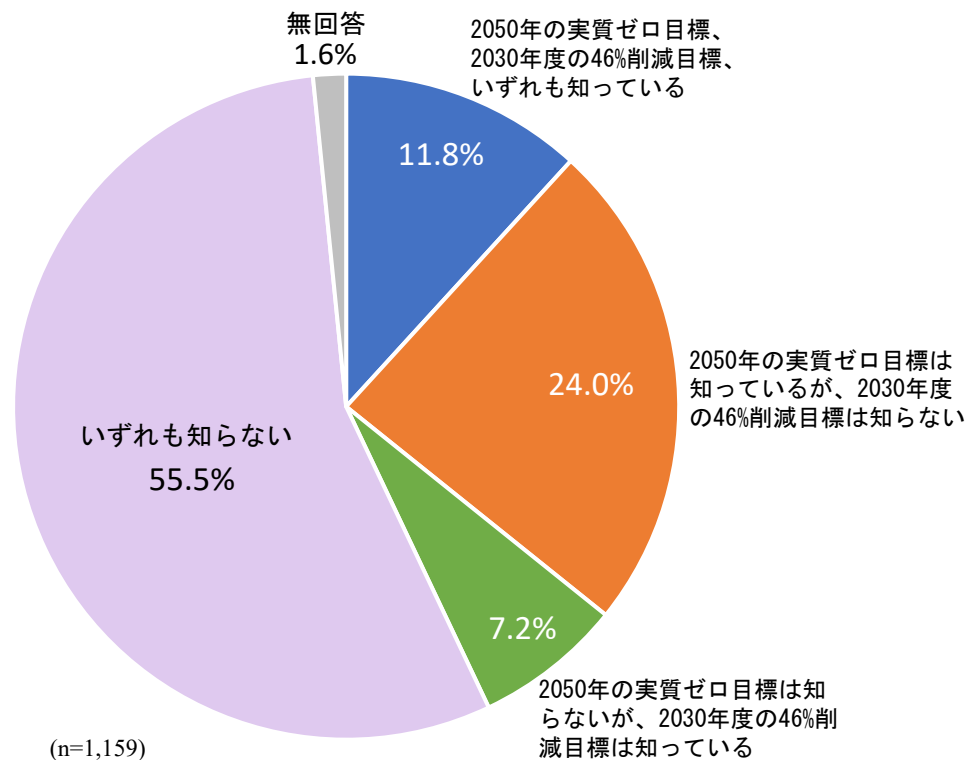


5) 地球温暖化について

(5) 「温室効果ガス削減目標」認知状況

(5) 政府が「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標」を法律に位置付け、通過点として「2030年度に（2013年度と比べ）46%削減するという目標」を掲げていることについてご存じですか。

「2050年の実質ゼロ目標」認知・・・35.8%
「2030年度46%削減目標」認知・・・19.0%
「いずれも知らない」・・・55.5%
となっている。

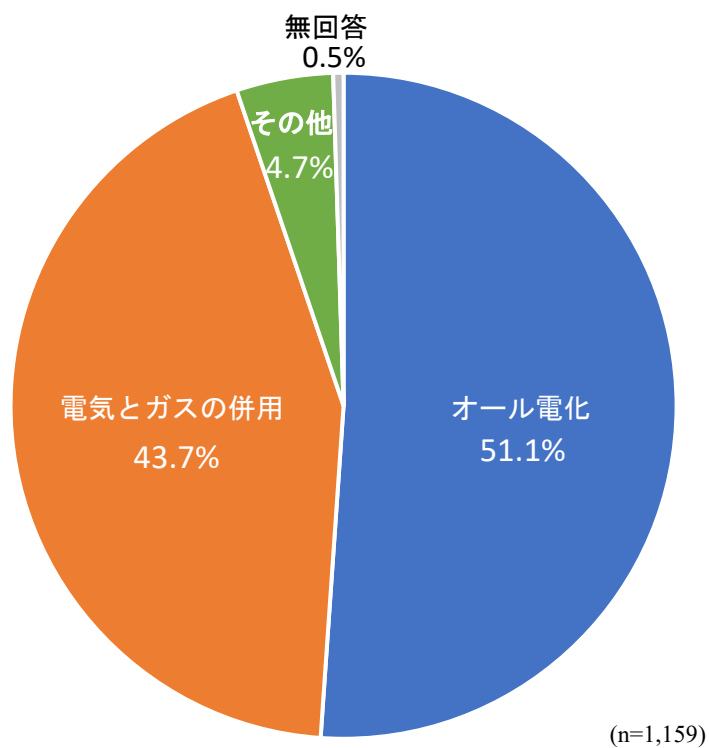


5) 地球温暖化について

(6) 住宅での利用エネルギー

(6) あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

「オール電化」が51.1%と半数を占め、「電気とガスの併用」は43.7%となっている。



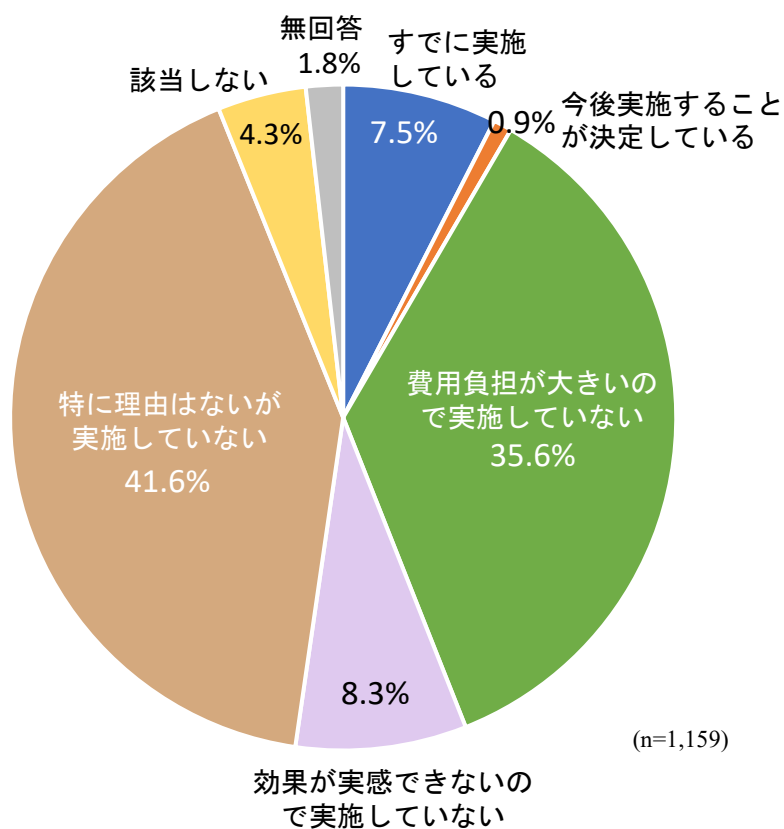
5) 地球温暖化について

(7) 再生可能エネルギー由来電力 利用状況

(7) 再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを実施していますか。

「すでに実施している」人は全体の7.5%、「今後実施することが決定している」0.9%をあわせ、全体の8.4%が再生可能エネルギー由来の電力切り替え者（予定含む）となっている。

切り替えを予定していない人の理由は、「費用負担が大きい」ことが多くあがっている。



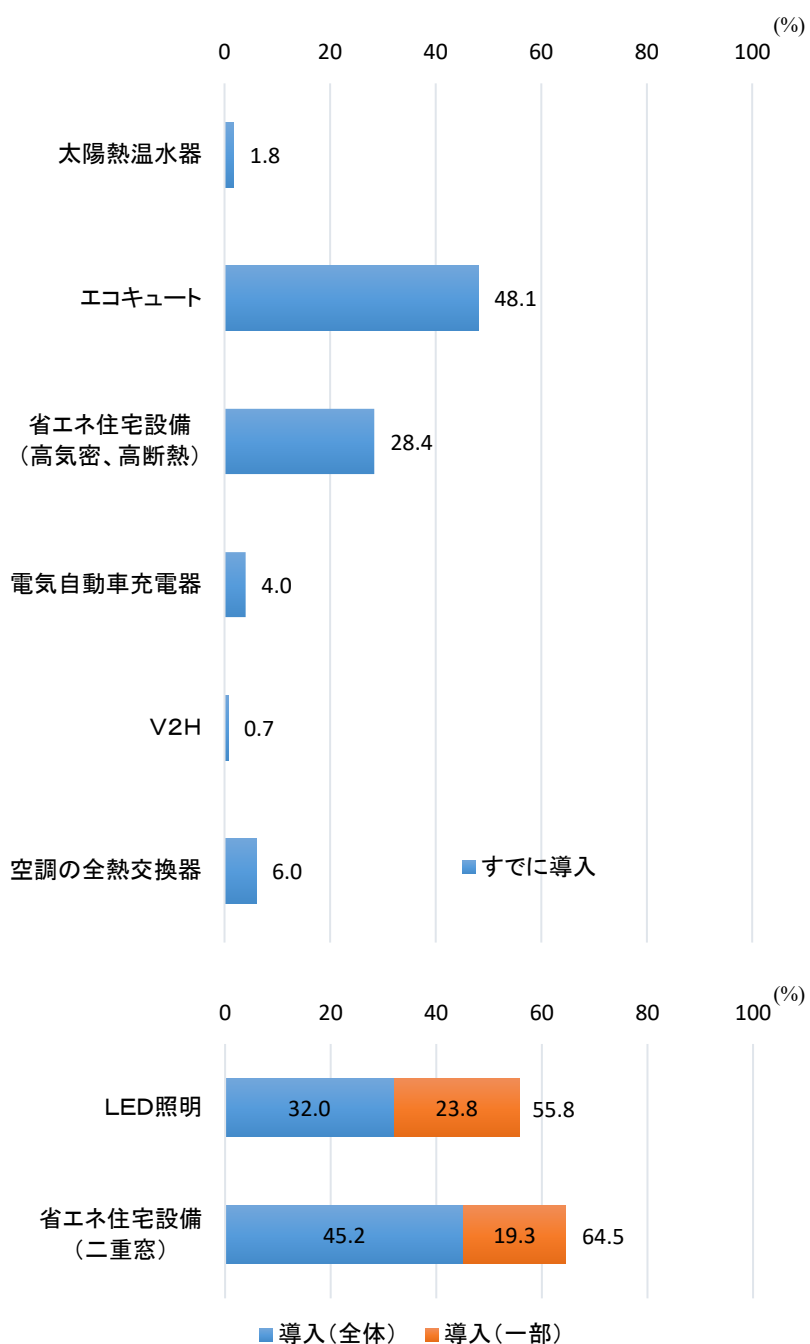
5) 地球温暖化について

(8) 住宅設備 導入状況

(8) あなたの現在のお住まいは、次の設備を導入していますか。

住宅用エネルギー関連設備では、「エコキュート」48.1%、「省エネ住宅設備（高気密、高断熱）」28.4%が上位にあがっている。

住宅の高効率設備では、「省エネ住宅設備（二重窓）」64.5%、「LED照明」55.8%となっている。※一部導入含む



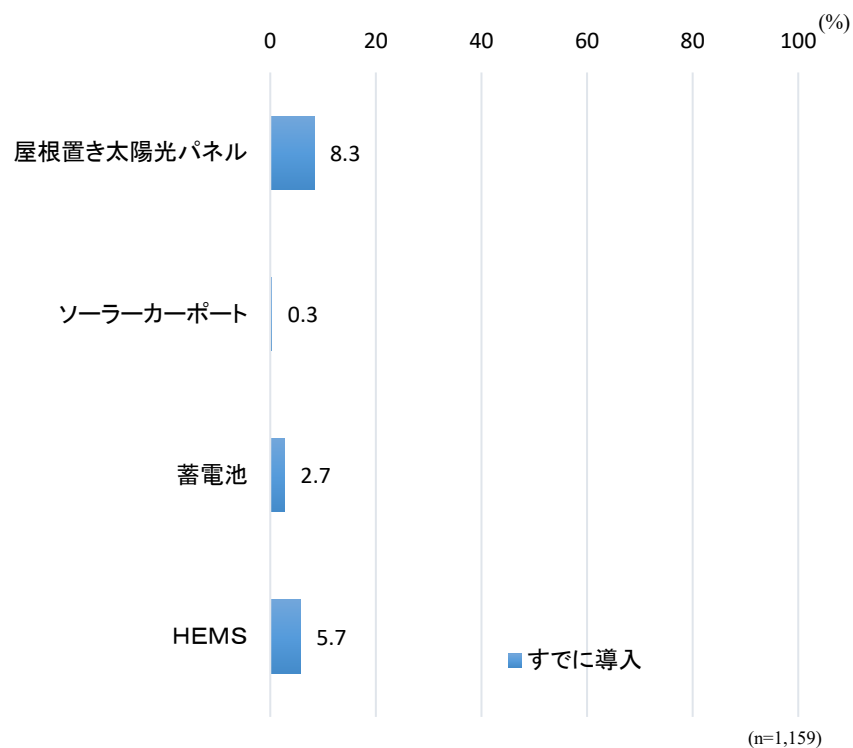
(n=1,159)

5) 地球温暖化について

(9) 太陽光発電システム 導入状況

(9) あなたの現在のお住まいは、以下の太陽光発電システムを導入していますか。

太陽光発電システムで導入しているシステムは、「屋根置き太陽光パネル」8.3%、「HEMS」5.7%が比較的多くあがっている。

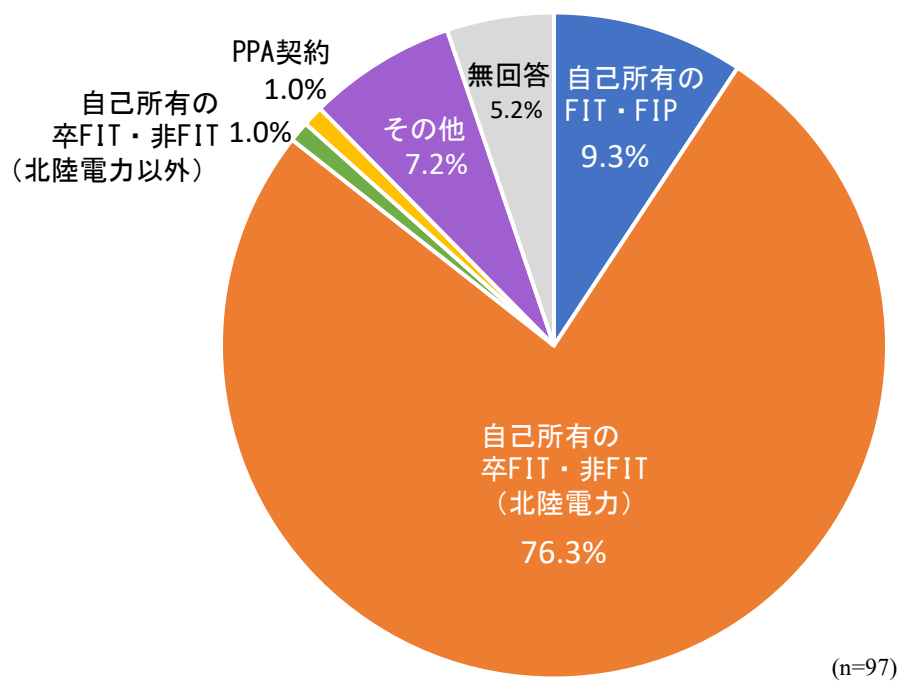


5) 地球温暖化について

(10) 太陽光発電 発電電力の売買契約 ※太陽光発電システム導入者のみ

(10) 発電した電力の売電契約として、最もあてはまるものを1つ選んでください。

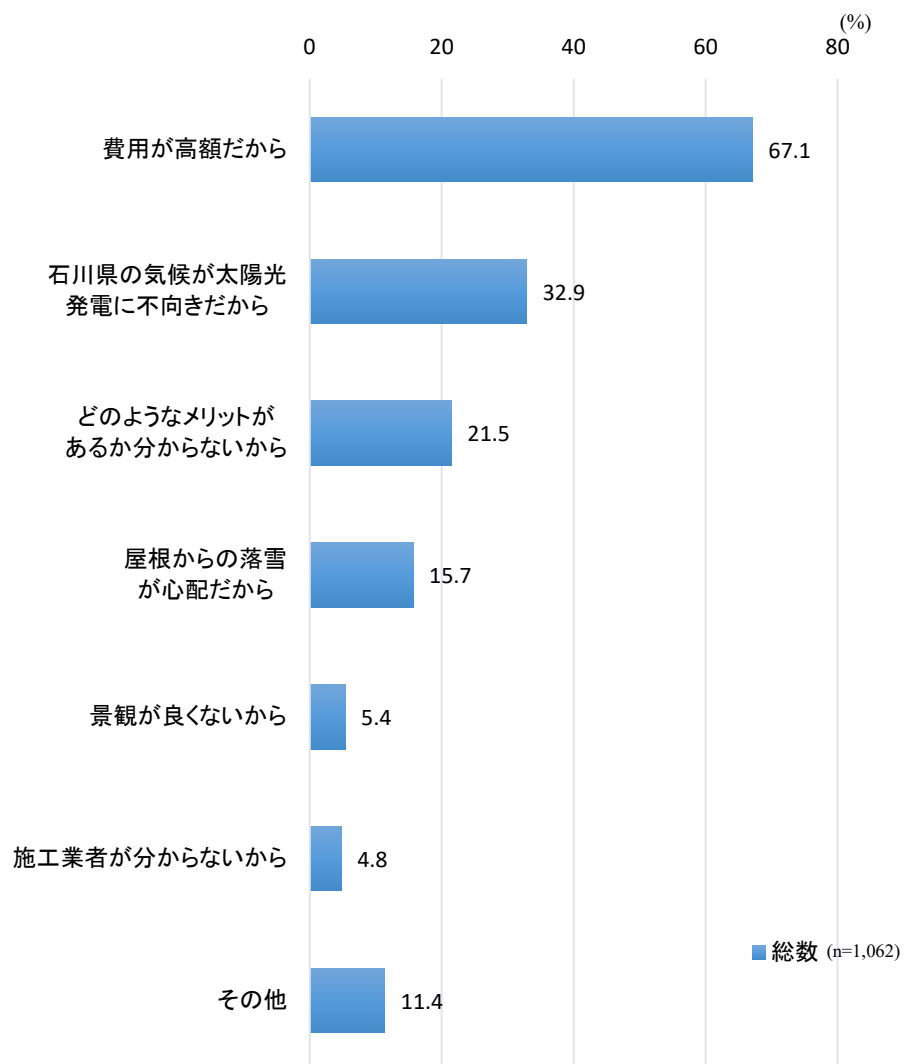
「自己所有の卒FIT・非FIT（北陸電力）」が76.3%と、太陽光発電システム導入者の3/4を占める。



5) 地球温暖化について

(11) 太陽光発電を導入していない理由 (11) 導入していない理由は何ですか。(複数回答)

「費用が高額」が67.1%と最も高く、「石川県の気候が太陽光発電に不向き」32.9%、「どのようなメリットがあるか分からない」21.5%が続く。

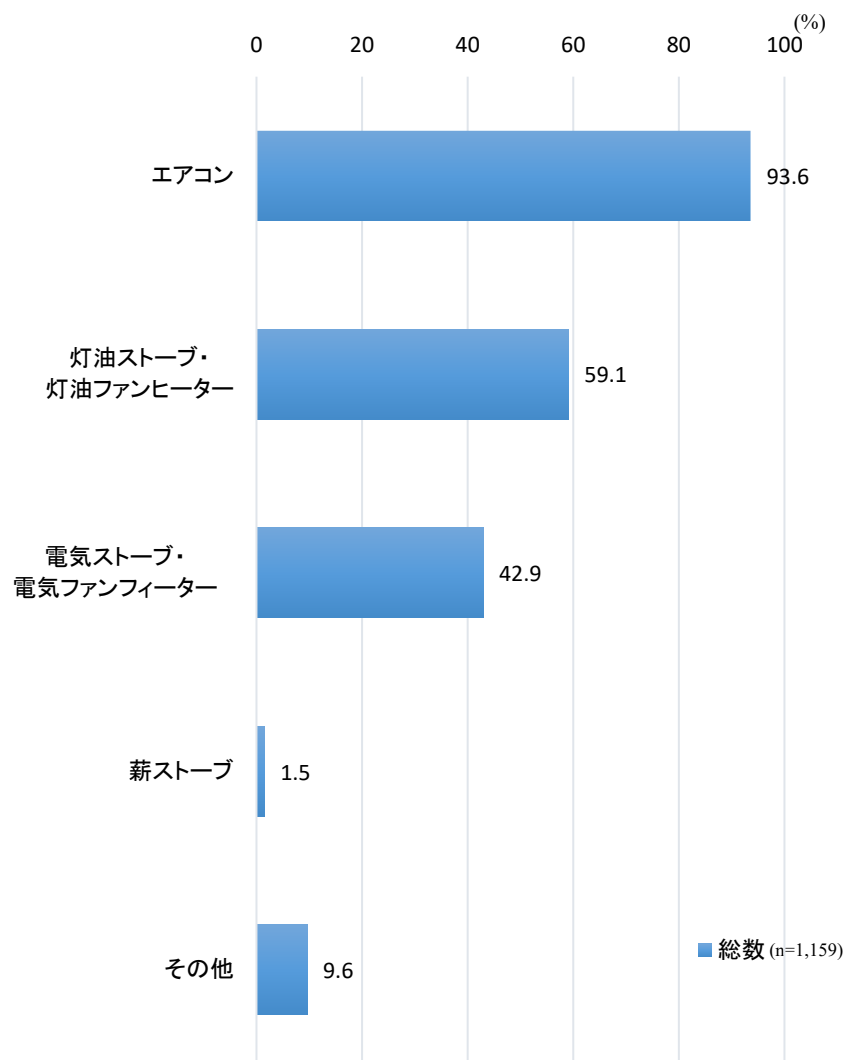


5) 地球温暖化について

(12) 使用暖房機器

(12) ご自宅の暖房機器の種類を教えてください。

「主に利用」と「たまに利用」を合わせた暖房機器使用率は、「エアコン」が93.6%で最も高く、次いで「灯油ストーブ・ファンヒーター」59.1%、「電気ストーブ・ファンヒーター」42.9%の順となっている。



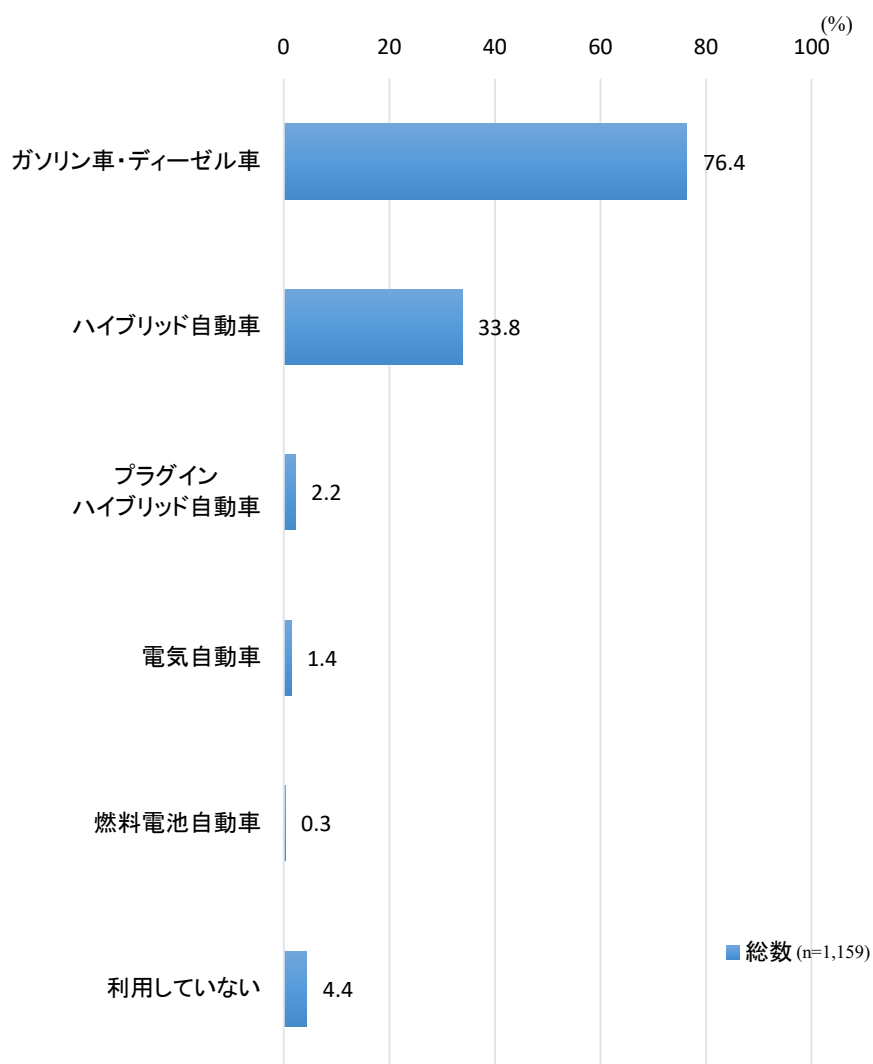
5) 地球温暖化について

(13) 自家用車の車種

(13) あなた及び同居する家族が現在、利用している自家用車の車種は何ですか。(複数回答)

「ガソリン車・ディーゼル車」が76.4%で最も高く、「ハイブリッド自動車」33.8%が続く。

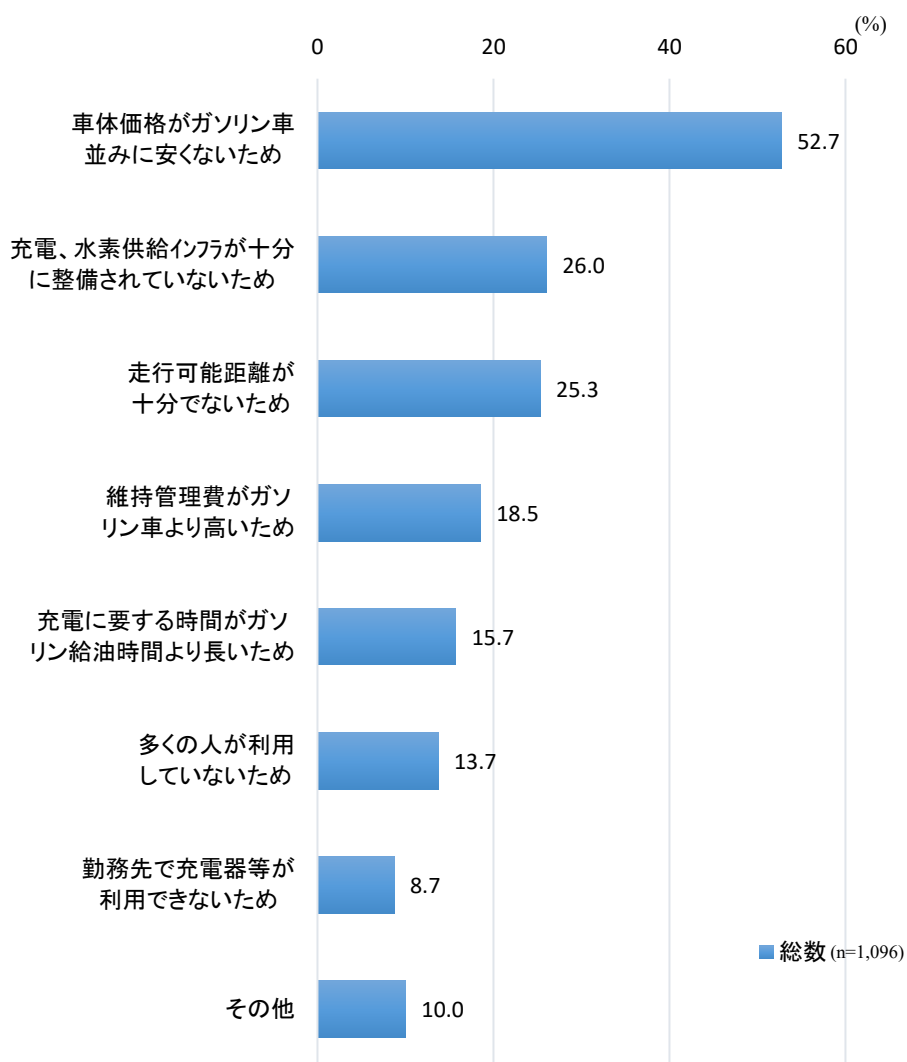
「プラグインハイブリッド自動車」「電気自動車」「燃料電池車」は合わせても5%に満たない。



5) 地球温暖化について

- (14) EV、PHEV、FCVを利用しない理由 (14) 自家用車をお持ちの方で、「電気自動車」、「プラグインハイブリッド自動車」、「燃料電池自動車」を購入していない理由は何ですか。(複数回答)

利用しない理由として、「車体価格がガソリン車並みに安くない」が52.7%と最も高く、「エネルギー源の供給インフラが十分に整備されていない」26.0%、「走行距離が十分でない」25.3%が続く。

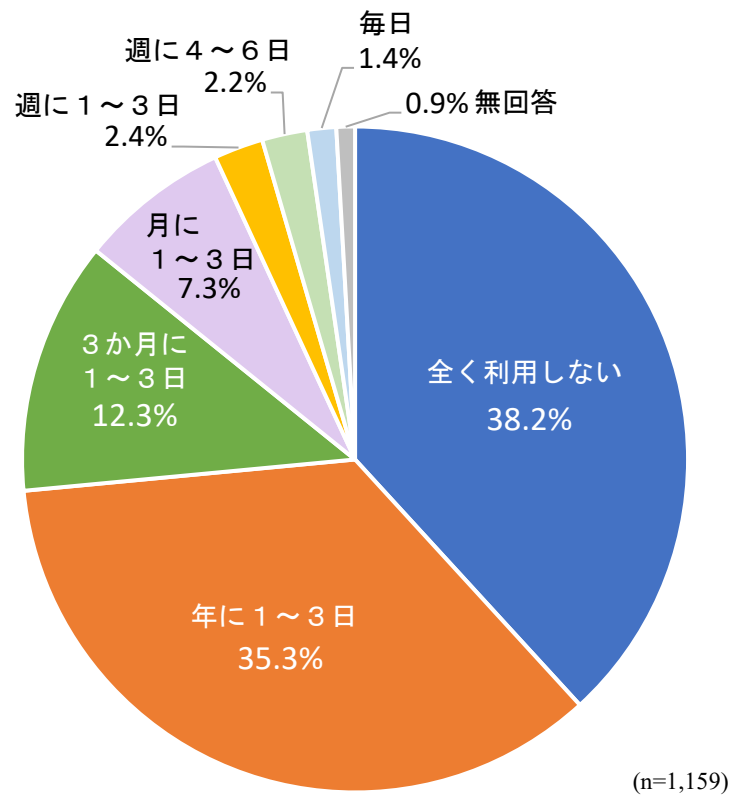


5) 地球温暖化について

(15) 公共交通機関の利用頻度

(15) あなたは、公共交通機関をどの程度の頻度で利用されますか。

「全く利用しない」人は全体の38.2%。「1 か月に 1 回未満」利用者は47.6%、「1 か月に 1 回以上」利用者は13.3%となっている。

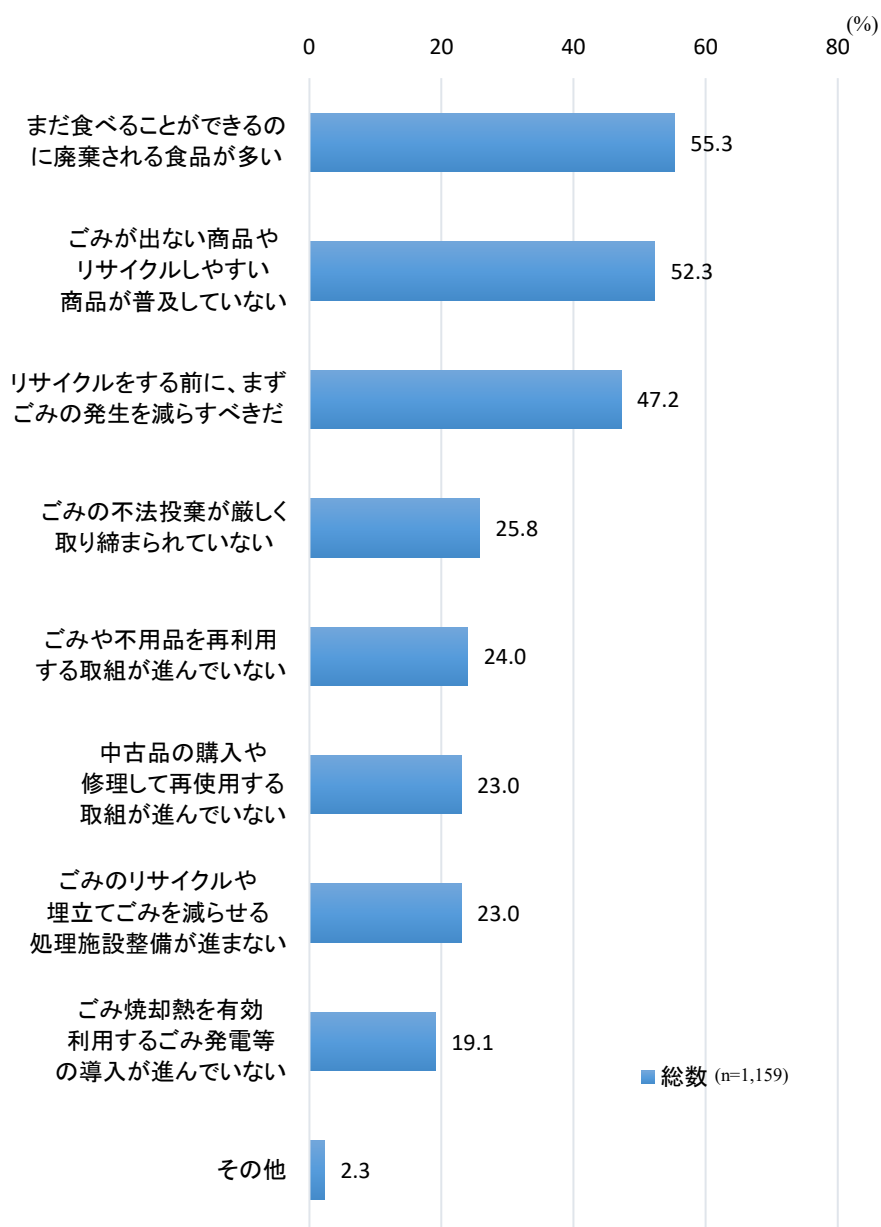


6) 循環型社会の構築について

(1) 現状について感じる事

問7 (1) 県では、ごみを削減・再利用することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が出来る限り低減される循環型社会の実現を推進していますが、あなたは現状をどのように感じていますか（複数回答）

「まだ食べることができるのに廃棄される食品が多い」55.3%、「ごみが出ない商品やリサイクルしやすい商品が普及していない」52.3%、「リサイクルをする前に、まずごみの発生を減らすべきだ」47.2%が上位にあがっている。

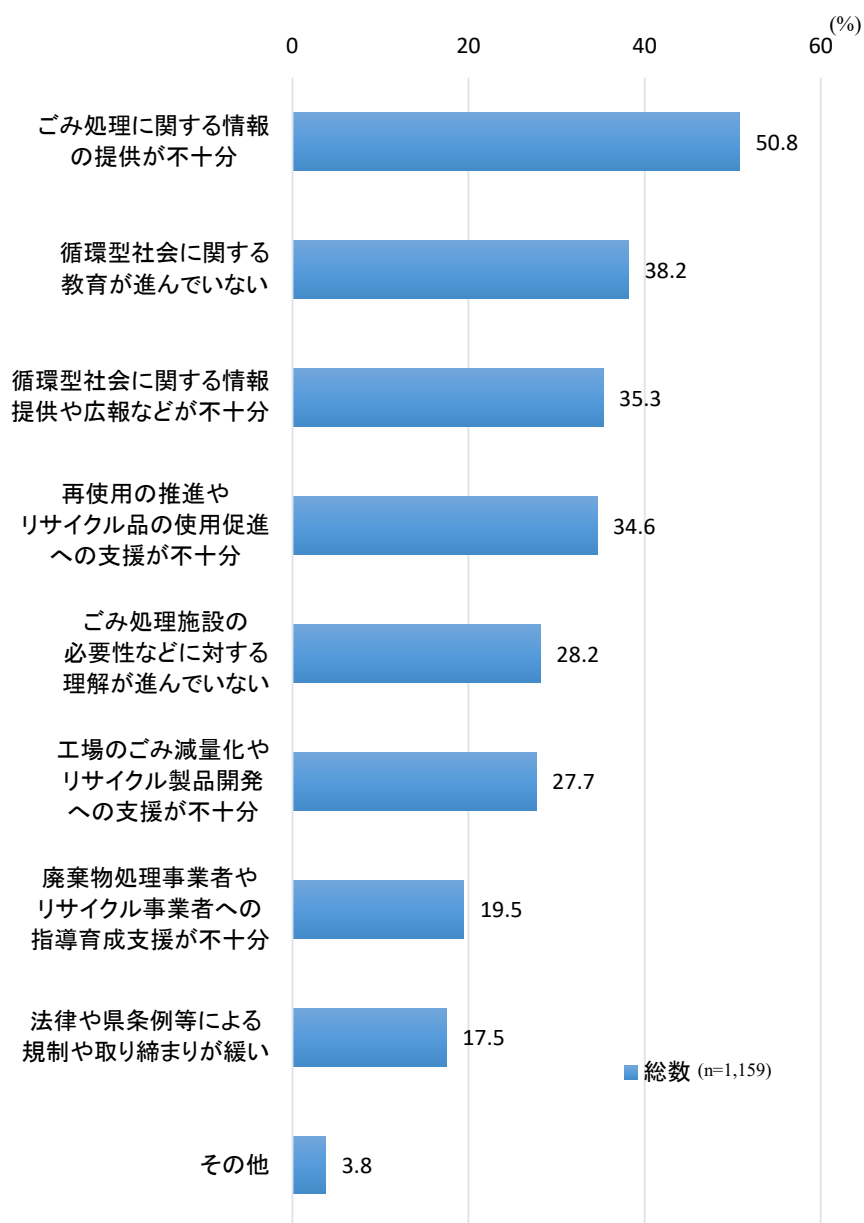


6) 循環型社会の構築について

(2) 不十分と感じる対策

(2) 前問の大きな理由は何だと思いますか。
(複数回答)

「ごみ処理に関する情報の提供が不十分」50.8%が最も高く、「循環型社会に関する教育が進んでいない」38.2%、「循環型社会に関する情報提供や広報などが不十分」35.3%が続き、広報など“情報提供に関する対策”が上位にあがっている。

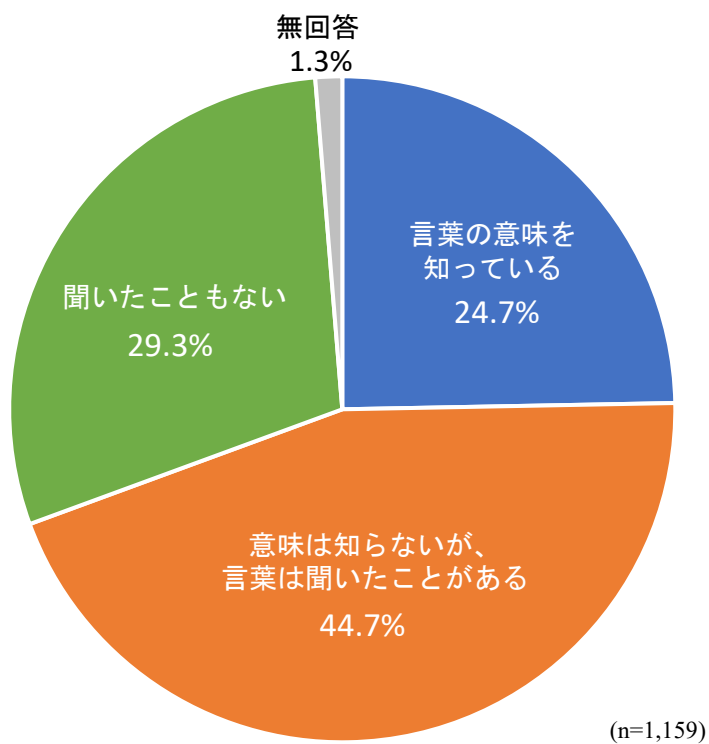


7) 里山里海の利用保全について

(1) 「生物多様性」認知状況

問8(1)「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

「言葉の意味を知っている」24.7%、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」44.7%を合わせ、『生物多様性』認知者は全体の69.4%となっている。

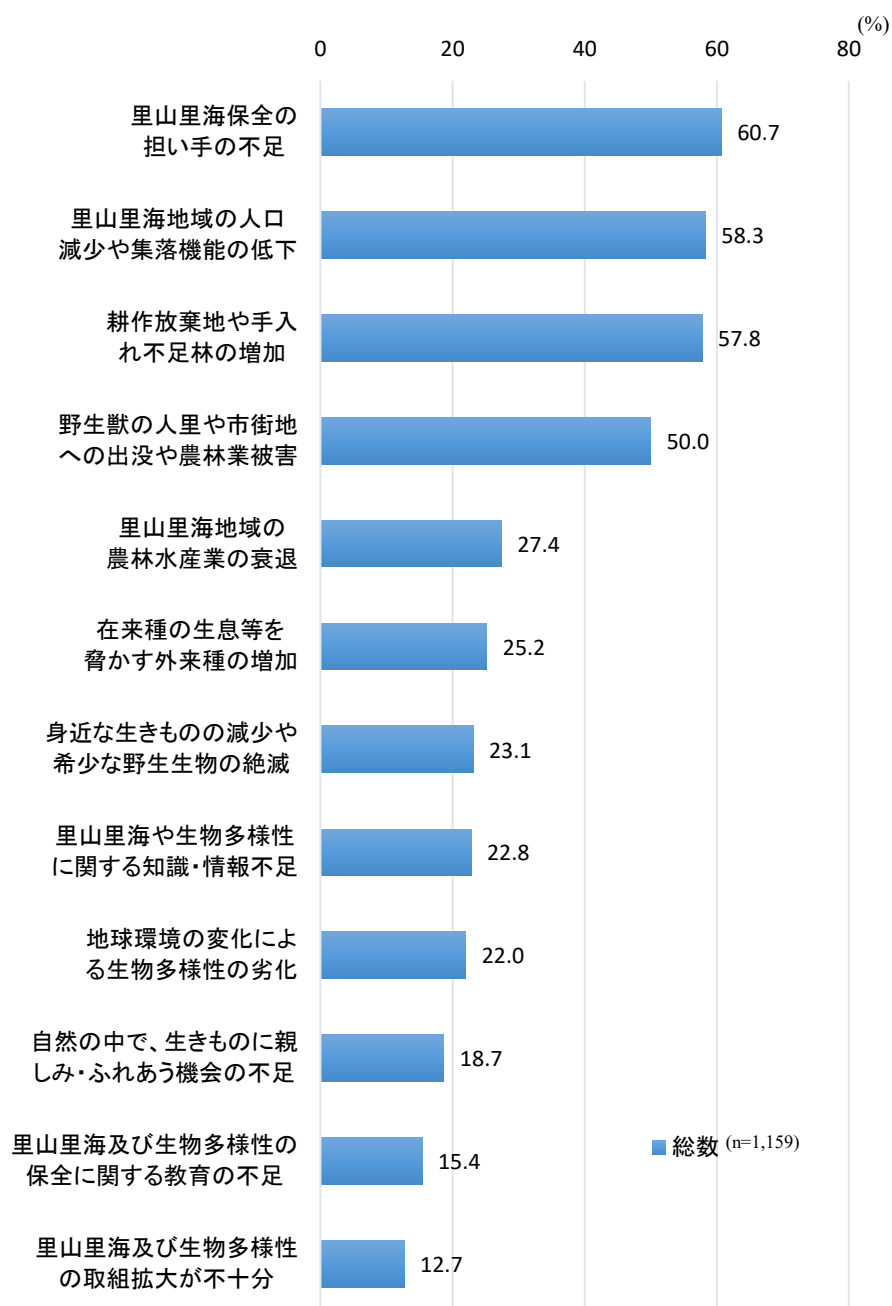


7) 里山里海の利用保全について

(2) 現状の課題や問題点

(2) 里山里海や生物多様性の現状の課題や問題点として、どのようなことがあると考えますか。(複数回答)

「里山里海保全の担い手の不足」60.7%、「里山里海地域の人口減少や集落機能の低下」58.3%、「耕作放棄地や手入れ不足林の増加」57.8%、「野生獣の人里や市街地への出没や農林業被害」50.0%が、それぞれ全体の半数以上を占めている。

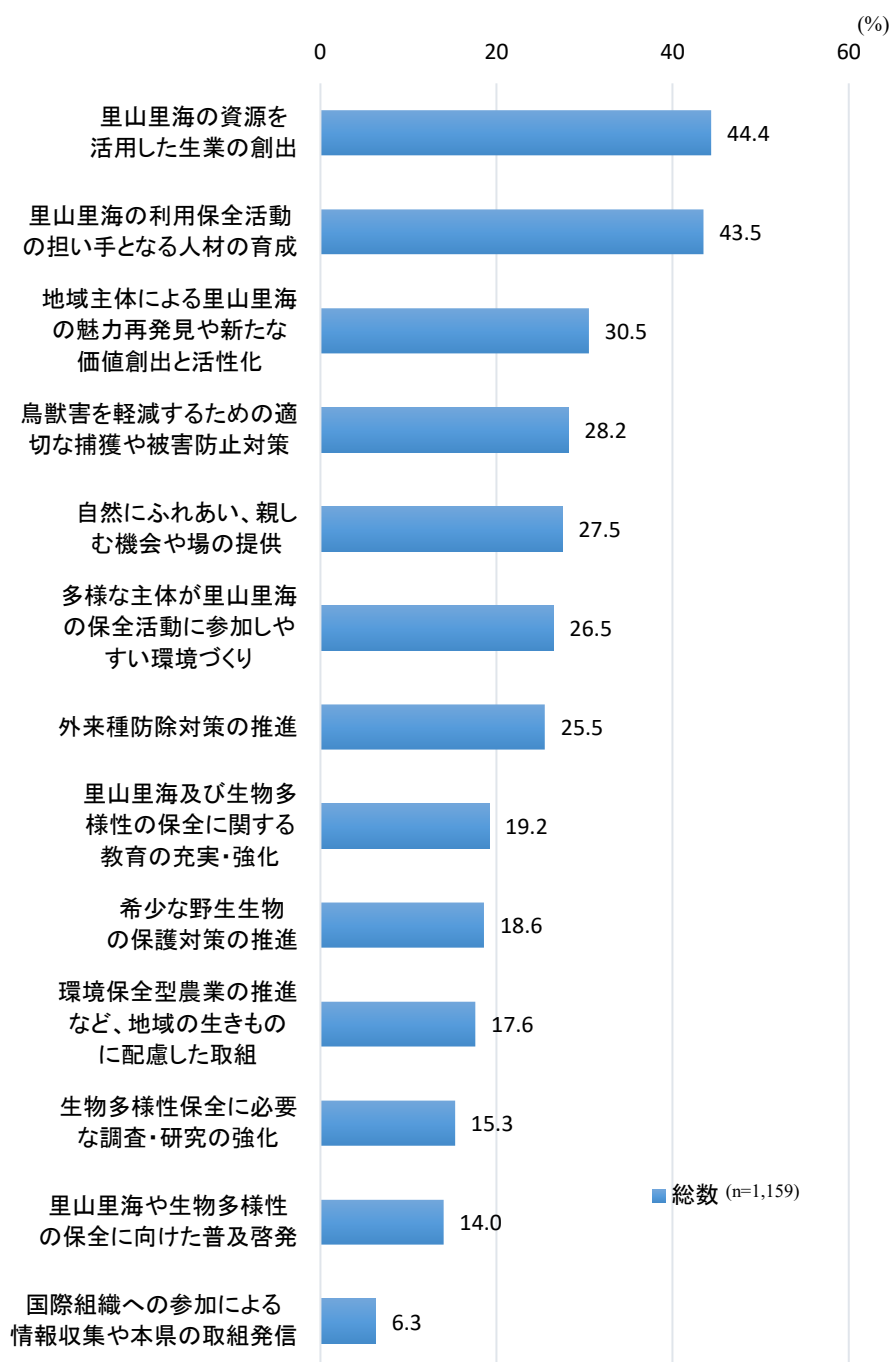


7) 里山里海の利用保全について

(3) 解決のために必要と考えるもの

(3) 課題や問題点の解決のため、今後、どのような対策が必要だと考えますか。(複数回答)

「里山里海の資源を活用した生業の創出」44.4%、里山里海の利用保全活動の担い手となる人材の育成」43.5%が上位にあがり、“里山里海の地域資源を守りながら活かす仕組みづくり”が求められている。



8) 環境問題に関する自由意見

問9 環境問題に関して、普段から思っていることや感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

「自然環境・生態系保護」や「災害・気候変動対策」に関する意見に加えて、「ごみ・ポイ捨て」「リサイクル・分別」など身近な問題に関する意見も多くあがっている。

自由意見の上位項目（自由意見回答者203名）

自然環境・生態系保護（32件） 里山・野生動物・自然破壊・人間活動の影響等

「熊の出没は人間の森林開発が要因。食料源確保で被害を減らすべき」
「石川県の自然を次世代へ継承する活動に参加したい」
「温暖化による異常気象で生態系が崩壊していると感じる」 ほか

災害・気候変動対策（27件） 豪雨・温暖化・護岸整備・防災意識等

「気温上昇や豪雨による被害が増えている」
「鳥や虫が減少し、気候変動の影響を感じる」
「環境問題は国全体で取り組むべき課題」 ほか

ごみ・ポイ捨て（26件） ポイ捨て・不法投棄・地域清掃・罰則強化等

「車からのゴミの投げ捨てが目立つ。罰則強化と監視を希望」
「空き缶やペットボトルのポイ捨て取り締まりを強化してほしい」
「ごみの多さが気温上昇・生態系崩壊につながっている」 ほか

環境教育・意識向上（23件） 学校教育・地域啓発・外国人向け教育等

「学校教育で環境をテーマに扱うべき」
「ゴミ出しルールを守らない人への教育と啓発を」
「子どもが自然に触れられる環境を整備してほしい」 ほか

再生可能エネルギー・省エネ（16件） 省エネ・再エネ・太陽光発電・政策支援等

「EV・太陽光の利点だけでなく、全体最適を考えるべき」
「家庭で省エネ・リサイクルを地道に続けている」
「太陽光パネル下の鳩の糞害など、新たな課題もある」 ほか

リサイクル・分別（16件） 資源循環、食品ロス、分別ルール改善等

「家庭でリサイクルや省エネを実践している」
「飲食店での食品ロスが多い」
「プラスチックなど使い捨て資源の浪費を減らすべき」 ほか

交通・車・排気ガス（14件） 車社会・排ガス・環境技術・交通政策等

「EVやソーラーパネルが必ずしも環境に良いとは思えない」
「省エネ車・住宅は高コスト。経済的支援が必要」
「タイヤ粉じんによる環境汚染が心配」 ほか

景観・緑化（11件） 街路樹・緑地の保全、公園整備、地域的美観維持等

「金沢の道路沿いの景観整備が必要」
「外国人による河川でのごみ問題、ゴミ箱設置を求む」
「街路樹の伐採が多く、植樹の推進と維持費の確保を希望」 ほか

§ 3 調査票

石川県県民意識調査

～あなたのご意見をお聞かせください～

石川県では、令和7年度末をもって、「石川県環境総合計画」の最終年を迎えることから、当該計画を改定することとしております。

本調査は、環境総合計画の改定に際して、皆様のご意見をお聞きし、参考とさせていただくためのものであり、無作為抽出により、あなたを回答者のお一人として選ばせていただきました。

お忙しい中、恐れ入りますが、本調査の趣旨にご理解いただき、アンケートにご回答賜りますようお願い申し上げます。

ご回答いただいたアンケートの結果は、統計的に処理した上で、活用することとしておりますので、個人が特定されることはございません。

なお、本調査にあたっては、石川県から株式会社都市環境マネジメント研究所に調査業務を委託しており、当該機関から調査票の発送等を行っております。

令和7年9月
石 川 県

＜回答に際しての注意点＞

- ◆ 本アンケートは、あて名のご本人がお答えください。なお、ご本人が回答困難な場合や入院中などの場合は、ご家族や周りの方が介助いただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。

アンケートの回答方法

＜インターネットで回答する場合＞

- ◆ スマートフォンやタブレット等で右のQRコードを読み込んでいただき、回答画面にお進みください。



＜インターネットでの回答が困難な場合＞

- ◆ 直接、この調査票に濃い鉛筆又は黒ボールペンで回答を記入してください。
- ◆ お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
○印の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。
- ◆ この調査票に回答を記入後、同封の返信用封筒に入れ（切手は不要です）、
10月10日（金）までに郵便ポストにご投稿願います。

令和7年度環境に関する県民意識調査

問1 はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

ア あなたの性別は

1. 男 2. 女 3. どちらともいえない または 答えたくない

イ あなたの年齢は

1. ～20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳代～

ウ あなたのお住まいは

1. 金沢市 2. 七尾市 3. 小松市 4. 輪島市 5. 珠洲市
6. 加賀市 7. 羽咋市 8. かほく市 9. 白山市 10. 能美市
11. 野々市市 12. 川北町 13. 津幡町 14. 内灘町 15. 志賀町
16. 宝達志水町 17. 中能登町 18. 穴水町 19. 能登町

エ あなたの世帯人数は

1. 1人 2. 2人 3. 3人~5人 4. 6人~

オ 住まいの形態は

1. 持家 2. 借家（一戸建て） 3. 分譲マンション 4. 賃貸（アパート）
5. その他（ ）

問2 次の環境課題について、あなたが関心のあるものを選んでください。(複数選択可)

1. 地球温暖化による気候変動
2. リサイクル
3. 食品ロス
4. 不法投棄など廃棄物の不適正な処理
5. 里山・里海の手入れ不足による荒廃
6. 身近な生きものや希少な野生生物の減少や絶滅
7. 野生鳥獣による農作物などの被害
8. 外来種の増加
9. 大気汚染
10. 光化学オキシダント
11. 河川、湖沼、内湾などの水質汚濁
12. 土壌汚染や地下水汚染
13. 騒音・振動・悪臭
14. 地盤沈下
15. 環境に有害な化学物質の管理
16. 環境美化
17. 修景・景観形成
18. 開発行為による自然の減少
19. 環境産業（環境保全に役立つ産業、環境に配慮した産業）が育つこと
20. 環境教育・環境学習

- 問3 あなたは、自分が住んでいるまちの環境についてどの程度満足していますか。
ア～ケ それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

区分	質 問 項 目	1 満 足	2 ど ち ら か と い え ば 満 足	3 ま あ ま あ	4 ど ち ら か と い え ば 不 満 足	5 不 満 足
ア	空気のきれいさ	1	2	3	4	5
イ	水のきれいさ（身近な川、湖沼、海）	1	2	3	4	5
ウ	生活環境の静かさ	1	2	3	4	5
エ	生活環境の清潔さ	1	2	3	4	5
オ	景観（都市景観、農村景観）の美しさ	1	2	3	4	5
カ	緑の豊かさ	1	2	3	4	5
キ	野生生物（植物、鳥、魚、昆虫など）の豊かさ	1	2	3	4	5
ク	自然とふれあう場や機会の多さ	1	2	3	4	5
ケ	環境のことを学ぶ場や機会の多さ	1	2	3	4	5

- 問4 あなた自身、あるいはあなたのご家庭における日常生活の中で、環境を守ることにつながる次の行動をどの程度実行していますか。
ア～タ それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

区分	質 問 項 目	1 い つ も 実 行 し て い る	2 と き ど き 実 行 し て い る	3 あ ま り 実 行 し て い な い	4 全 く 実 行 し て い な い
ア	こまめに照明を消灯する、使わない電気製品はコンセントからプラグを抜く。	1	2	3	4
イ	外出時に、できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用する。	1	2	3	4
ウ	ふんわりアクセルやアイドリングストップなどエコドライブを心掛けている。	1	2	3	4

区 分	質 問 項 目	1 いつも 実行し ている	2 ときど き実行 してい る	3 あまり 実行し ていな い	4 全く実 行して いない
エ	歯磨き、洗面時は、水を流しっぱなしにしない。	1	2	3	4
オ	マイバッグ・マイボトルを使用するなど使い捨てプラスチック製品の使用を控える。	1	2	3	4
カ	環境に配慮した商品（省エネ製品、詰替商品、簡易包装など）を購入する。	1	2	3	4
キ	食材の有効利用やたい肥化により生ごみを減らす。	1	2	3	4
ク	食事を残さないことや、日頃から冷蔵庫等の食品を確認するなど、まだ食べることができるのに廃棄される食品（食品ロス）の削減に取り組む。	1	2	3	4
ケ	電子レンジの活用など調理方法の工夫により省エネに取り組む。	1	2	3	4
コ	野菜などは、県内で生産されたものを選ぶ。	1	2	3	4
サ	畑や家のまわりなどでの農薬等の使用を極力抑える。	1	2	3	4
シ	農山漁村の自然や文化とふれあう小旅行を楽しむ。	1	2	3	4
ス	公園、道路、海岸、河川などの清掃活動に参加する。	1	2	3	4
セ	緑化や里山保全活動などに参加する。	1	2	3	4
ソ	環境に関する講演会やセミナーに参加する。	1	2	3	4
タ	自然観察会や自然体験活動に参加する。	1	2	3	4

問5 あなたは、ふだんの生活のなかで次のことをどのように思っていますか。
 ア～ツ それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

区 分	質 問 項 目	1 そう 思う	2 少し そう 思う	3 そう 思わ ない
ア	環境に関する講演会や自然観察会などの行事案内や広告をもっと増やすべきだ。	1	2	3

区分	質 問 項 目	1 そう 思う	2 少し そう 思う	3 そう 思わ ない
イ	環境にやさしい商品の情報提供や広告をもっと増やすべきだ。	1	2	3
ウ	自ら行っている環境保全活動のPRや、他者と情報交換できる場を設けるべきだ。	1	2	3
エ	駐車場や道路上でアイドリング(エンジンのかけっぱなし)をしている車が多い。	1	2	3
オ	空き缶、空きビン、タバコのすいがら等のポイ捨てが多い。	1	2	3
カ	商品を買うと、容器や包装が過剰なものが見られる。	1	2	3
キ	廃棄物の不法投棄は、地域ぐるみで監視すればもっと防げる。	1	2	3
ク	海洋プラスチックごみ問題を解決するには、県民一人ひとりの取組が大切だ。	1	2	3
ケ	食品ロスを削減するために、小盛メニューの導入や、少量パック販売など、飲食店や食品小売店が行う取組が増えるといい。	1	2	3
コ	人の手が入ることが少なくなったなどの理由から、里山・里海が荒れている。	1	2	3
サ	メダカ、ホタル、ササユリなどの身近な動植物が減ってきている。	1	2	3
シ	環境に配慮した行動をすることで、どの程度効果があるのか分かるようにすべきだ。	1	2	3
ス	エコな生活によって健康になるなど、付加価値について知りたい。	1	2	3
セ	個々のライフスタイルに応じたエコ活動について知りたい。	1	2	3
ソ	豊かな環境を子供たちに引き継ぐために、多少の労力や費用負担はやむを得ない。	1	2	3
タ	学校や保育所等における環境教育を行い、地球温暖化など環境保全について正しく理解する。	1	2	3
チ	環境保全に役に立つ製品やサービスがもっとたくさんあればよい。	1	2	3
ツ	環境に関するビジネスがもっと広がるとよい。	1	2	3

問6 地球温暖化についてお聞きます。

- (1) 地球温暖化が進むと、洪水や豪雨が多発したり、熱中症や伝染病が増えたりといった影響があると言われていますが、このことについてあなたはどのように思われますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 非常に危機感を持っている 2. 少し危機感を持っている
3. あまり危機感はない 4. よくわからない 5. 関心がない

- (2) あなたが、地球温暖化対策について、取り組んでいることは何ですか。

ア～サ それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

区分	質 問 項 目	1 取り組 んでいる	2 必要だ と思う が、取り 組んで いない	3 必要だ と思わ ず、取り 組んで いない
ア	日頃の生活の中で省エネルギーの実践を心がける。	1	2	3
イ	テレビやエアコン、冷蔵庫などの家電を省エネ型のものに替える。	1	2	3
ウ	高断熱、高気密のエネルギー消費の少ないエコハウスを建てる。	1	2	3
エ	省エネにつながるリフォーム工事（断熱性能向上やエコキュートなどの高効率機器の導入）を行う。	1	2	3
オ	太陽光発電など再生可能エネルギー設備を導入する。	1	2	3
カ	自動車をハイブリッド自動車や電気自動車などの次世代自動車に替える。	1	2	3
キ	いしかわ環境フェアなど地域の環境活動やイベントに参加する。	1	2	3
ク	環境家計簿などを活用して、生活する上でのエネルギー消費量を調べる。	1	2	3
ケ	地球温暖化防止（省エネ、節電、CO ₂ 吸収など）に資する商品を選択し購入する。	1	2	3
コ	地球温暖化防止活動に対して募金や寄付を行う。	1	2	3
サ	CO ₂ を吸収する森林の整備活動や、支援をする。	1	2	3

- (3) 地球温暖化が進むことで発生する被害を減らすため、農業、自然生態系、防災、健康など各分野における変化に備えることを「気候変動適応」と言いますが、あなたは「気候変動適応」という言葉の意味を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 言葉の意味を知っている
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
3. 聞いたこともない

- (4) 次の気候変動の影響や適応に関することについて、あなたが関心のあるものを選んでください。(複数選択可)

1. 県内の気温や降水量が、今後どうなっていくのか
2. 地球温暖化が進むと、国内の農業、自然生態系、防災、健康等に、今後どのような影響がでてくるのか
3. 地球温暖化が進むと、今後どのような県内特有の影響がでてくるのか（県内特産品への影響等）
4. 気候変動に適応するための取組紹介
(例：水稻について、高温にも強い品種を開発・普及)

- (5) 政府が「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標」を法律に位置付け、通過点として「2030年度に（2013年度と比べて）46%削減するという目標」を掲げていることについてご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 2050年の実質ゼロ目標、2030年度の46%削減目標、いずれも知っている
2. 2050年の実質ゼロ目標は知っているが、2030年度の46%削減目標は知らない
3. 2050年の実質ゼロ目標は知らないが、2030年度の46%削減目標は知っている
4. いずれも知らない

- (6) あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. オール電化 2. 電気とガスの併用 3. その他（具体的に： ）

- (7) 再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを実施していますか。

1. すでに実施している
2. 今後実施することが決定している
3. 費用負担が大きいのので実施していない
4. 効果が実感できないので実施していない
5. 特に理由はないが実施していない
6. 該当しない（借家のため実施できない等）

(8) あなた現在の住まいは、次の設備を導入していますか。

ア～ク それぞれについて、最もあてはまるものを1つずつ選んでください。

区分	設 備	1 すでに 導入し ている	2 今後導 入する ことが 決定し ている	3 費用負 担が大 きいの で導入 してい ない	4 効果が 実感で きない ので導 入して いない	5 特に理 由はな いが導 入して いない	6 該当し ない (借家の ため導 入でき ない等)
ア	太陽熱温水器 (太陽熱により温水をつくる)	1	2	3	4	5	6
イ	エコキュート (自然冷媒ヒートポンプ給湯器)	1	2	3	4	5	6
ウ	省エネ住宅設備 (高気密、高断熱化など)	1	2	3	4	5	6
エ	電気自動車 (EV) 充電器	1	2	3	4	5	6
オ	V2H (電気自動車の蓄電池から家に電気を送る装置)	1	2	3	4	5	6
カ	空調の全熱交換器 (室内の空気を換気しながら室温を維持できる省エネ効果の高い換気システム)	1	2	3	4	5	6

区分	設 備	1 すでに 導入し ている (全体)	2 すでに 導入し ている (一部)	3 今後導 入予定	4 未定	5 導入予 定なし	6 該当し ない (借家の ため導 入でき ない等)
キ	LED 照明 (消費電力が少ない発光ダイオード使用)	1	2	3	4	5	6
ク	省エネ住宅設備 (二重窓の導入)	1	2	3	4	5	6

問7 循環型社会の構築についてお聞きします。

(1) 県では、ごみを削減・再利用することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が出来る限り低減される循環型社会の実現を推進していますが、あなたは現状をどのように感じていますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つ選んでください。

1. ごみが出ない商品やリサイクルしやすい商品が普及していない
2. リサイクルをする前に、まず、ごみの発生を減らすべきだ
3. 中古品の購入や、修理して再使用する取組が進んでいない
4. ごみや不要品を再生利用（リサイクル）する取組が進んでいない
5. まだ食べることができるのに廃棄される食品（食品ロス）が多い
6. ごみを燃やしたときの熱を有効利用するごみ発電等の導入が進んでいない
7. 出されたごみをリサイクルすることや、埋め立てられるごみの量を減らすことができるごみ処理施設の整備が進んでいない
8. ごみの不法投棄が厳しく取り締まられていない
9. その他（ ）

(2) (1)の大きな理由は何だと思えますか。次の中から、あなたがそのように思う理由を3つ選んでください。

1. ごみ処理に関する情報（発生量・処分量・処分費用など）の提供が不十分
2. 循環型社会に関する情報提供や広報などが不十分
3. 循環型社会に関する教育が進んでいない
4. 工場が排出するごみの減量化への取組やリサイクル製品の開発への支援が不十分
5. 再使用の推進やリサイクル品の使用を促進するための支援が不十分
6. ごみのリサイクルなどの廃棄物処理事業者やリサイクル事業者への指導育成への支援が不十分
7. ごみ処理施設の必要性などに対する理解が進んでいない
8. 法律や県条例等による規制や取り締まりが緩い
9. その他（ ）

問8 里山里海の利用保全を中心とした生物多様性の保全についてお聞きします。

(1) あなたは「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 言葉の意味を知っている
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
3. 聞いたこともない

(2) 里山里海や生物多様性の現状の課題や問題点として、どのようなことがあると考えますか。次の中から、あてはまるものを選んでください。（複数選択可）

1. 里山里海での人口減少や集落機能が低下していること
 2. 耕作放棄地、手入れ不足林や放棄竹林など、人の手が入らない里山が増加していること
 3. 採算性の低下等により、里山里海地域の主たる産業である農林水産業が衰退していること
- 注) 次ページに続きます

4. 過疎・高齢化が進行する中、里山里海の保全に取り組む担い手が不足していること
5. 地球温暖化などの地球環境の変化によって、生物多様性が劣化するおそれがあること
6. メダカなど身近な生きものの減少や希少な野生生物が絶滅するおそれがあること
7. クマやイノシシなどの野生獣が、人里や市街地へ出没することや、農林業被害を及ぼすこと
8. ブラックバスやアメリカザリガニなど、在来種の生息等を脅かす外来種が増加していること
9. 里山里海や生物多様性に関する知識・情報が不足していること
10. 自然の中に出かけ、生きものに親しみ・ふれあう機会が少ないこと
11. 里山里海及び生物多様性の保全の取組が広がらないこと
12. 里山里海及び生物多様性の保全に関する教育が進んでいないこと

(3) (2)の課題や問題点の解決のため、今後、どのような対策が必要だと考えますか。

次の中から、あてはまるものを選んでください。(複数選択可)

1. 里山里海の資源を掘り起こし、持続可能な形で利活用した生業（働く場）の創出
2. 地域が主体となった、里山里海の魅力の再発見や新たな価値の創出と活性化
3. 都市住民や企業、NPOなど多くの人たちが里山里海の保全活動に参加しやすい環境づくり
4. 環境保全型農業の推進など、地域の生きものに配慮した取組
5. 里山里海の利用保全活動の担い手となる人材の育成
6. 希少な野生生物の保護対策の推進
7. 鳥獣害を軽減するための適切な捕獲や被害防止対策
8. 外来種防除対策の推進
9. 里山里海や生物多様性の保全に向けた普及啓発
10. 自然にふれあい、親しむ機会や場の提供
11. 専門家や大学などとの連携による生物多様性の保全に必要な調査・研究の強化
12. 国際組織への参加による情報収集や本県の取組の発信
13. 里山里海及び生物多様性の保全に関する教育の充実・強化

問9 環境問題に関して、普段から思っていることや感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ありがとうございました。

同封の返信封筒にて、10月10日（金）までにご投函ください。(切手は不要です)

令和 7 年度

環境に関する県民意識調査

石川県生活環境部環境政策課

〒920-8580 金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
TEL 0 7 6 - 2 2 5 - 1 4 6 3

再エネ・省エネの取組に関する アンケート調査結果

1) 調査概要

(1) 調査目的

- ・県内事業者を対象に、再エネ・省エネの取組に関する状況を調査し、その結果を今後の施策に反映させるために実施した。

(2) 調査方法

- ・県内事業者500社を無作為に抽出し、郵送及びメールによる配布回収にてアンケート調査を令和7年7月28日から8月12日に実施した。(集計結果は8月28日回収分まで反映)

(3) 回収率

配布枚数	回収数	回収率
500 事業者	197 事業者 (紙: 32 事業者、WEB: 165 事業者) ※WEB では 10 事業者で重複回答があったため、差し引いた 165 事業者で集計	39.4%

(4) 調査内容

調査項目	設 問
貴事業所について	問1 事業所属性 (事業所名/事業所所在地/従業員数/資本金/事業形態/主な業種)
環境への関心や意識について	問2 事業所における重要な環境課題 問3 地球温暖化対策にどのような位置づけで取り組んでいるか 問4 地球温暖化対策についての取組の目的 問5 地球温暖化対策に取り組んでいない理由
再エネ・省エネ等の取組について	問6 温室効果ガス排出量を把握しているか 問7 取引先から温室効果ガスの排出削減を求められているか 問8 温室効果ガスの排出削減を求められていると感じる場面 問9 温室効果ガスの排出削減にあたっての課題 問10 環境に関するデータ、取組等を開示しているか 問11 地球温暖化対策の取組状況/特に興味のある取組 ①排出量取引 ②温室効果ガス排出量削減計画の策定 ③環境ビジネス ④環境保全活動への社員の参加、金銭的な寄附 ⑤環境に関する社員教育の推進、セミナーや研修の実施 ⑥環境マネジメントシステムの導入・運用 ⑦グリーン購入・グリーン調達 ⑧再生可能エネルギー由来の電力への切り替え ⑨省エネ診断の実施 ⑩生産設備の運用の効率化 ⑪エコドライブ、アイドリングストップの実践 ⑫道路輸送から鉄道輸送や海上輸送などへの転換 問12 再生可能エネルギー発電設備を導入しているか 問13 導入している再生可能エネルギー発電設備の詳細

調査項目	設 問
	問 14 太陽光発電設備を導入していない理由
	問 15 熱利用設備を導入しているか
	問 16 導入している熱利用設備の詳細
	問 17 熱利用設備を導入していない理由
	問 18 省エネ設備を導入しているか
	問 19 導入している省エネ設備の詳細
	問 20 省エネ設備を導入していない理由
	問 21 蛍光灯が 2027 年に生産停止となることを知っているか
	問 22 LED 照明設備を導入しているか
	問 23 LED 化を実施していない理由
	問 24 建築物の ZEB 化に取り組んでいるか
	問 25 ZEB 化建築物の種類
	問 26 ZEB 化に取り組まない理由
	問 27 設備の導入状況／最も興味のある設備 ①蓄電設備の導入 ②建物の断熱性向上 ③コージェネレーションシステムの導入・運用 ④エネルギー監視・制御システムの導入・運用 ⑤電動車や省エネ重機等の導入 ⑥V2H の導入
	問 28 石川県が実施しているカーボンニュートラル事業の認知度 ①いしかわ事業者版環境 ISO、いしかわ工場・施設版環境 ISO ②電気自動車等購入促進事業費補助金 ③エコドライブ推進事業所認定制度 ④脱炭素関連セミナー ⑤いしかわエコデザイン賞 ⑥脱炭素総合サポート窓口
	問 29 行政に期待する再エネ・省エネの取組
自由意見	問 30 再エネ・省エネの取組の推進等に向けた意見や課題、要望

(5) その他

- ・クロス集計時に使用した「事業者規模」については、原則、中小企業基本法における中小企業の定義をもとに分類した（下記参照）。なお、資本金と従業者数の乖離が大きい事業者等に関しては、ホームページの企業概要等から判断した。

<中小企業者の定義>

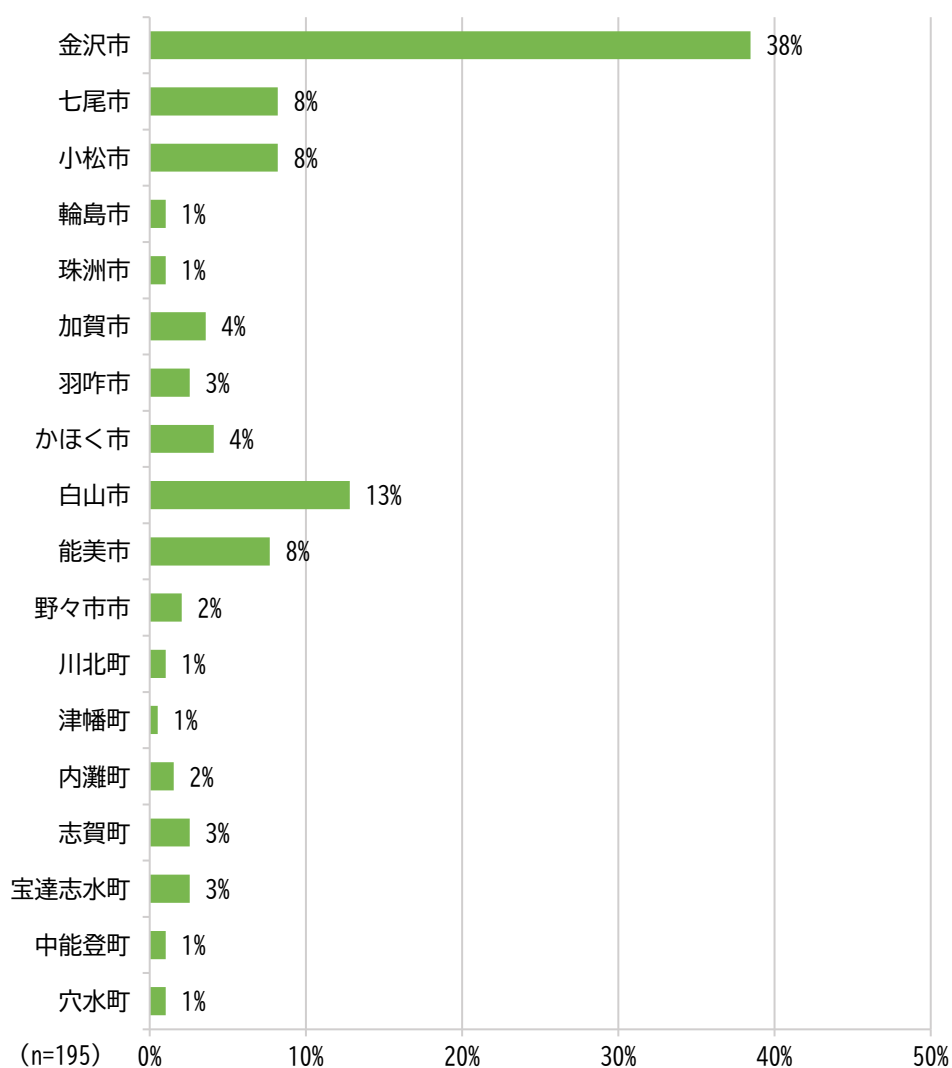
業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は 常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は 常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は 常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は 常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

出典：中小企業庁ホームページ

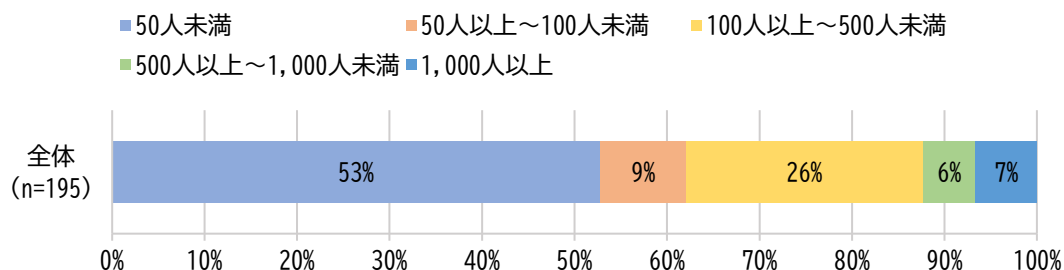
2) 調査結果

■貴事業所について

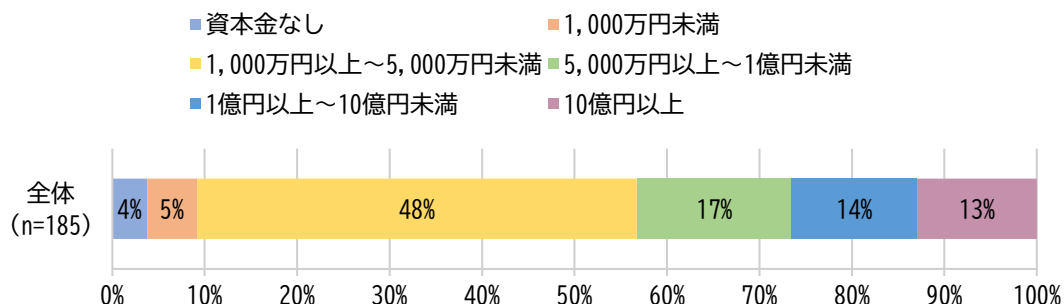
問1-1	所在地
・「金沢市」が38%で最も多く、次いで「白山市」が13%、「七尾市」「小松市」「能美市」が8%となっている。	



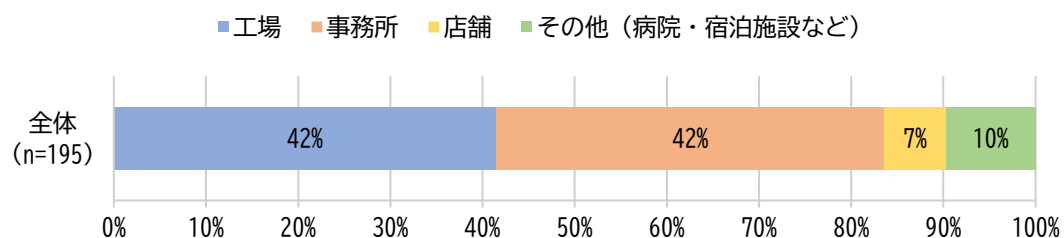
問1-2	従業者数
・「50 人未満」が 53%で最も多く、次いで「100 人以上～500 人未満」が 26%となっている。	



問1-3	資本金
・「1,000 万円以上～5,000 万円未満」が 48%で最も多く、次いで「5,000 万円以上～1 億円未満」が 17%、「1 億円以上～10 億円未満」が 14%となっている。	

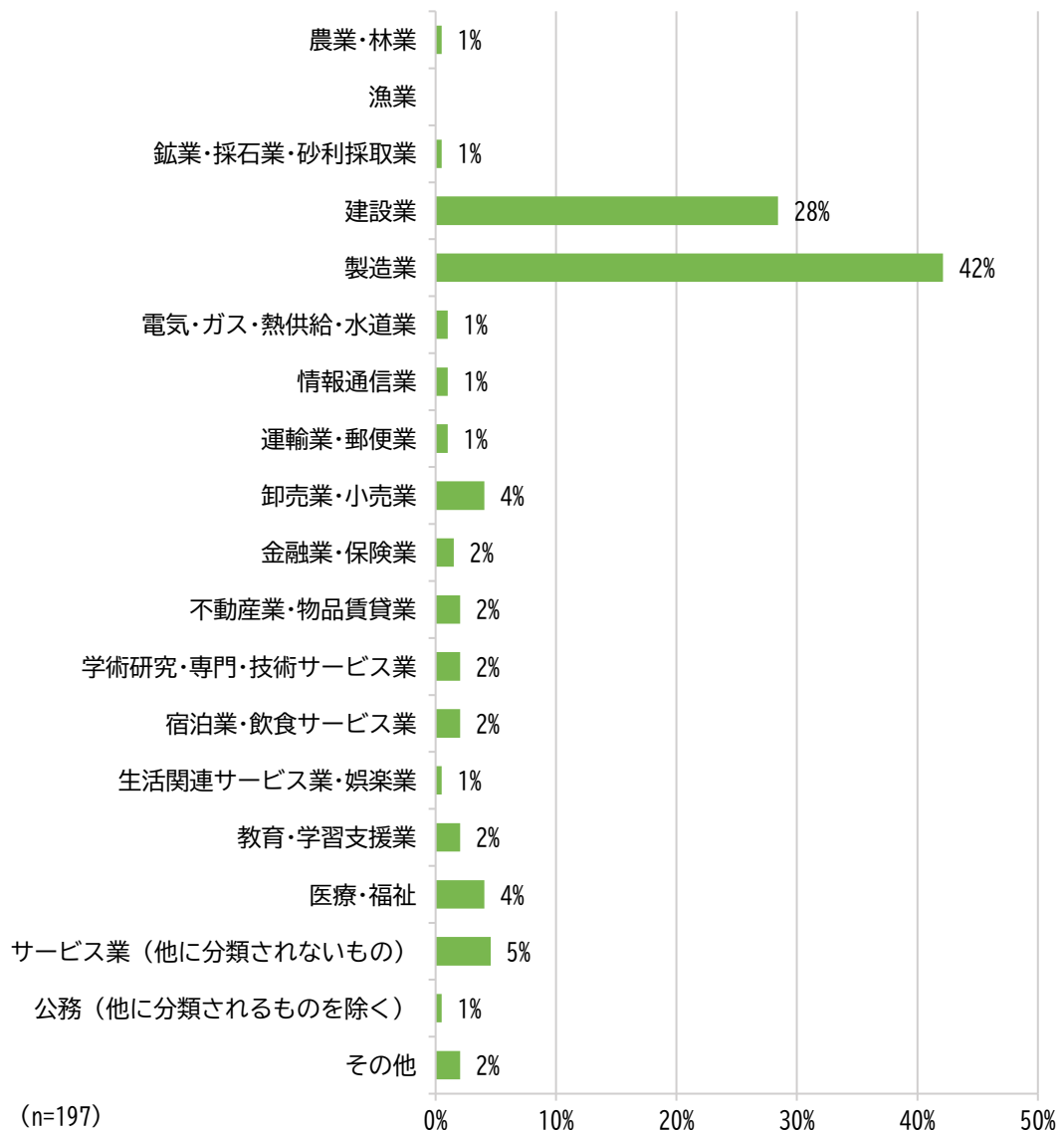


問1-4	事業形態
・「工場」「事務所」がそれぞれ 42%で最も多く、次いで「その他（病院・宿泊施設など）」が 10%となっている。	



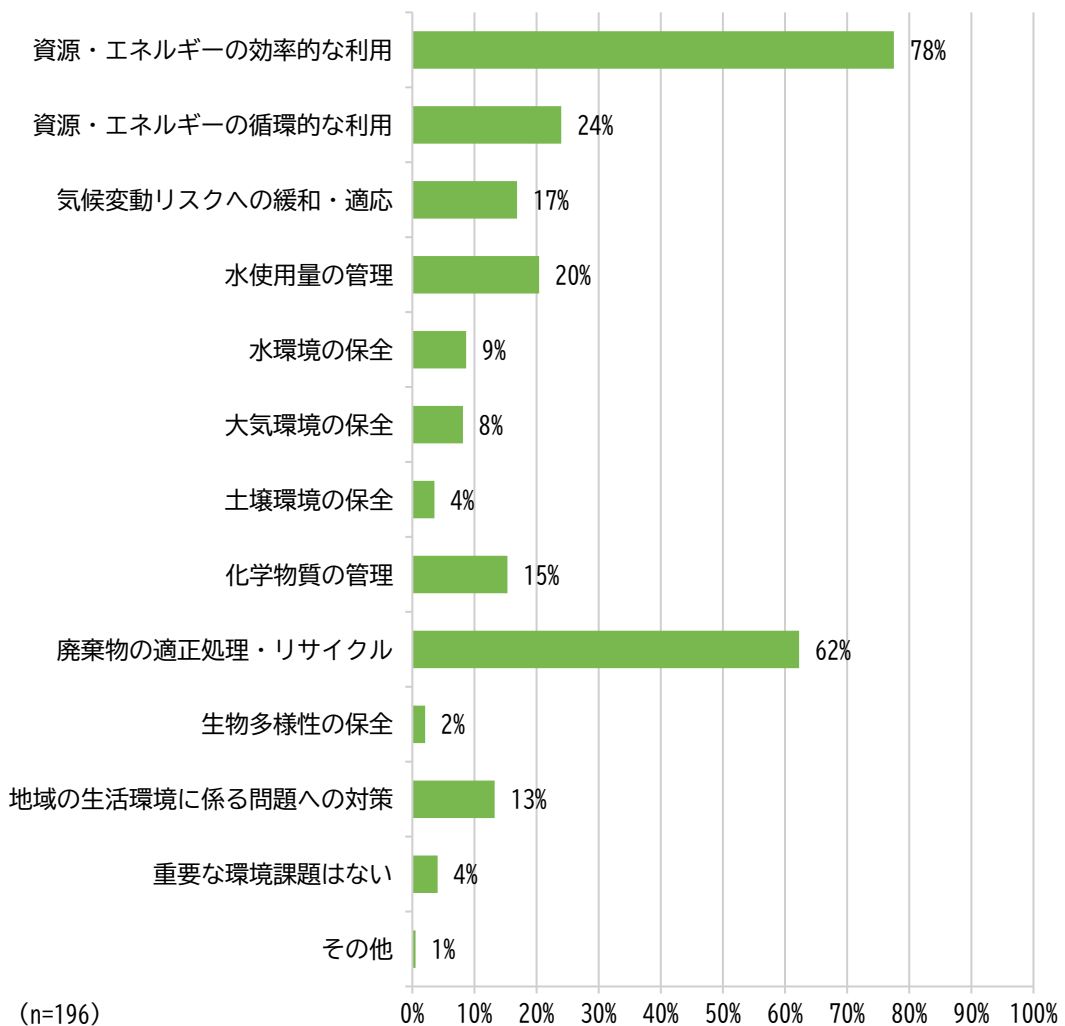
問1-5 主な業種

・「製造業」が42%で最も多く、次いで「建設業」が28%、「サービス業（他に分類されないもの）」が5%となっている。



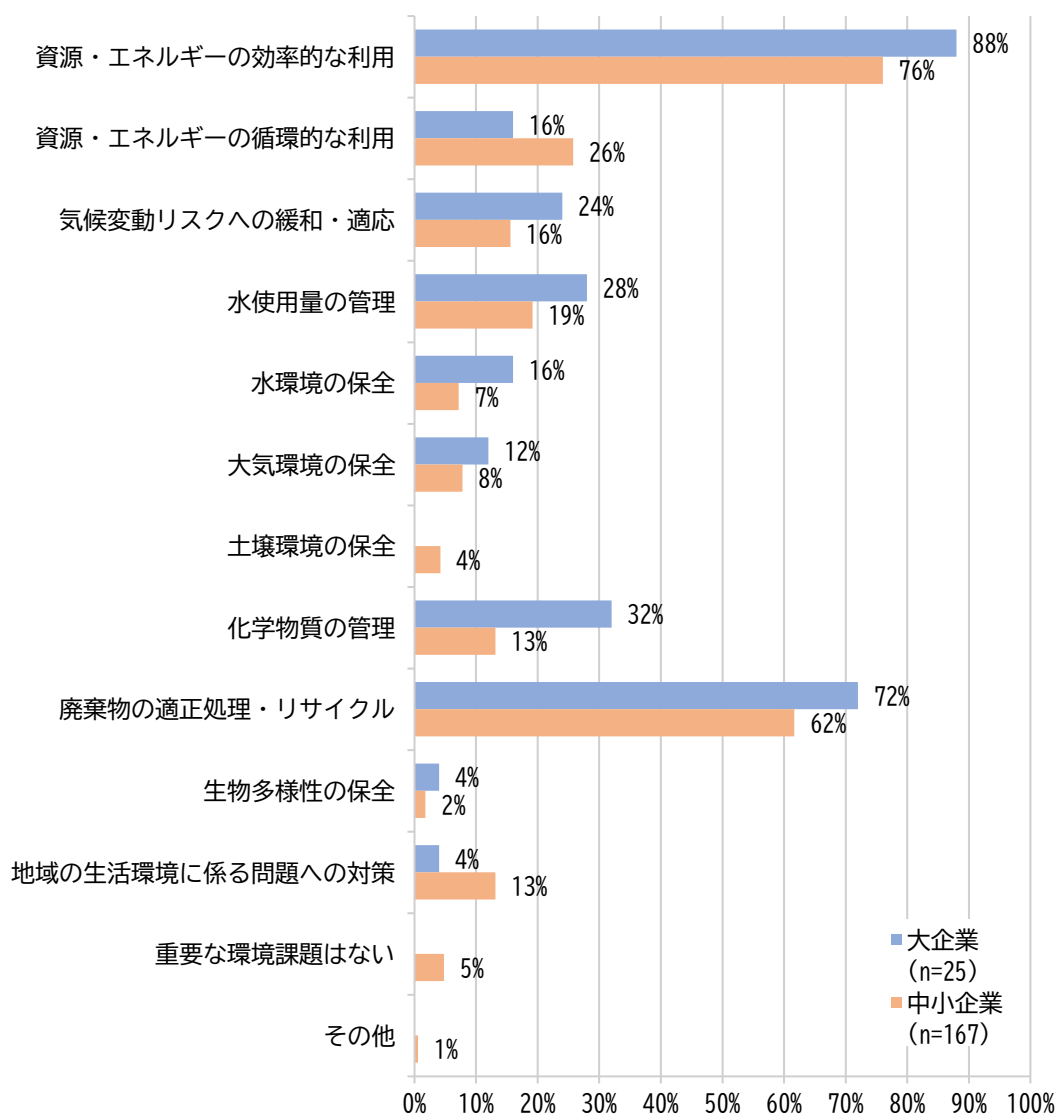
■環境への関心や意識について

問2	事業所における重要な環境課題（複数回答）
・「資源・エネルギーの効率的な利用」が78%で最も多く、次いで「廃棄物の適正処理・リサイクル」が62%、「資源・エネルギーの循環的な利用」が24%となっている。 ・事業者規模別では、大企業は「化学物質の管理」が32%で、中小企業と比べて19ポイント高くなっている。	

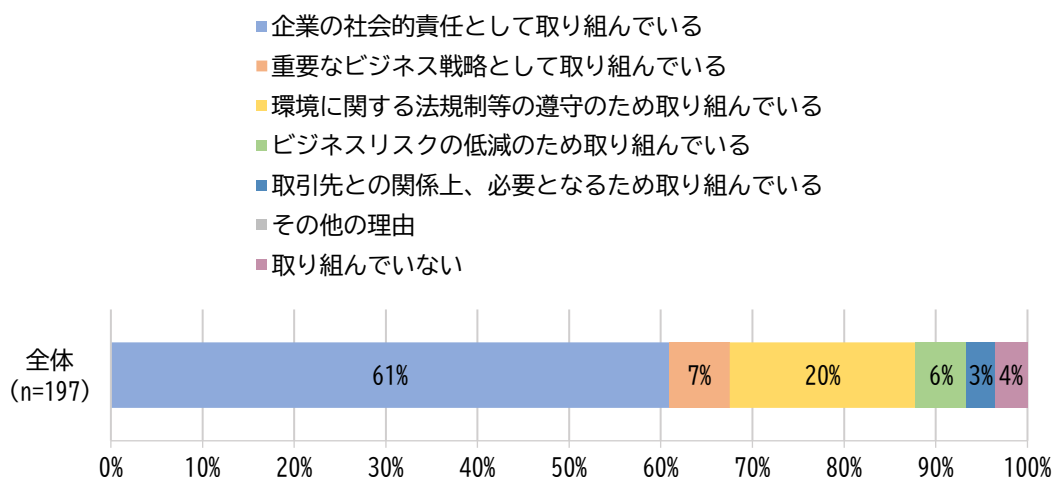


その他の回答：化石燃料の削減

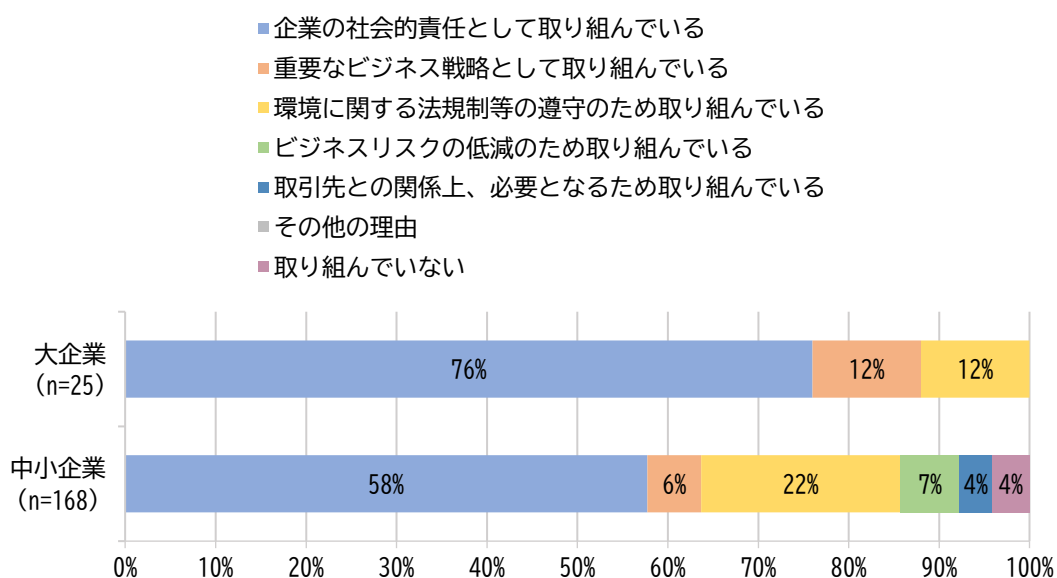
【事業者規模別】



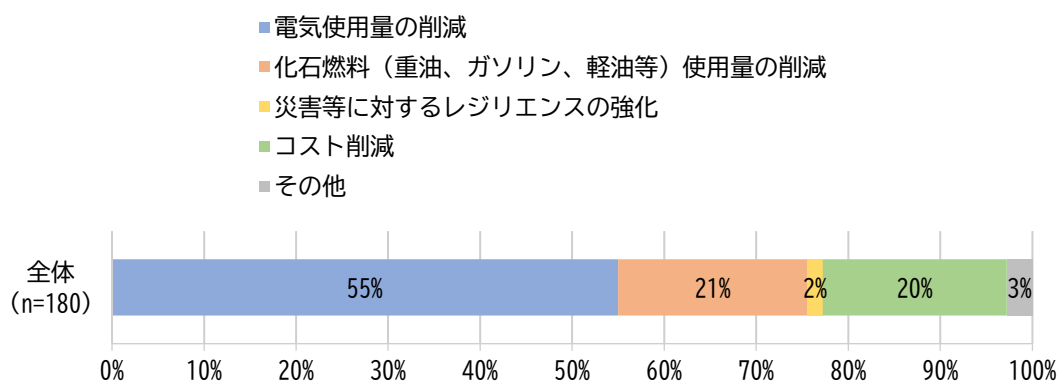
問3	環境に配慮した経営や地球温暖化対策にどのような位置づけで取り組んでいるか
・「企業の社会的責任として取り組んでいる」が61%で最も多く、次いで「環境に関する法規制等の遵守のため取り組んでいる」が20%、「重要なビジネス戦略として取り組んでいる」が7%となっている。 ・事業者規模別では、大企業は「企業の社会的責任として取り組んでいる」が76%で、中小企業と比べて18ポイント高くなっている。	



【事業者規模別】

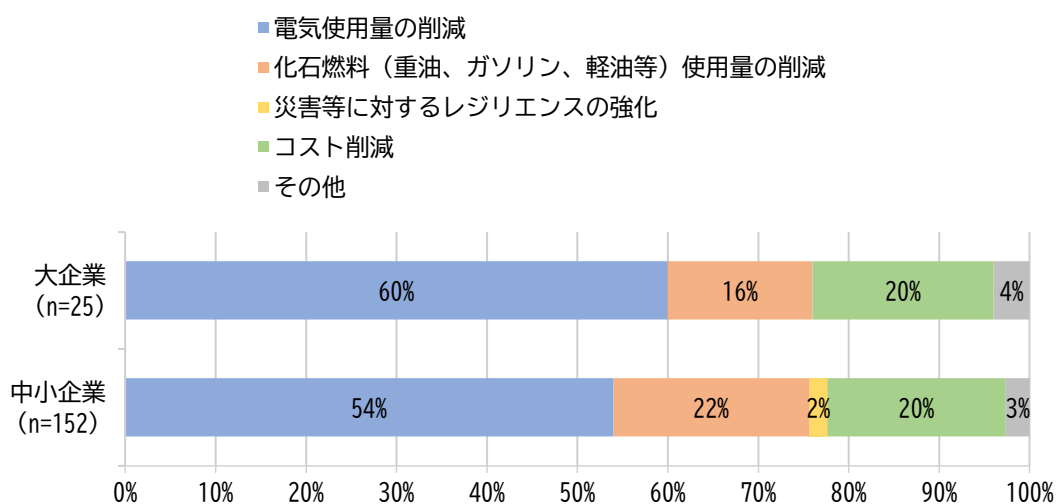


問4	地球温暖化対策についての取組の目的 ※問3で「取り組んでいない」以外を選択した場合の回答
・「電気使用量の削減」が55%で最も多く、次いで「化石燃料（重油、ガソリン、軽油等）使用量の削減」が21%、「コスト削減」が20%となっている。 ・事業者規模別では、大きな違いはみられない。	

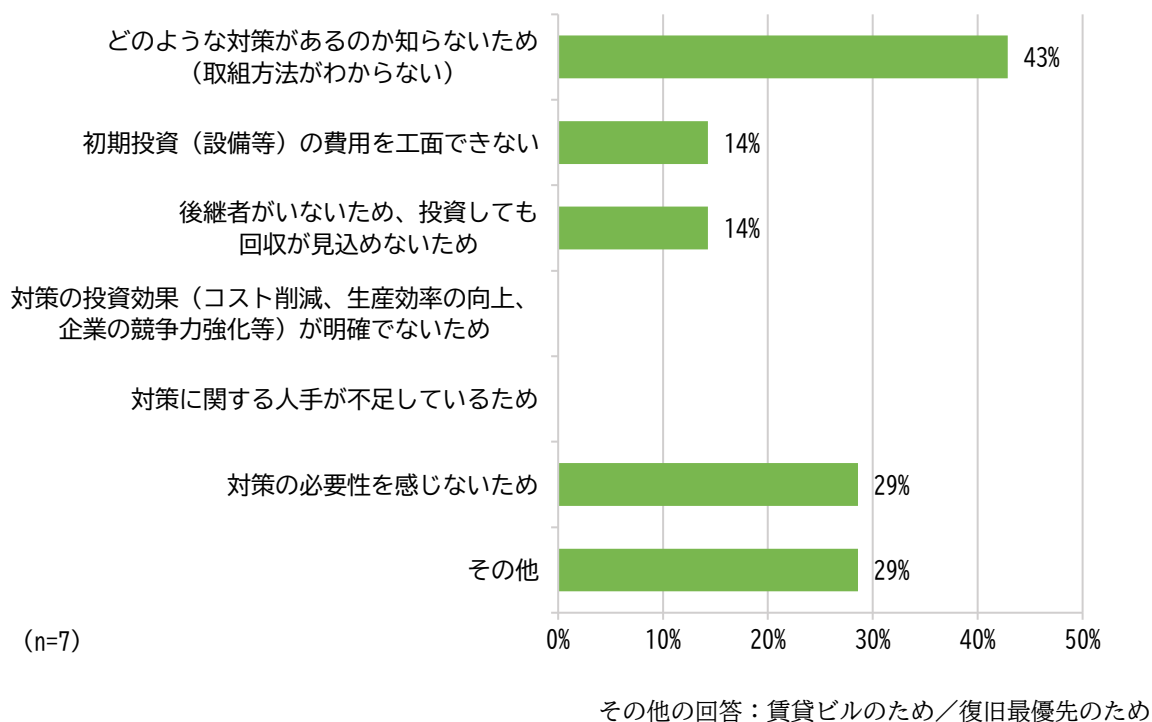


その他の主な回答：カーボンニュートラル／コスト削減と環境負荷低減の両立

【事業者規模別】



問5	地球温暖化対策に取り組んでいない理由（複数回答） ※問3で「取り組んでいない」を選択した場合の回答
・「どのような対策があるのか知らないため（取組方法がわからない）」が43%で最も多く、次いで「対策の必要性を感じないため」が29%となっている。	



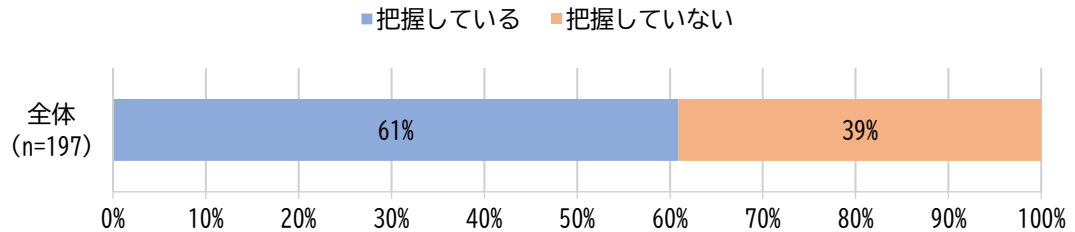
【事業者規模別】

大企業の回答なし

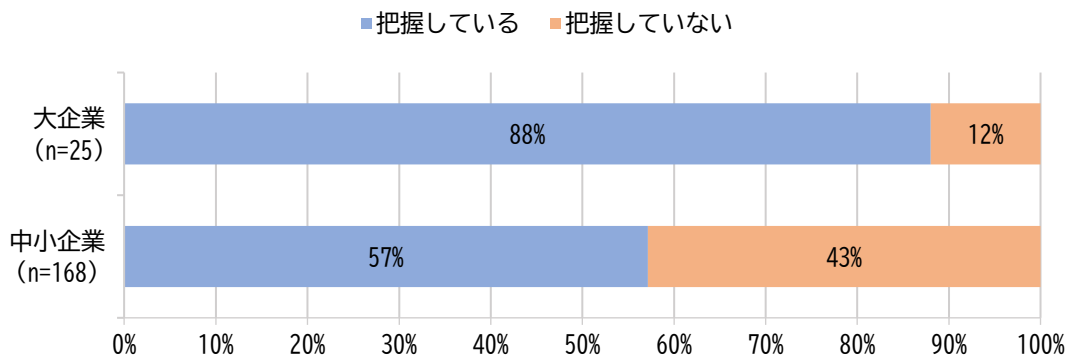
■再エネ・省エネの取組について

問6 温室効果ガス排出量を把握しているか

- ・「把握している」が61%、「把握していない」が39%となっている。
- ・事業者規模別では、大企業は「把握している」が88%で、中小企業と比べて31ポイント高くなっている。

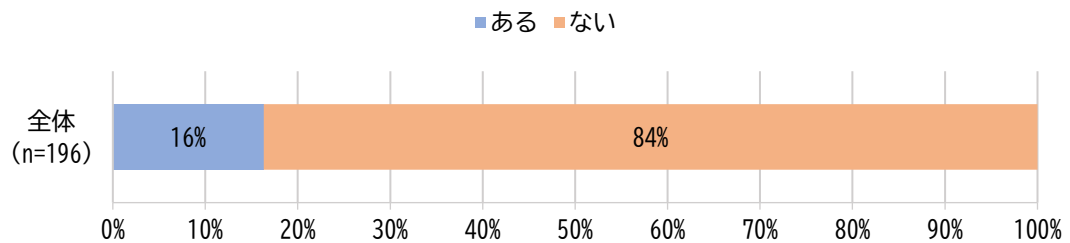


【事業者規模別】

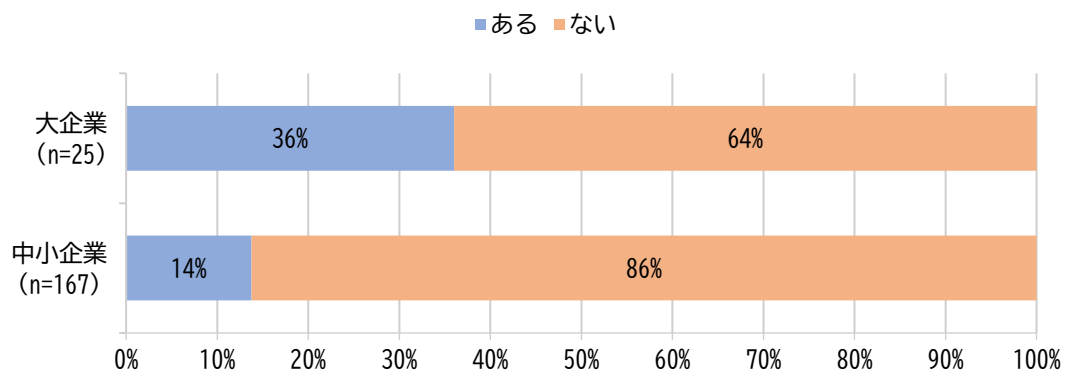


問7 取引先から温室効果ガスの排出削減を求められているか

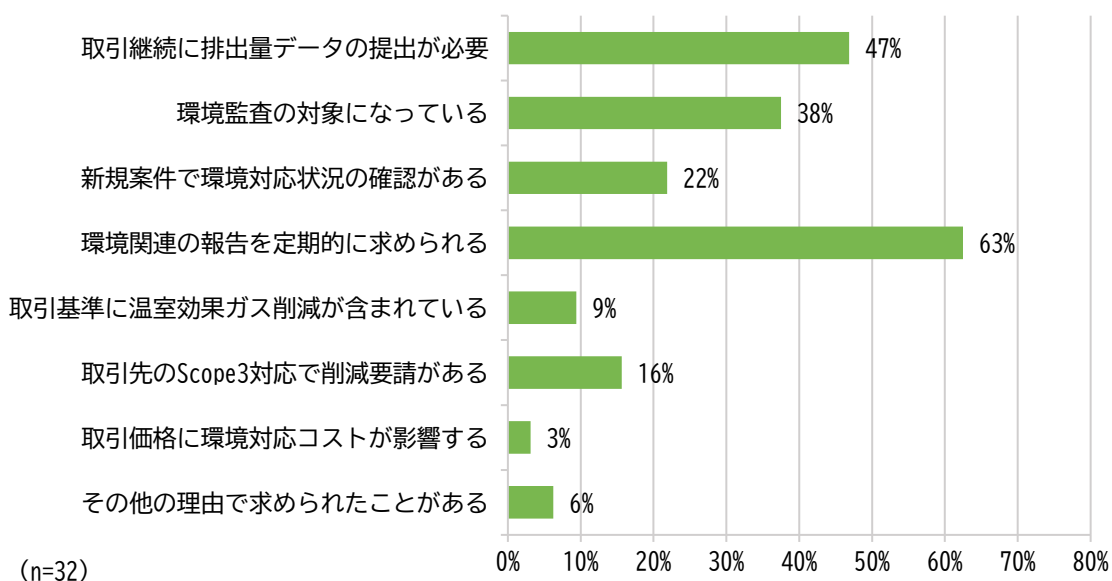
- ・「ない」が84%、「ある」が16%となっている。
- ・事業者規模別では、大企業は「ある」が36%で、中小企業と比べて22ポイント高くなっている。



【事業者規模別】

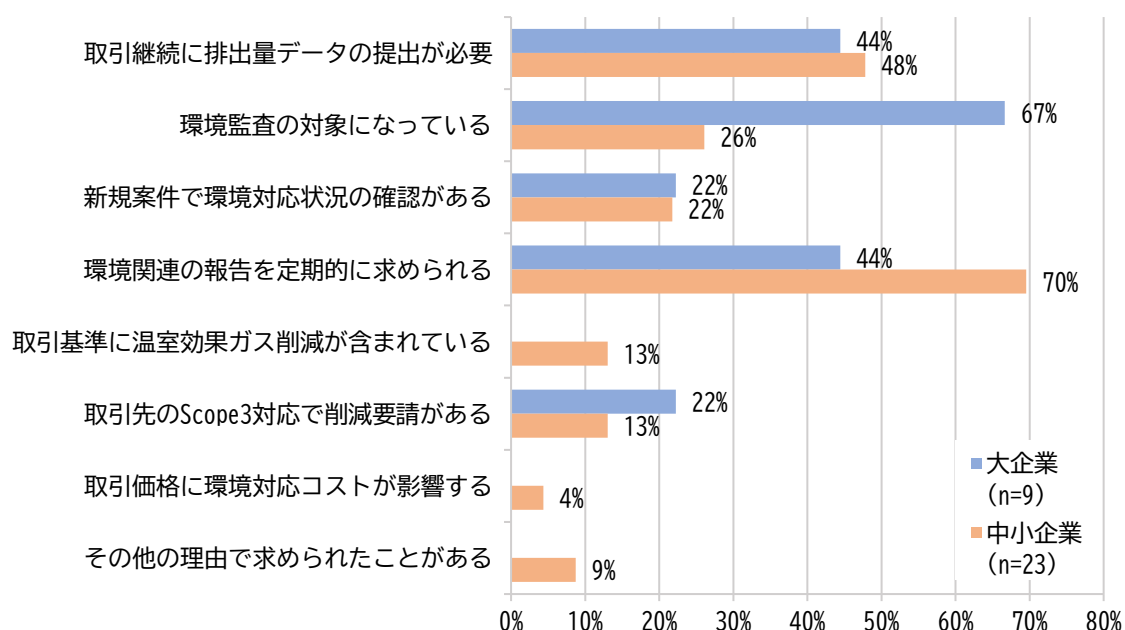


問 8	温室効果ガスの排出削減を求められていると感じる場面（複数回答） ※問 7 で「ある」を選択した場合の回答
・「環境関連の報告を定期的に求められる」が 63%で最も多く、次いで「取引継続に排出量データの提出が必要」が 47%、「環境監査の対象になっている」が 38%となっている。 ・事業者規模別では、大企業は「環境監査の対象になっている」が 67%で、中小企業と比べて 41 ポイント高くなっている。一方、中小企業は「環境関連の報告を定期的に求められる」が 70%で、大企業と比べて 26 ポイント高くなっている。	

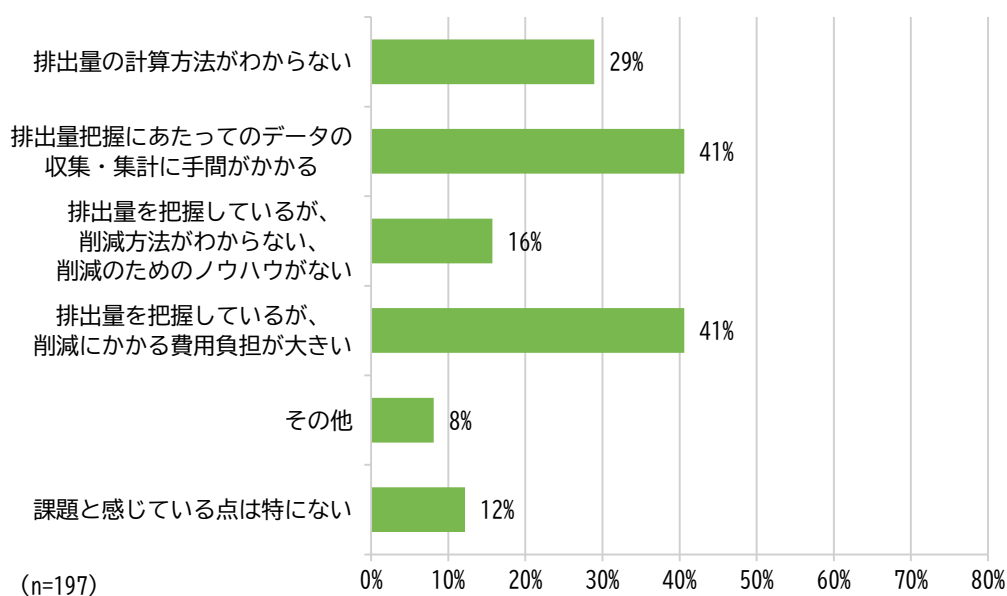


その他の主な回答：客先のフォーマットで排出量及び削減対策を求められた

【事業者規模別】

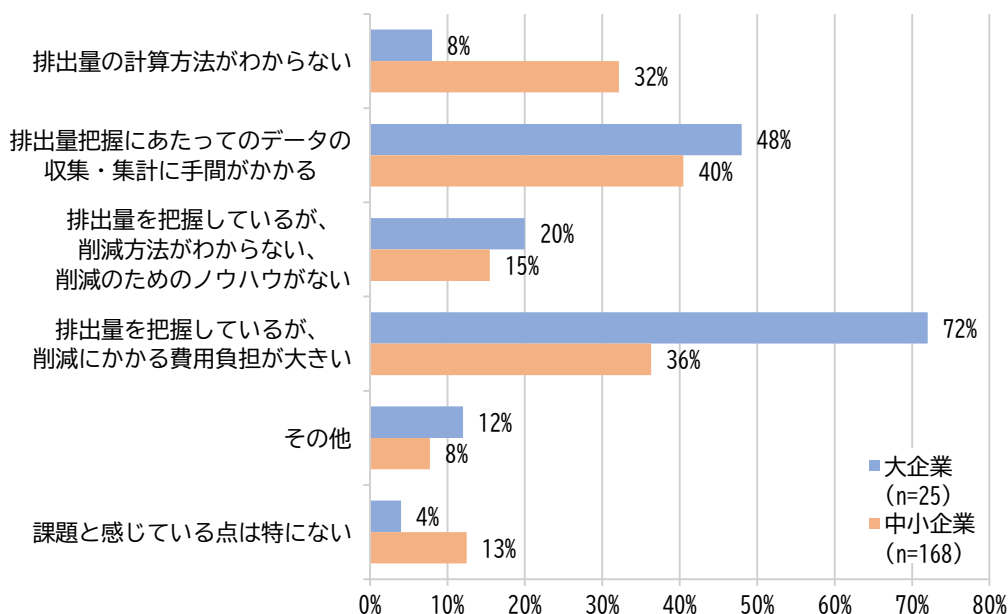


問 9	温室効果ガスの排出削減にあたっての課題（複数回答）
・「排出量把握にあたってのデータの収集・集計に手間がかかる」「排出量を把握しているが、削減にかかる費用負担が大きい」がそれぞれ41%で最も多く、次いで「排出量の計算方法がわからない」が29%となっている。 ・事業者規模別では、大企業は「排出量を把握しているが、削減にかかる費用負担が大きい」が72%で、中小企業と比べて36ポイント高くなっている。一方、中小企業は「排出量の計算方法がわからない」が32%で、大企業と比べて24ポイント高くなっている。	

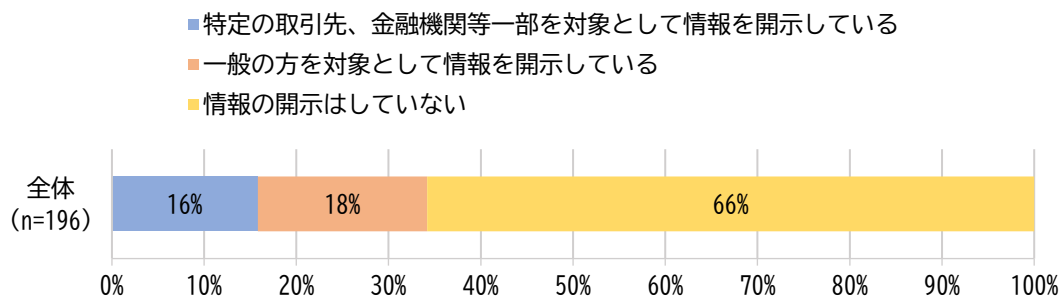


その他の主な回答：化石燃料の削減／投資対効果がある削減施策が尽きた／電力会社の排出係数に大きく左右される

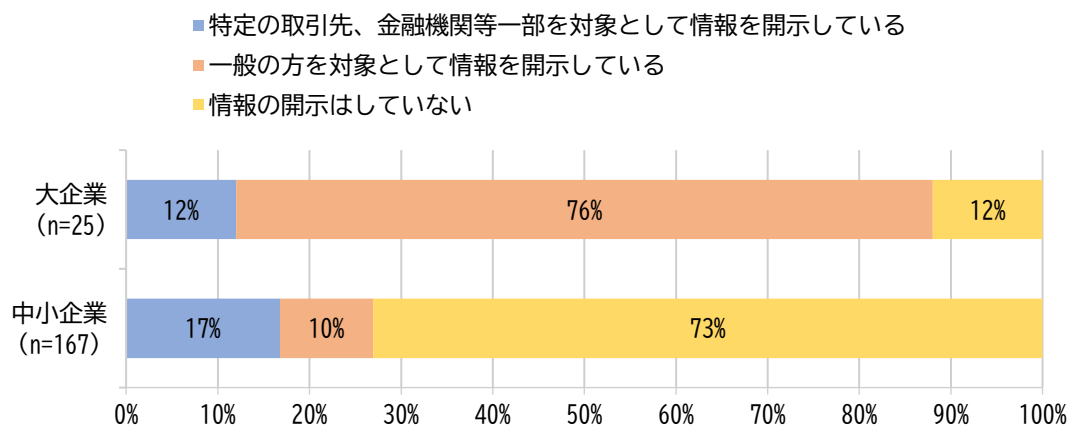
【事業者規模別】



問 10	環境に関するデータ、取組等を開示しているか
・「情報の開示はしていない」が 66%で最も多く、次いで「一般の方を対象として情報を開示している」が 18%、「特定の取引先、金融機関等一部を対象として情報を開示している」が 16%となっている。 ・事業者規模別では、中小企業は「情報の開示はしていない」が 73%で、大企業と比べて 61 ポイント高くなっている。	

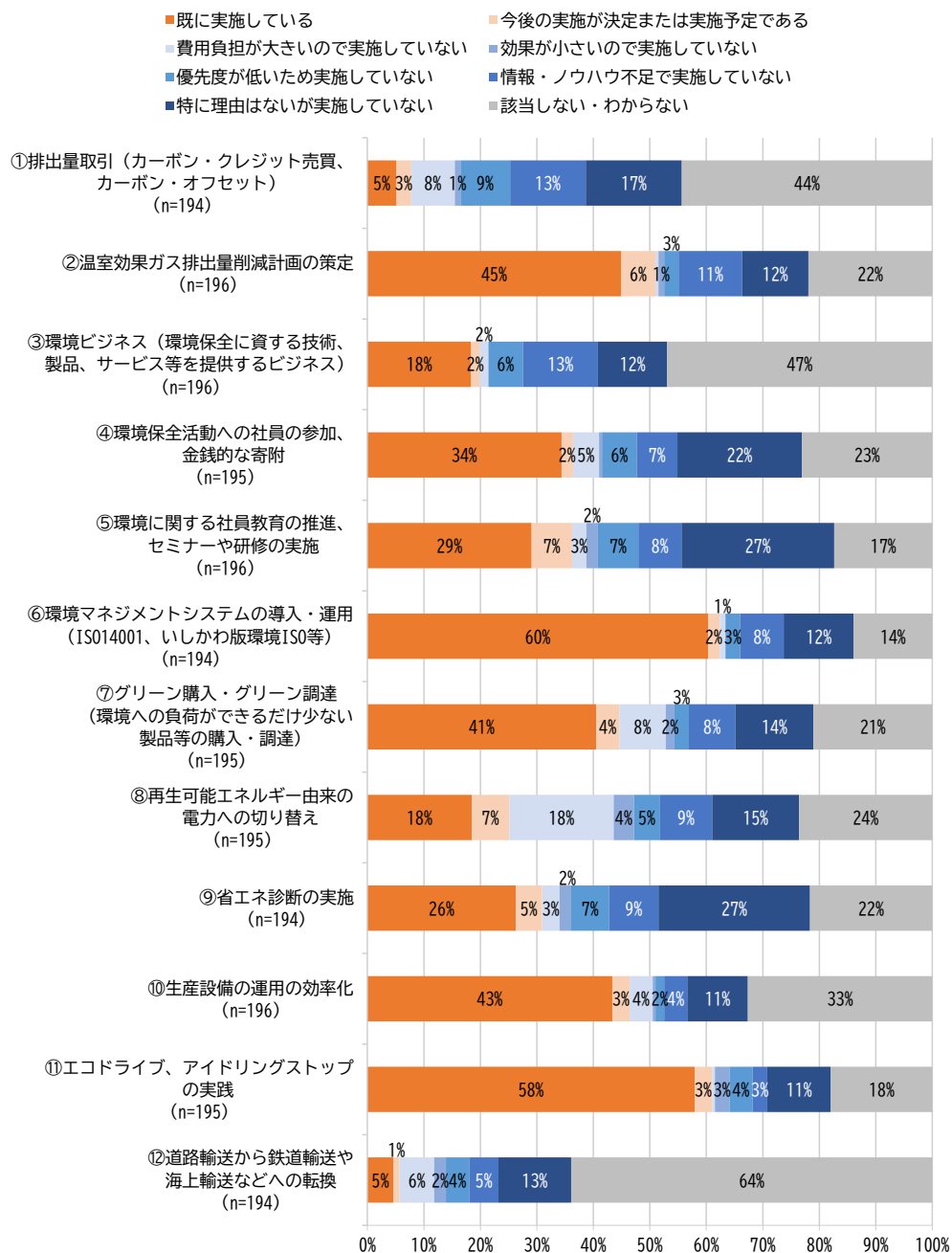


【事業者規模別】

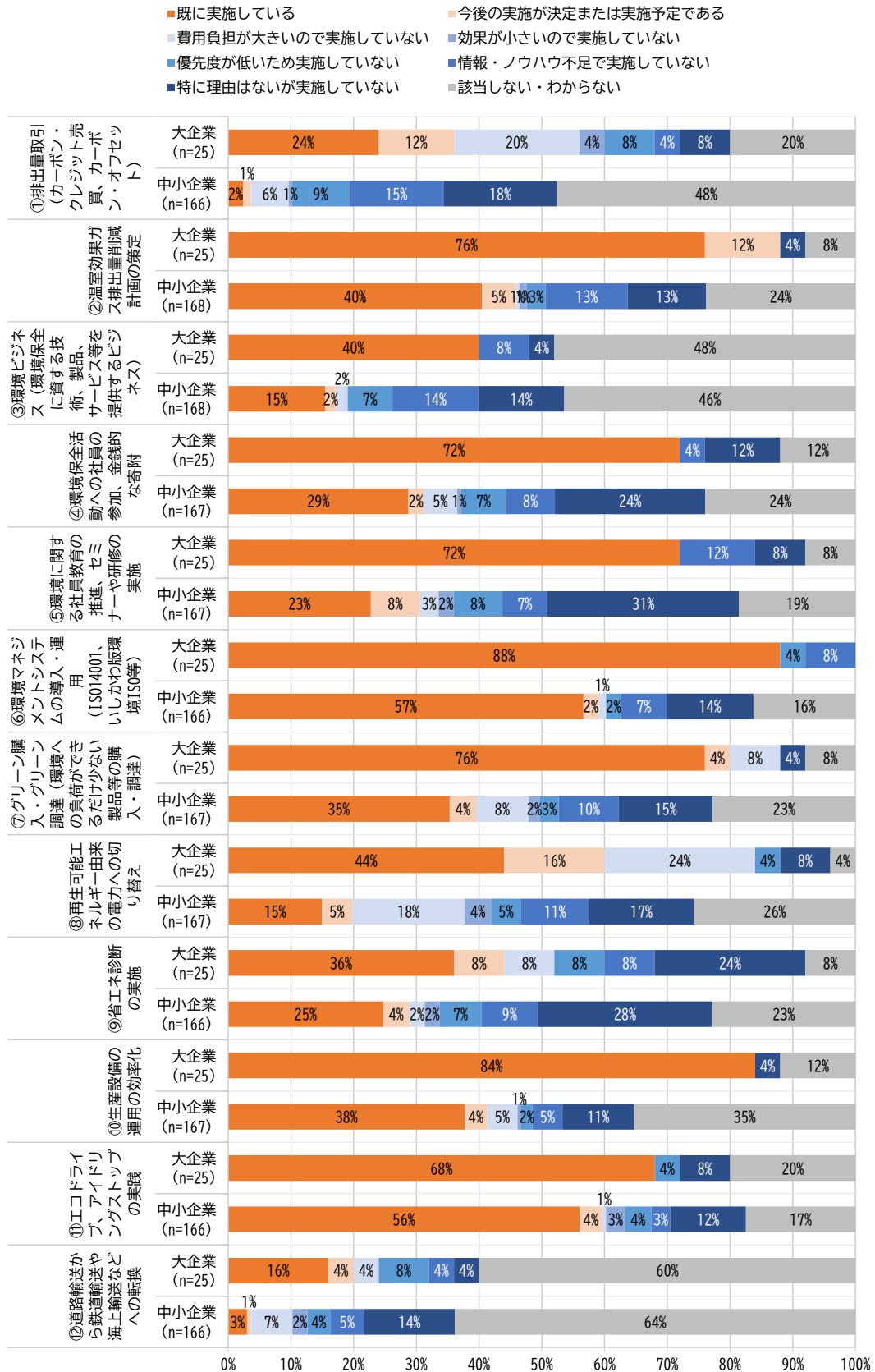


問 11-1 地球温暖化対策の取組状況

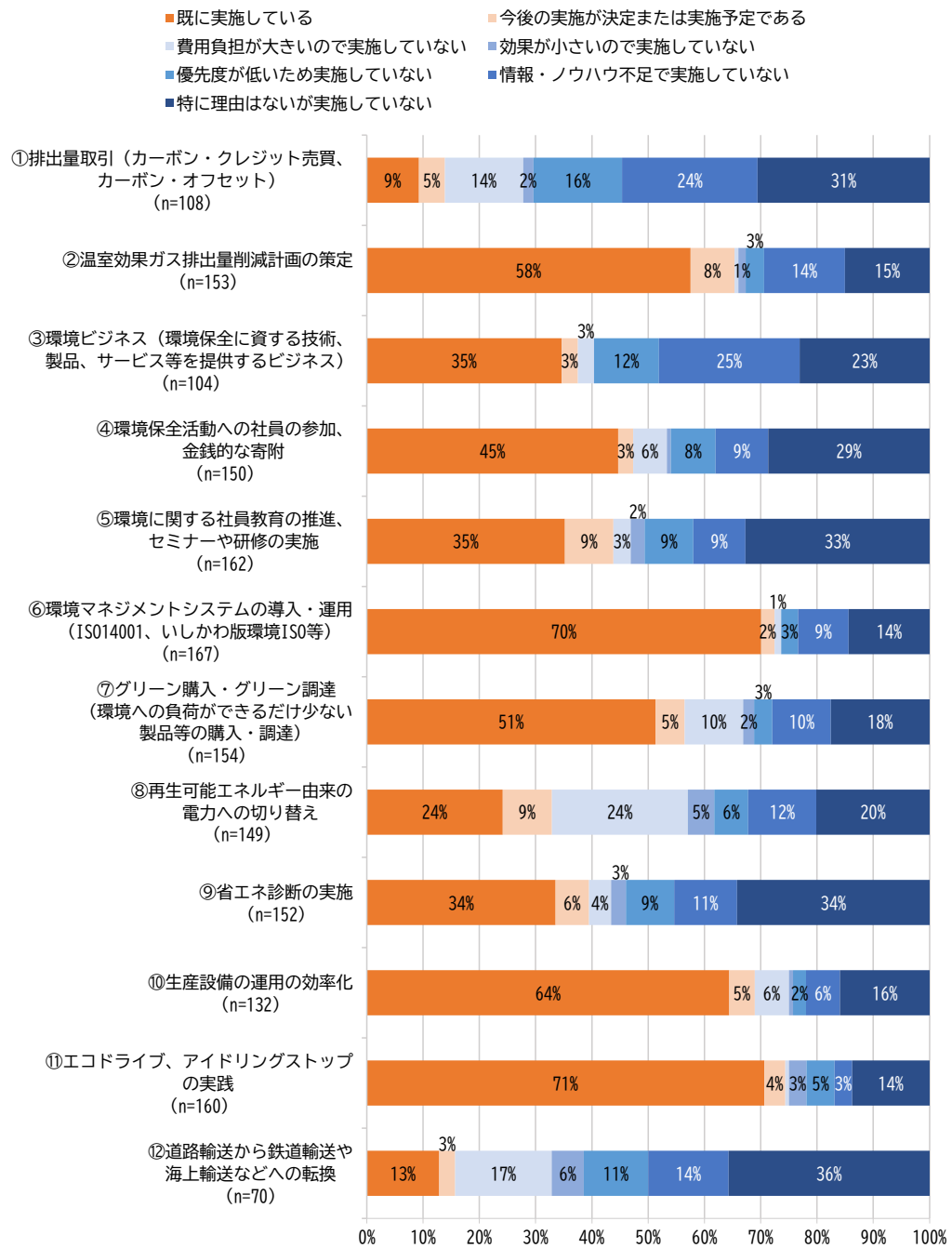
- ・“②温室効果ガス排出量削減計画の策定”“⑥環境マネジメントシステムの導入・運用”“⑪エコドライブ、アイドリングストップの実践”は「実施している」「実施予定である」の合計が5割以上を占める。一方、“①排出量取引”“⑤環境に関する社員教育の推進、セミナーや研修の実施”“⑧再生可能エネルギー由来の電力への切り替え”“⑨省エネ診断の実施”は「実施していない」の合計が約5割を占める。
- ・事業者規模別では、大企業は全ての項目で「既に実施している」が中小企業と比べて12ポイント以上高くなっている。



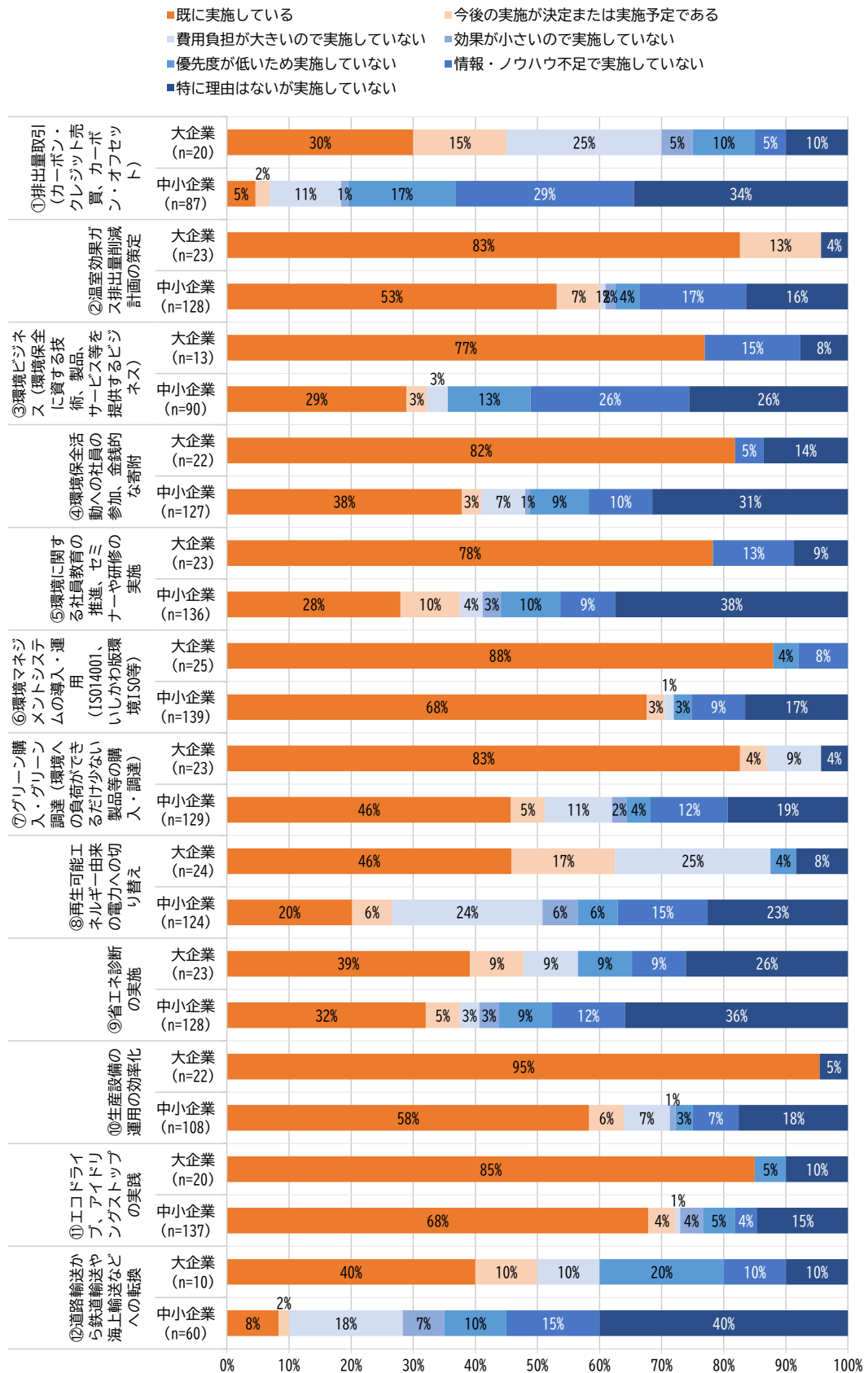
【事業者規模別】



【参考：「該当しない・わからない」を除いた集計（全体）】

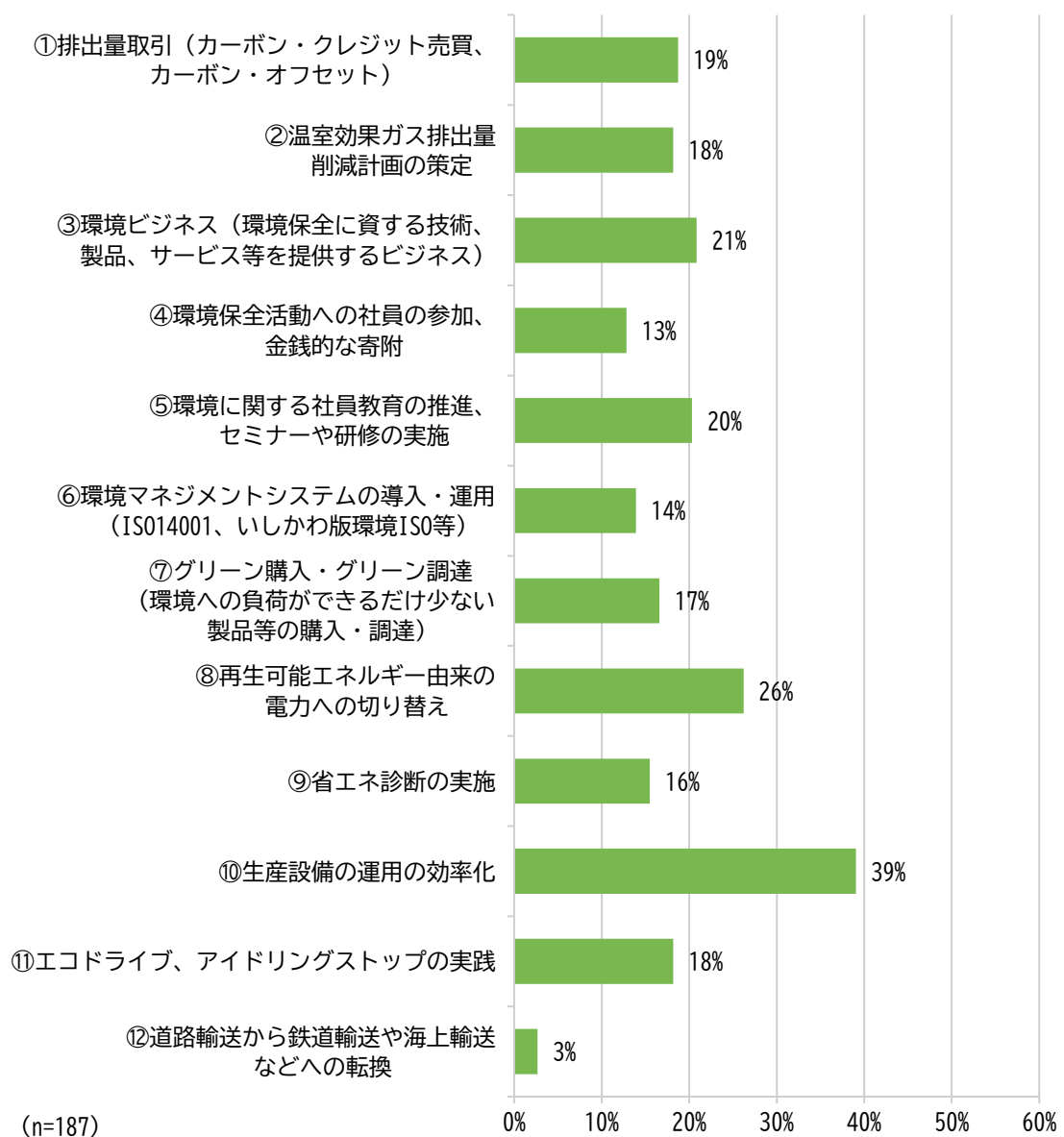


【参考：「該当しない・わからない」を除いた集計（事業者規模別）】

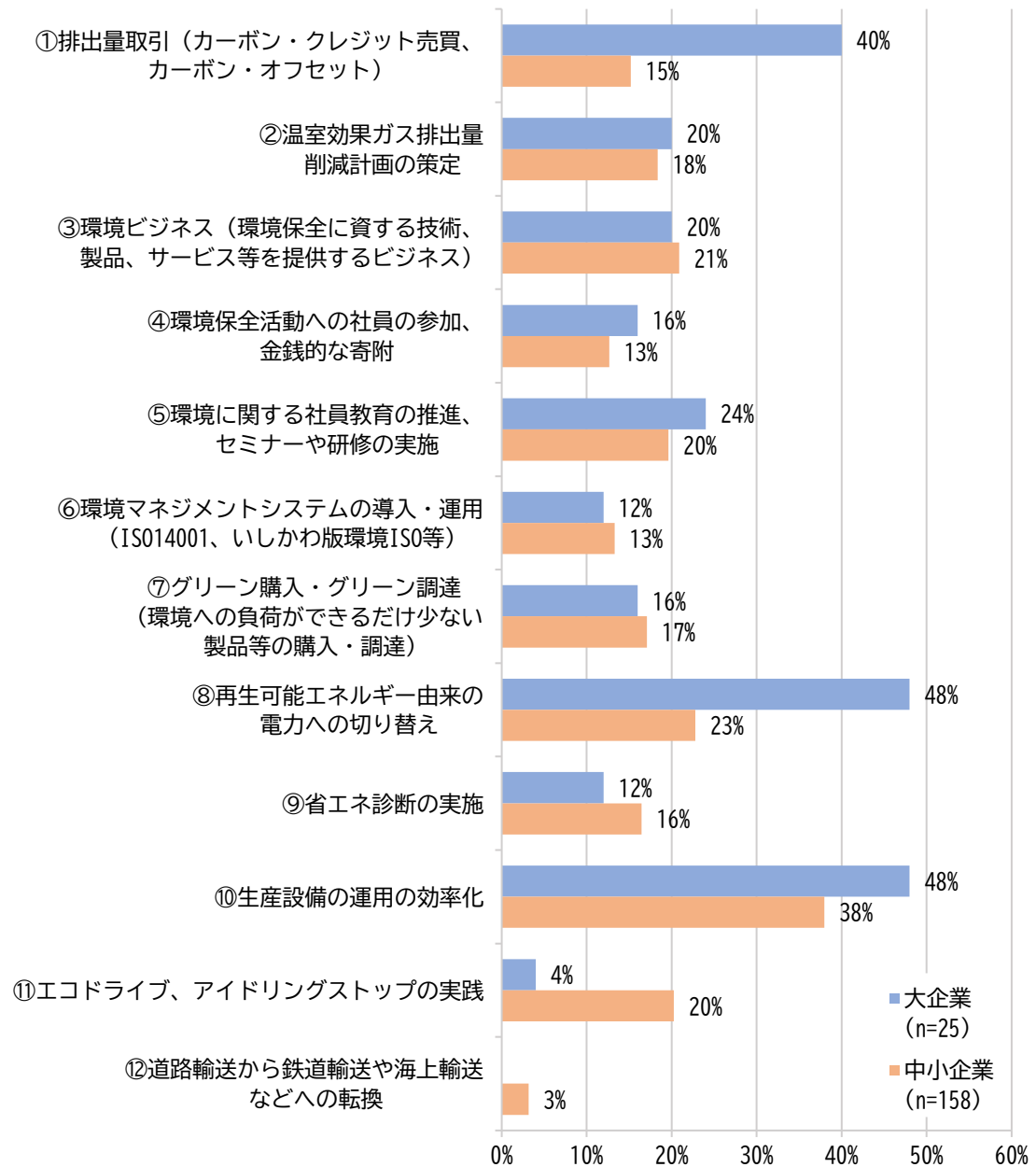


問 11-2 特に興味のある取組（複数回答）

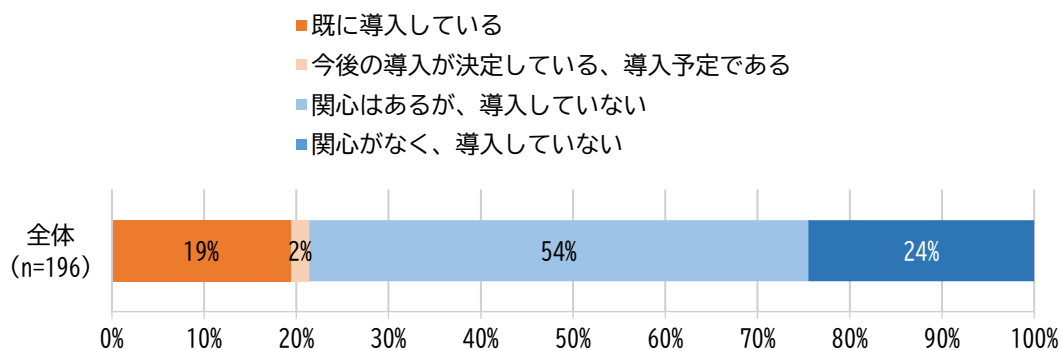
- ・「⑩生産設備の運用の効率化」が 39%で最も多く、次いで「⑧再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」が 26%、「③環境ビジネス（環境保全に資する技術、製品、サービス等を提供するビジネス）」が 21%となっている。
- ・事業者規模別では、大企業は「①排出量取引（カーボン・クレジット売買、カーボン・オフセット）」が 40%、「⑧再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」が 48%で、中小企業と比べて 25 ポイント高くなっている。一方、中小企業は「⑪エコドライブ、アイドリングストップの実践」が 20%で、大企業と比べて 16 ポイント高くなっている。



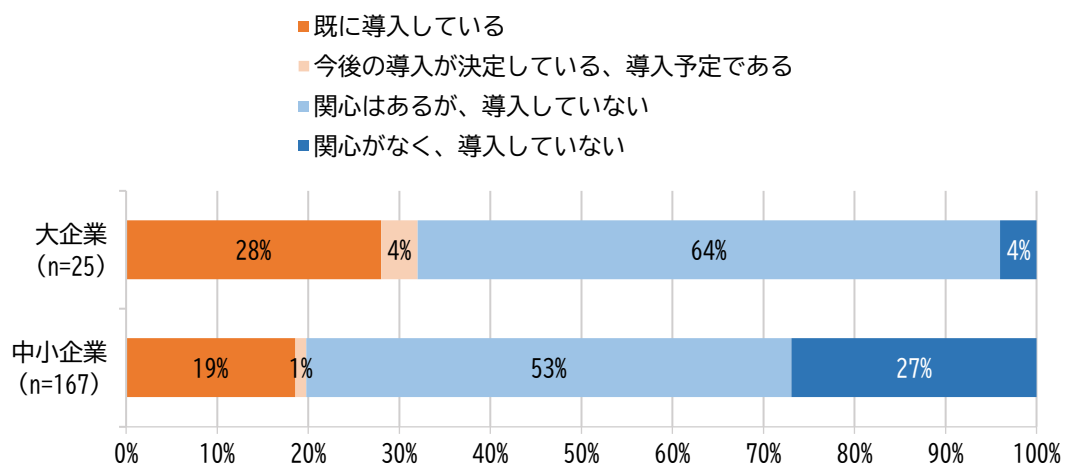
【事業者規模別】



問 12	再生可能エネルギー発電設備を導入しているか
・「関心があるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」の合計が78%を占める。 ・事業者規模別では、中小企業は「関心があるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」の合計が80%を占め、大企業と比べて12ポイント高くなっている。	



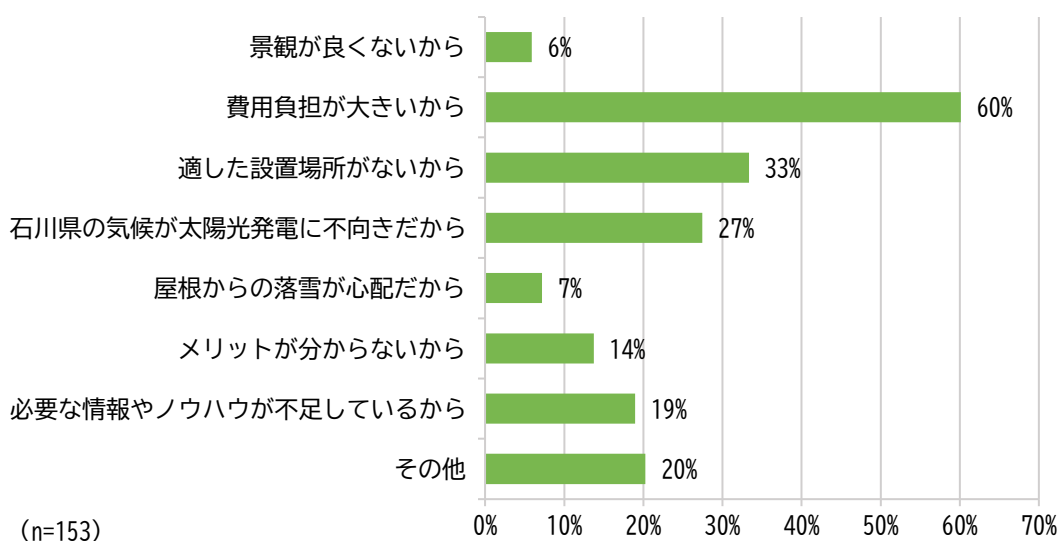
【事業者規模別】



問 13	導入している再生可能エネルギー発電設備の詳細 ※問 12 で「既に導入している」を選択した場合の回答
・再エネ種別は「太陽光発電（屋根設置型）」、用途は「自家消費」が大半を占める。	

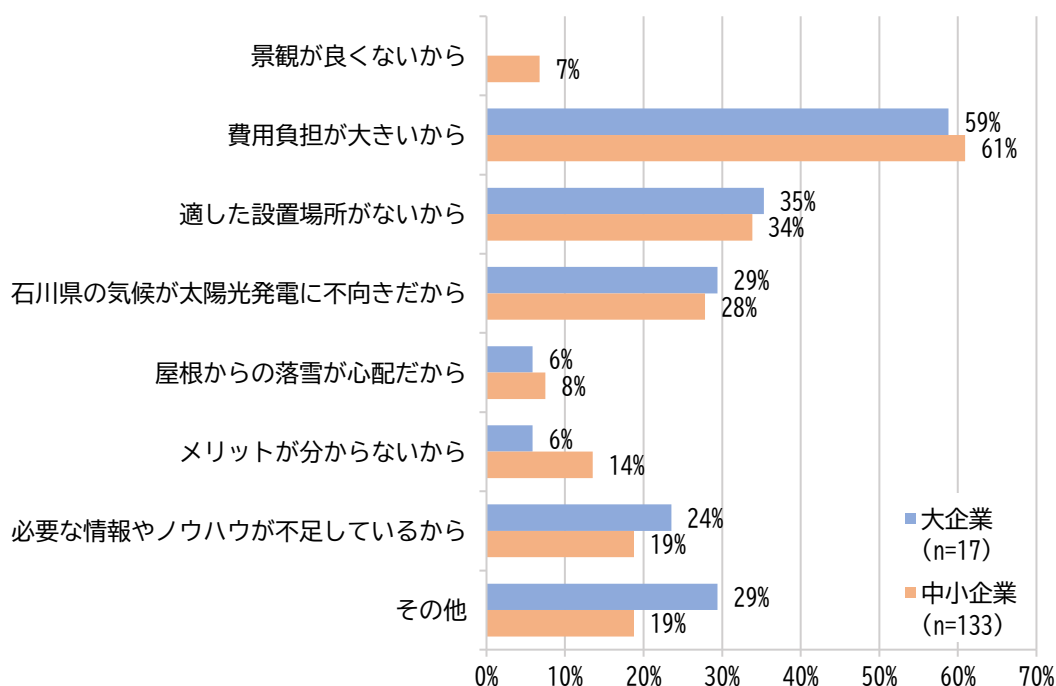
再エネ種別	導入時期 (西暦、年)	設備容量 定格出力 (kw)	用途	PPAでの 実施	備考
太陽光発電（屋根設置型）	2010.5	年平均1,700kwh	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2012.9	11	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2024.6	392	FIT・FIP売電	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2012.12	47	FIT・FIP売電	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2013.5	200	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2013.3	223	FIT・FIP売電	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2017.3	121	FIT・FIP売電	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2013.1	188	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2013.6	50	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2012.12	52	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2013.7	934	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2014.8	550	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2013.3	50	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2015.4	40	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2023.7	10	FIT・FIP売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2025.5	400	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	不明	不明	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2023.11	400	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2024.6	14	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2021.6	100	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2024.3	706	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2025.4	40	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2024.3	1,900	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2025.6	400	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2024.4	79	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2025.3	150	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2022.4	100	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2023.3	500	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2024.7	1,000	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2021.7	110	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2021.3	149	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2012.11	25	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2012.12	100	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2013.8	210	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2022.12	1,010	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2021.12	600	自家消費	○	
太陽光発電（屋根設置型）	2024.4	725	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2022.1	550	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2004.4	100	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2010.4	30	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2003.4	20	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2009.4	20	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2015.12	30	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2010.4	10	自家消費		
太陽光発電（屋根設置型）	2021.4	10	その他の売電		
太陽光発電（屋根設置型）	2010.4	49	その他の売電		
太陽光発電（地上設置型）	2016.12	50	FIT・FIP売電		
太陽光発電（地上設置型）	2015.8	340	FIT・FIP売電		
太陽光発電（地上設置型）	2024.4	1,962	自家消費		
太陽光発電（地上設置型）	2025.4	3,750	自家消費	○	
太陽光発電（地上設置型）	2023.1	168	自家消費	○	
太陽光発電（地上設置型）	2009.7	不明	自家消費		
太陽光発電（地上設置型）	2024.4	755	自家消費	○	
太陽光発電（ソーラーカーポート）	2022.1	6	自家消費	○	
太陽光発電（ソーラーカーポート）	2023.1	434	自家消費	○	
その他（発電廃棄物利用など）	2016.1	132	自家消費		廃棄物焼却による発電
その他（発電廃棄物利用など）	2018.1	160	自家消費		廃棄物焼却による発電
その他（発電廃棄物利用など）	2024.12	280	自家消費		廃棄物焼却による発電

問 14	太陽光発電設備を導入していない理由（複数回答） ※問 12 で「関心はあるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」を選択した場合の回答
・「費用負担が大きいから」が60%で最も多く、次いで「適した設置場所がないから」が33%、「石川県の気候が太陽光発電に不向きだから」が27%となっている。 ・事業者規模別では、中小企業は「メリットが分からないから」が14%で、大企業と比べて8ポイント高くなっている。	

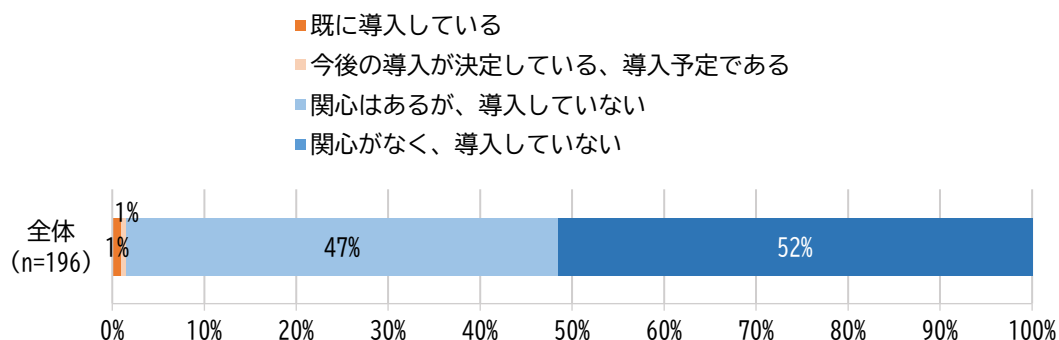


その他の主な回答：賃貸のため導入できない／テナント入居のため／耐用年数後の処分に不安

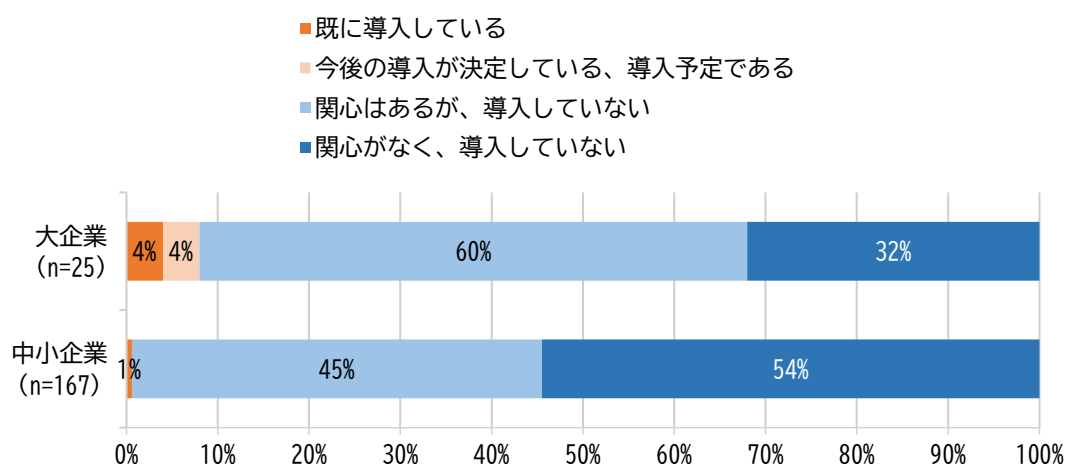
【事業者規模別】



問 15	熱利用設備を導入しているか
・「関心はあるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」の合計が98%を占める。 ・事業者規模別では、中小企業は「関心がなく、導入していない」が54%で、大企業と比べて22ポイント高くなっている。	



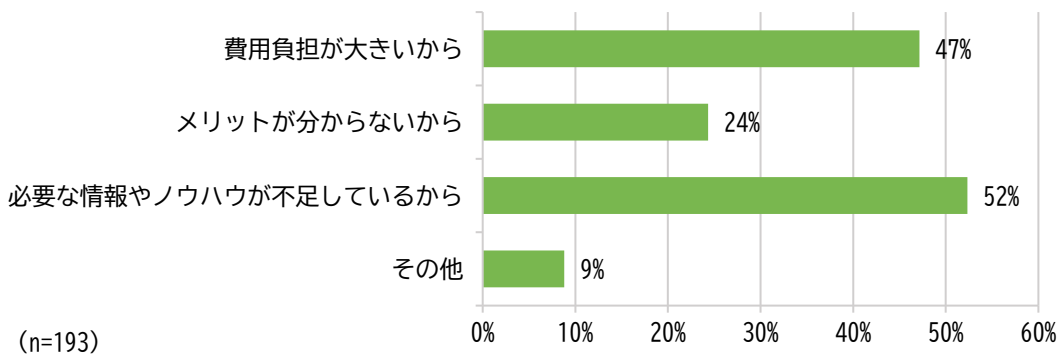
【事業者規模別】



問 16	導入している熱利用設備の詳細 ※問 15 で「既に導入している」を選択した場合の回答
・ 再エネ種別は「地中熱」が大半を占める。	

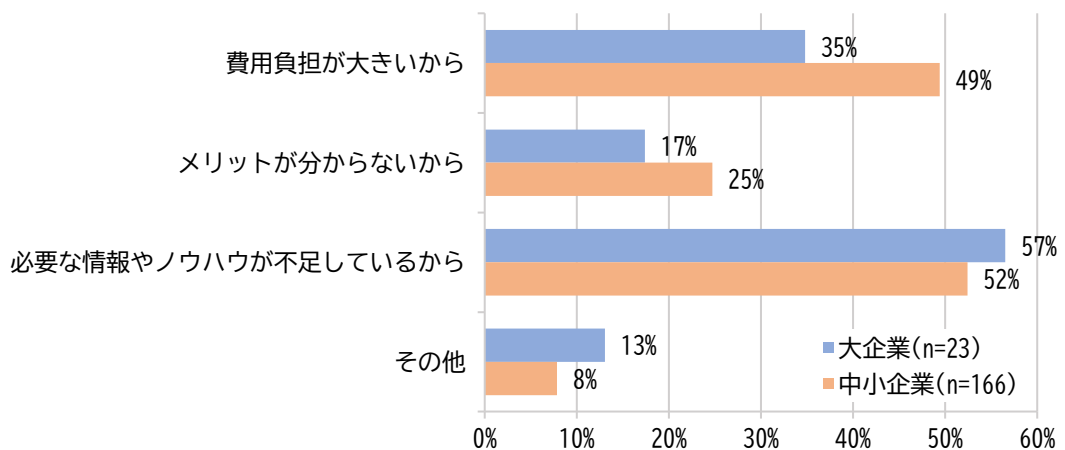
再エネ種別	導入時期 (西暦、年)	設備容量 定格出力 (kw)	年間の 運転時間 (時間)	備考
地中熱	2021.9	172	3,200	工程中の井水の熱を利用
地中熱	2022.8	46	3,200	工程中の井水の熱を利用
地中熱	2023.8	67	3,200	行程中の井水の熱を利用
地中熱	2024.8	32	900	工程中の井水の熱を利用
その他の熱利用	1988.01	54660kj/kg(発熱量) ×40kg/h(LNG)	7,000	・ 排熱利用設備 (LNG使用) ・ 熱処理テンパー炉レキュペレータ ・ 他にも排熱利用設備がある (熱回収コンプレッサー、 湯洗水排熱回収) が詳細不明

問 17	熱利用設備を導入していない理由（複数回答） ※問 15 で「関心はあるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」を選択した場合の回答
・「必要な情報やノウハウが不足しているから」が 52%で最も多く、次いで「費用負担が大きいから」が 47%、「メリットが分からないから」が 24%となっている。 ・事業者規模別では、中小企業は「費用負担が大きいから」が 49%で、大企業と比べて 14 ポイント高くなっている。	

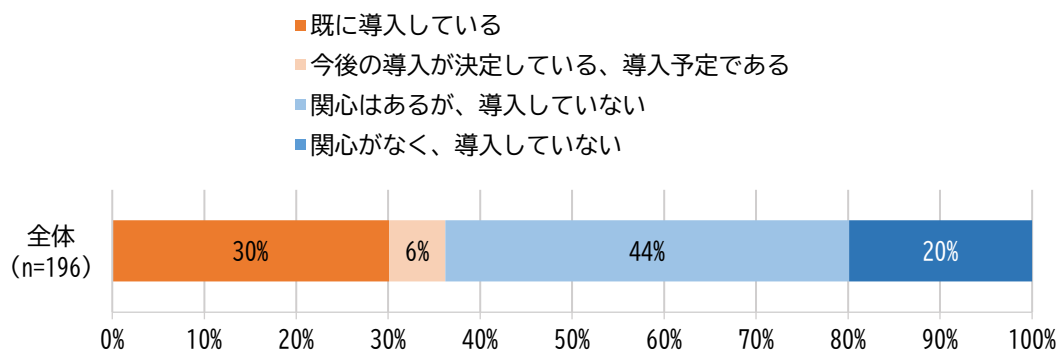


その他の主な回答：賃貸物件のため／該当する設備、環境がないため

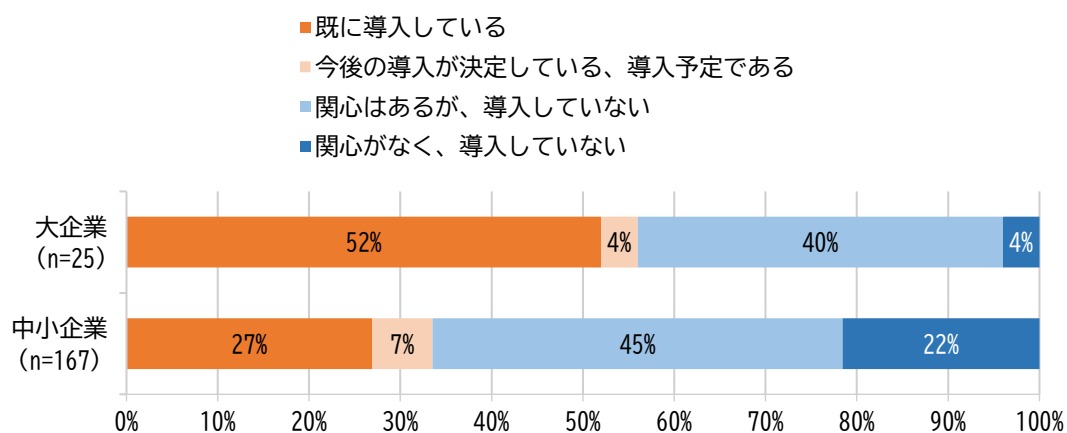
【事業者規模別】



問 18	省エネ設備を導入しているか
・「関心はあるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」の合計が64%を占める。 ・事業者規模別では、大企業は「既に導入している」が52%で、中小企業と比べて 25 ポイント高くなっている。	



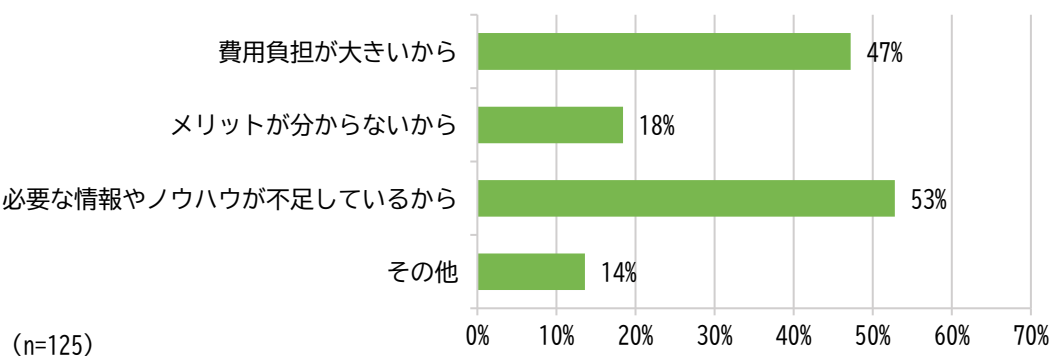
【事業者規模別】



問 19	導入している省エネ設備の詳細
	※問 18 で「既に導入している」を選択した場合の回答
・「空調設備（エアコン、井水クーラー）」の回答が多くみられる。	

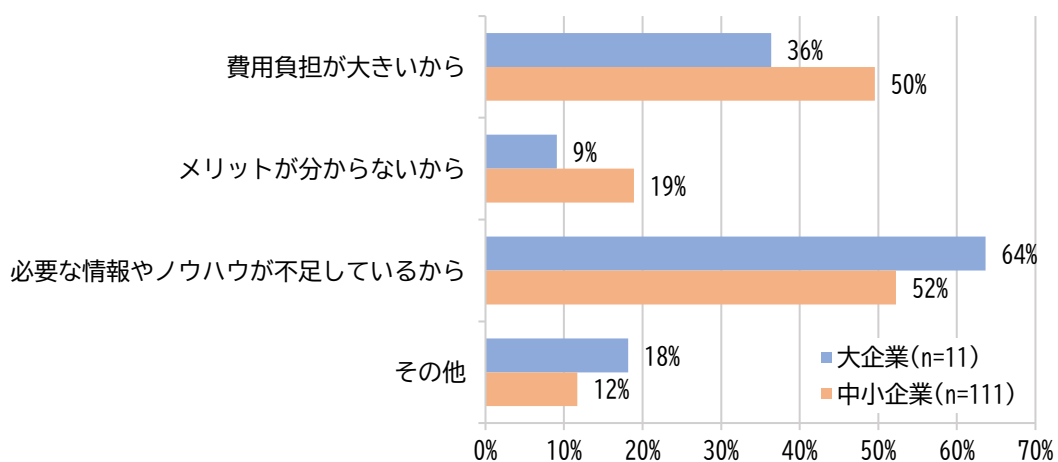
省エネ設備詳細	
空調設備	エアコン (省力化エアコン、三菱電機PLZX-ZRP2240EFK、ダイキン製パッケージエアコン、アイシン製ガスヒートポンプエアコンなど)
	井水クーラー
	高効率空調設備 (GHP、RHGP1800AVX)
	給排気熱交換型インバーター周波数可変式空調機
	インバーター付き空調設備
	ダイキンのビルマルチ空調 (APF6.6)
	インバーター制御のエアーハンドリングユニット
	モジュールチラー等
	外調機の加湿方式を、蒸気噴霧による加湿から純水滴下による加湿に変更
	最新の空調機器を導入
熱設備	ヒートポンプ式給湯器
	熱負荷追従型インバーター周波数可変式熱源ポンプ
	排熱回収装置
	ボイラー
コンプレッサー	空気圧縮機 (VS1400WIII-75)
	空気圧縮機インバータ式
	熱回収式コンプレッサー
	高効率圧縮機
トランス	アモルファスタイプの変圧器
	アモルファスZEROを用いた高効率設備
	高効率トランス
	電源トランス (SOU-DDCA3)
	トップランナートランス
冷凍設備	高効率変電設備
	インバーター制御の冷凍機
	ターボ冷凍機
モーター	自然冷媒 (NH3、CO2) の冷凍機
	トップランナーモーター
	高効率電動機
その他	LED照明
	生産設備の廃熱回収設備
	排水処理の高効率散気装置及びターボブローア
	コンティニュームネット取り付け
	BEMS (ビル・エネルギー・マネジメント・システム)
	建設重機

問 20	省エネ設備を導入していない理由（複数回答） ※問 18 で「関心はあるが、導入していない」「関心がなく、導入していない」を選択した場合の回答
・「必要な情報やノウハウが不足しているから」が 53%で最も多く、次いで「費用負担が大きいから」が 47%、「メリットが分からないから」が 18%となっている。 ・事業者規模別では、中小企業は「費用負担が大きいから」が 50%で、大企業と比べて 14 ポイント高くなっている。	

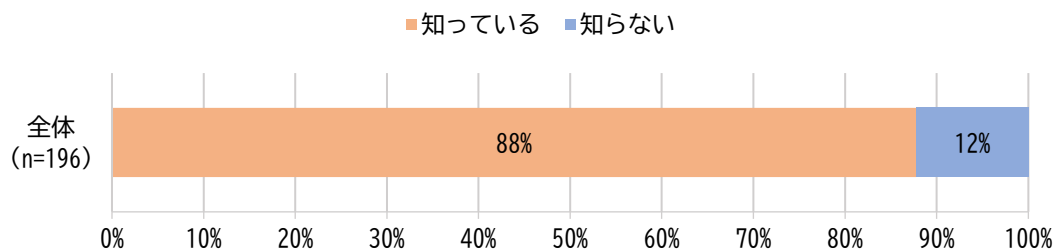


その他の主な回答：賃貸契約のため／テナント入居のため

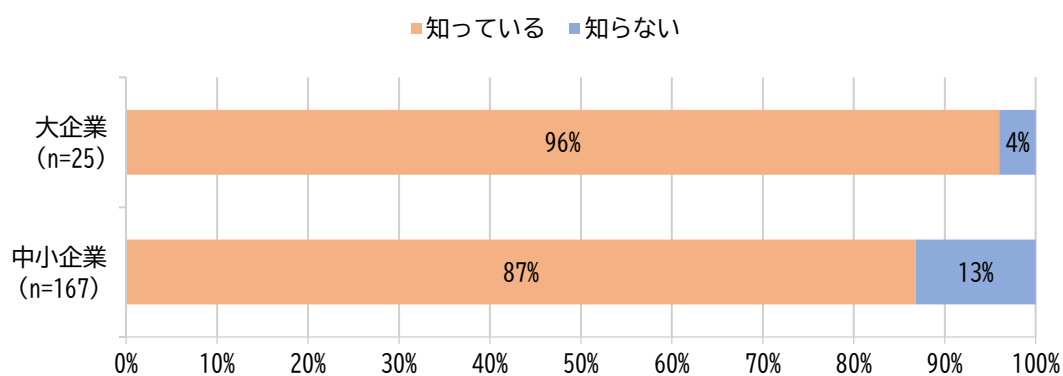
【事業者規模別】



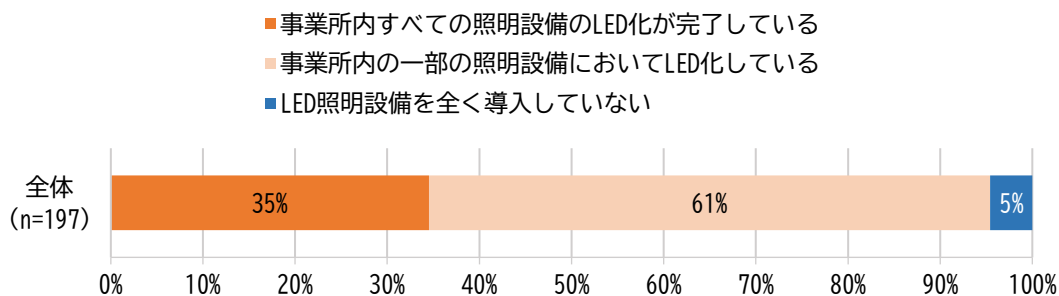
問 21	蛍光灯が 2027 年に生産停止となることを知っているか
・「知っている」が 88%を占める。 ・事業者規模別では、大企業は「知っている」が 96%で、中小企業と比べて 9 ポイント高くなっている。	



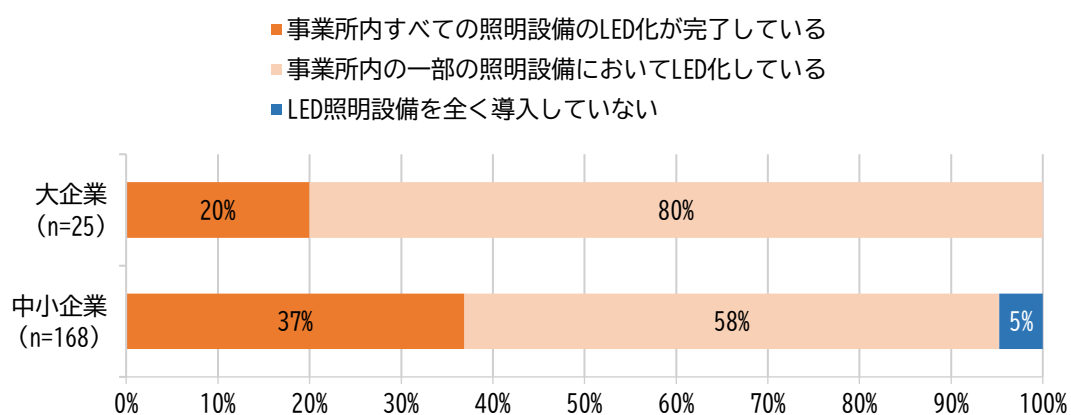
【事業者規模別】



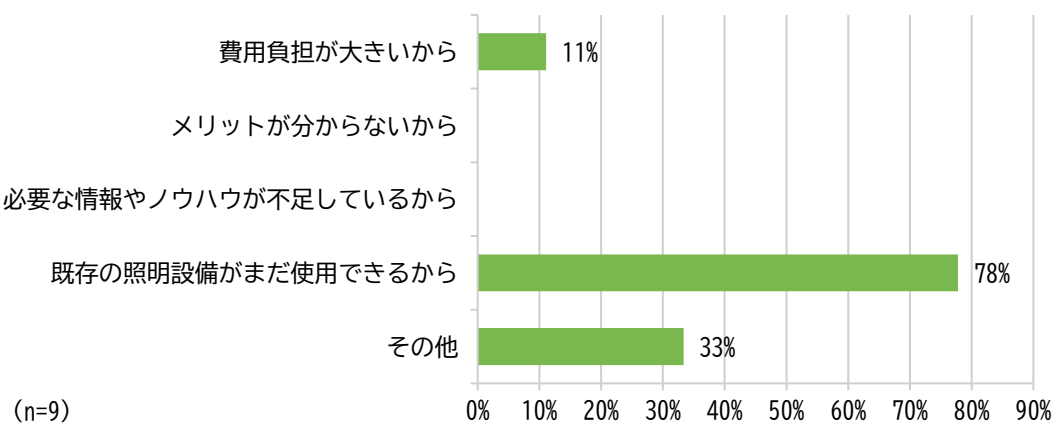
問 22	LED 照明設備を導入しているか
・「事業所内すべての照明設備の LED 化が完了している」「事業所内の一部の照明設備において LED 化している」の合計が 96% を占める。 ・事業者規模別では、大企業は LED 照明設備を導入（一部含む）している企業が 100% を占める。一方、中小企業は「事業所内すべての照明設備の LED 化が完了している」が 37% で、大企業と比べて 17 ポイント高くなっている。	



【事業者規模別】



問 23	LED 化を実施していない理由（複数回答） ※問 22 で「LED 照明設備を全く導入していない」を選択した場合の回答
・「既存の照明設備がまだ使用できるから」が 78% を占める。	

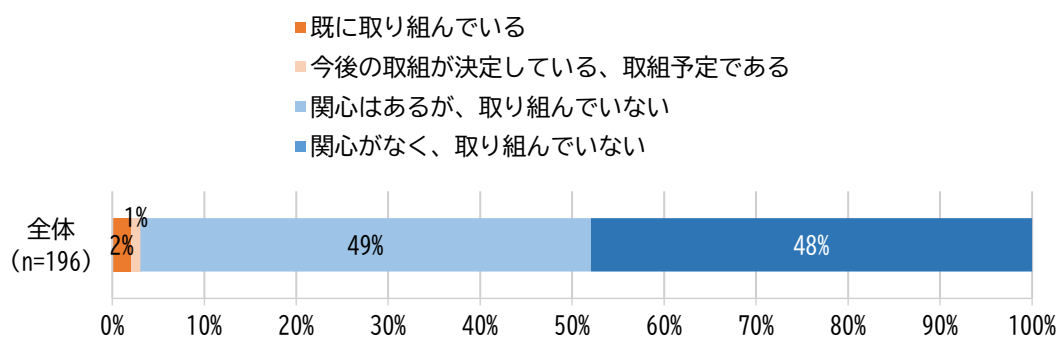


その他の回答：賃貸物件のため

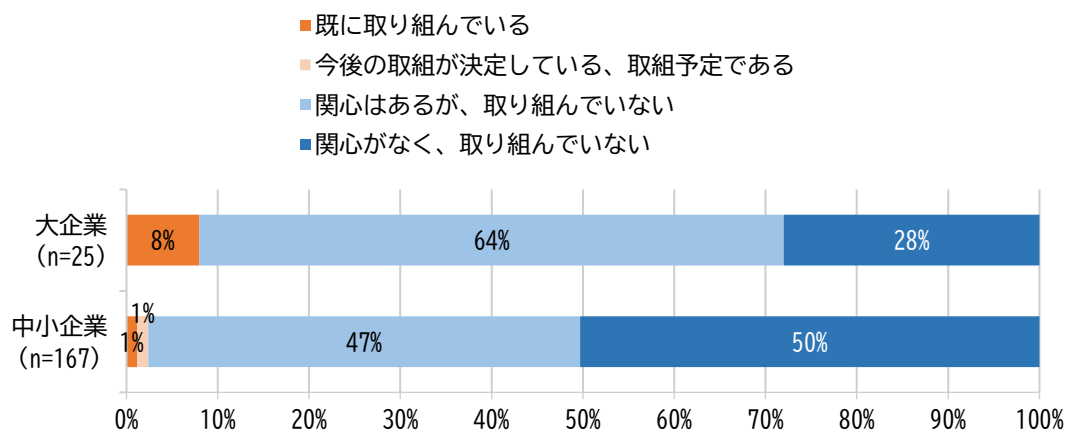
【事業者規模別】

大企業の回答なし

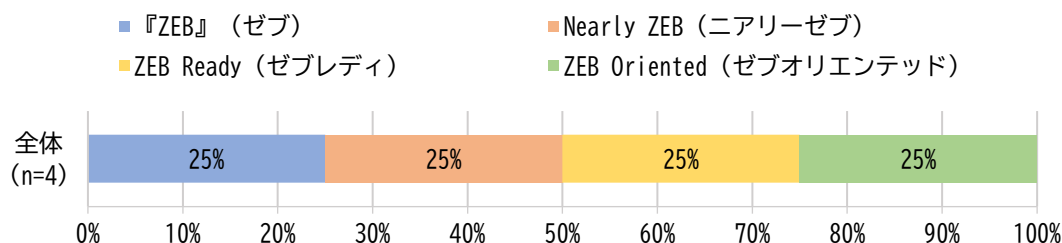
問 24	建築物の ZEB 化に取り組んでいるか
・「関心はあるが、取り組んでいない」「関心がなく、取り組んでいない」の合計が 97% を占める。 ・事業者規模別では、大企業は「既に取り組んでいる」が 8% で、中小企業と比べて 7 ポイント高くなっている。	



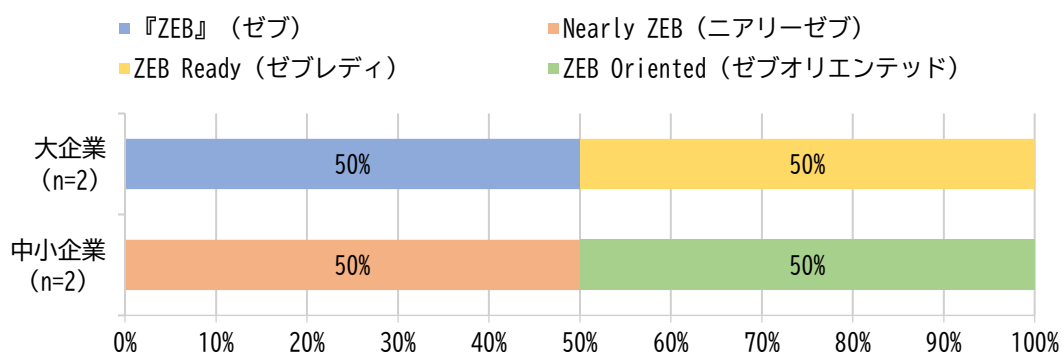
【事業者規模別】



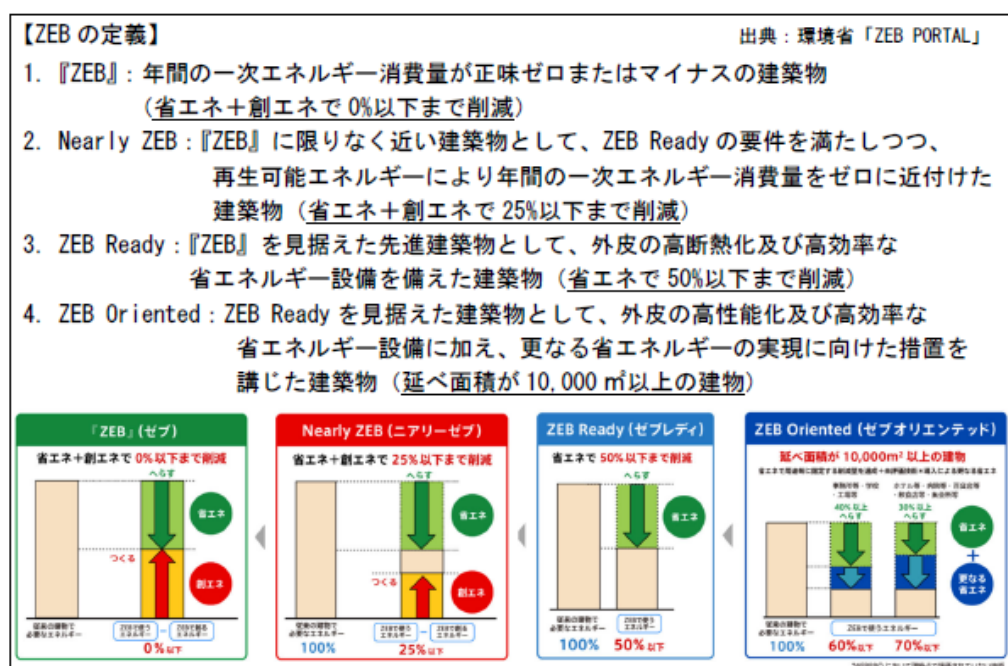
問 25	ZEB 化建築物の種類 ※問 24 で「既に取り組んでいる」を選択した場合の回答
・『ZEB』（ゼブ）」「Nearly ZEB（ニアリーゼブ）」「ZEB Ready（ゼブレディ）」「ZEB Oriented（ゼブオリエンテッド）」がそれぞれ同率となっている。	



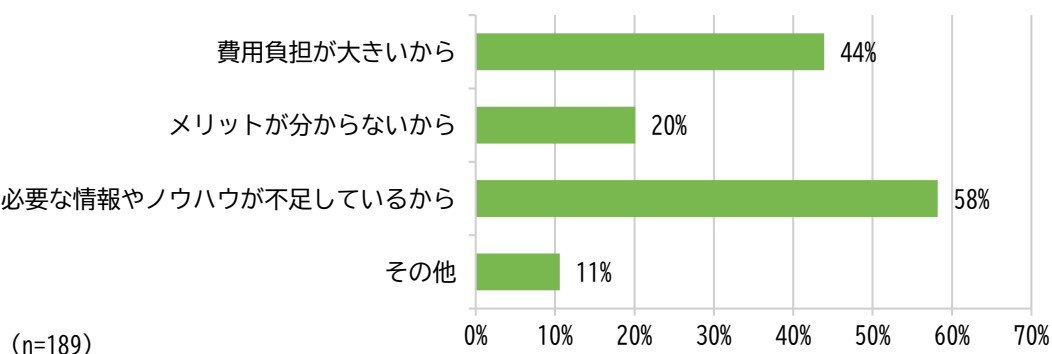
【事業者規模別】



<参考：ZEBの定義>

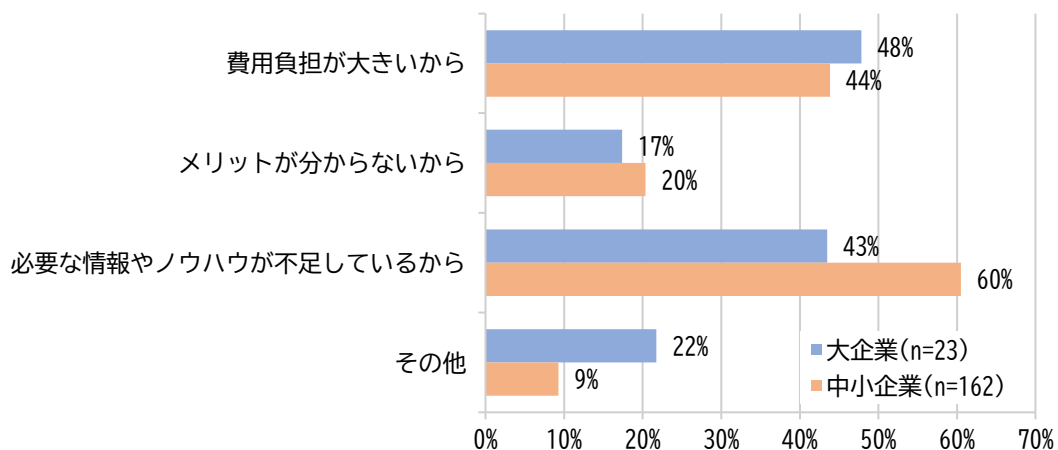


問 26	ZEB 化に取り組まない理由（複数回答） ※問 24 で「関心はあるが、取り組んでいない」「関心がなく、取り組んでいない」を選択した場合の回答
・「必要な情報やノウハウが不足しているから」が 58%で最も多く、次いで「費用負担が大きいから」が 44%、「メリットが分からないから」が 20%となっている。 ・事業者規模別では、中小企業は「必要な情報やノウハウが不足しているから」が 60%で、大企業と比べて 17 ポイント高くなっている。	



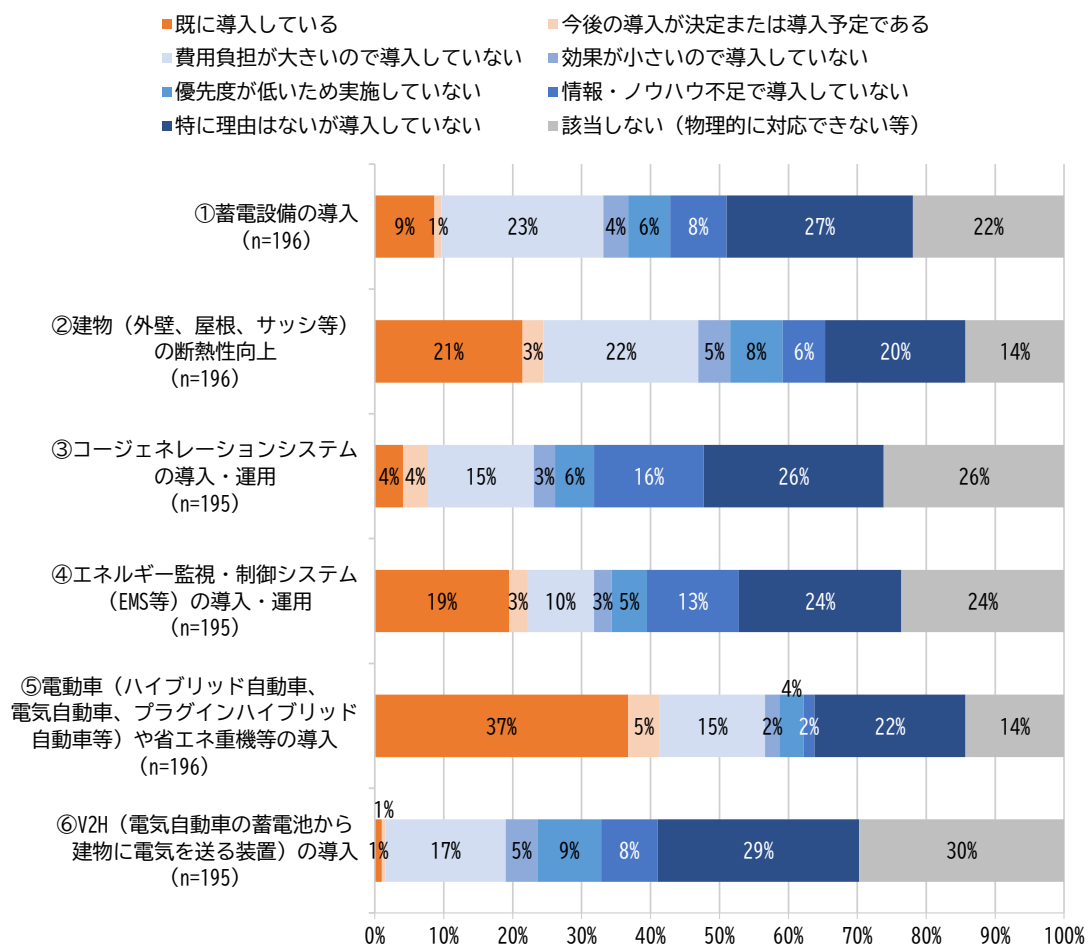
その他の主な回答：賃貸物件のため／テナント入居のため／新築や建替時において同時に検討効率も良いと考える

【事業者規模別】

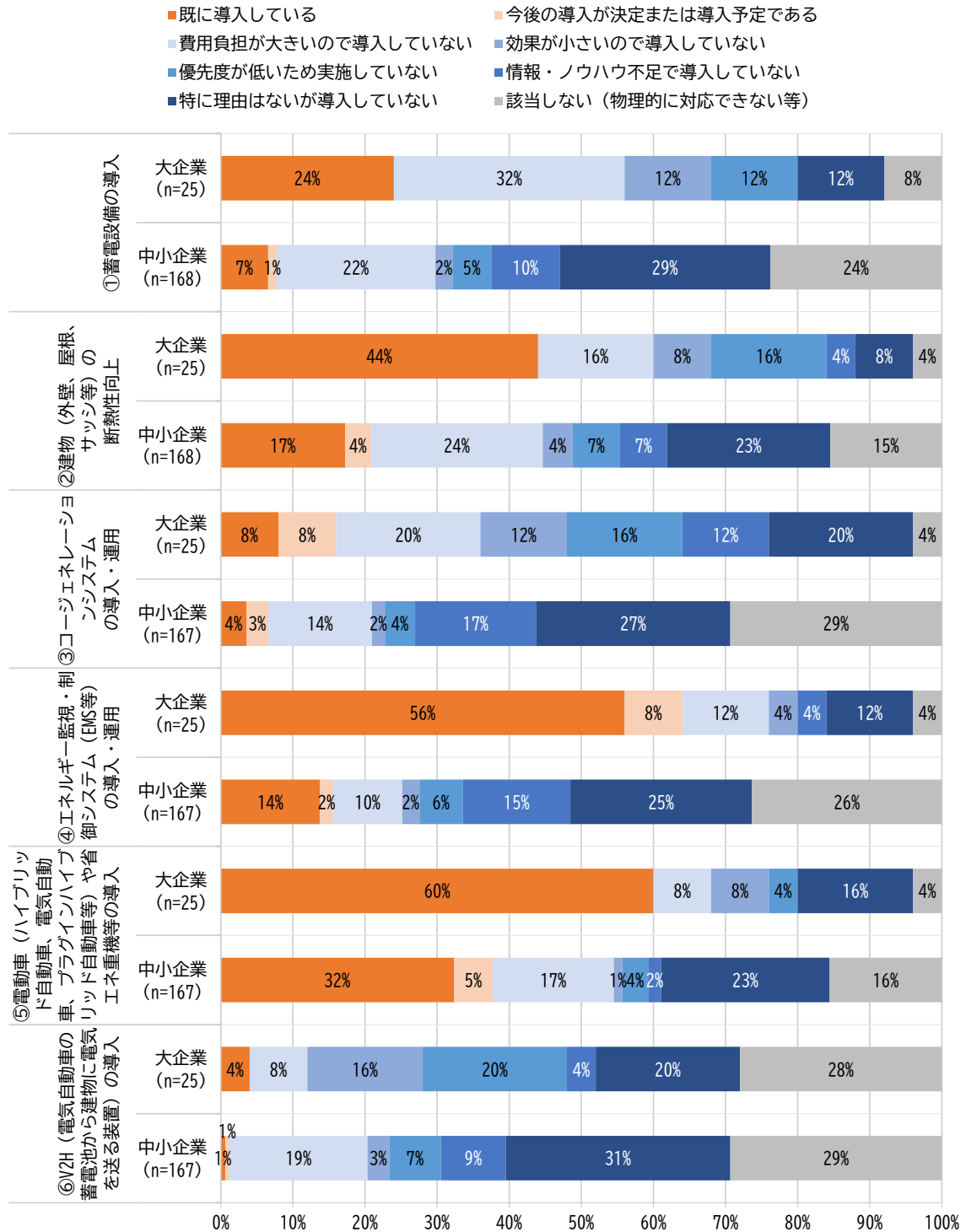


問 27-1 設備の導入状況

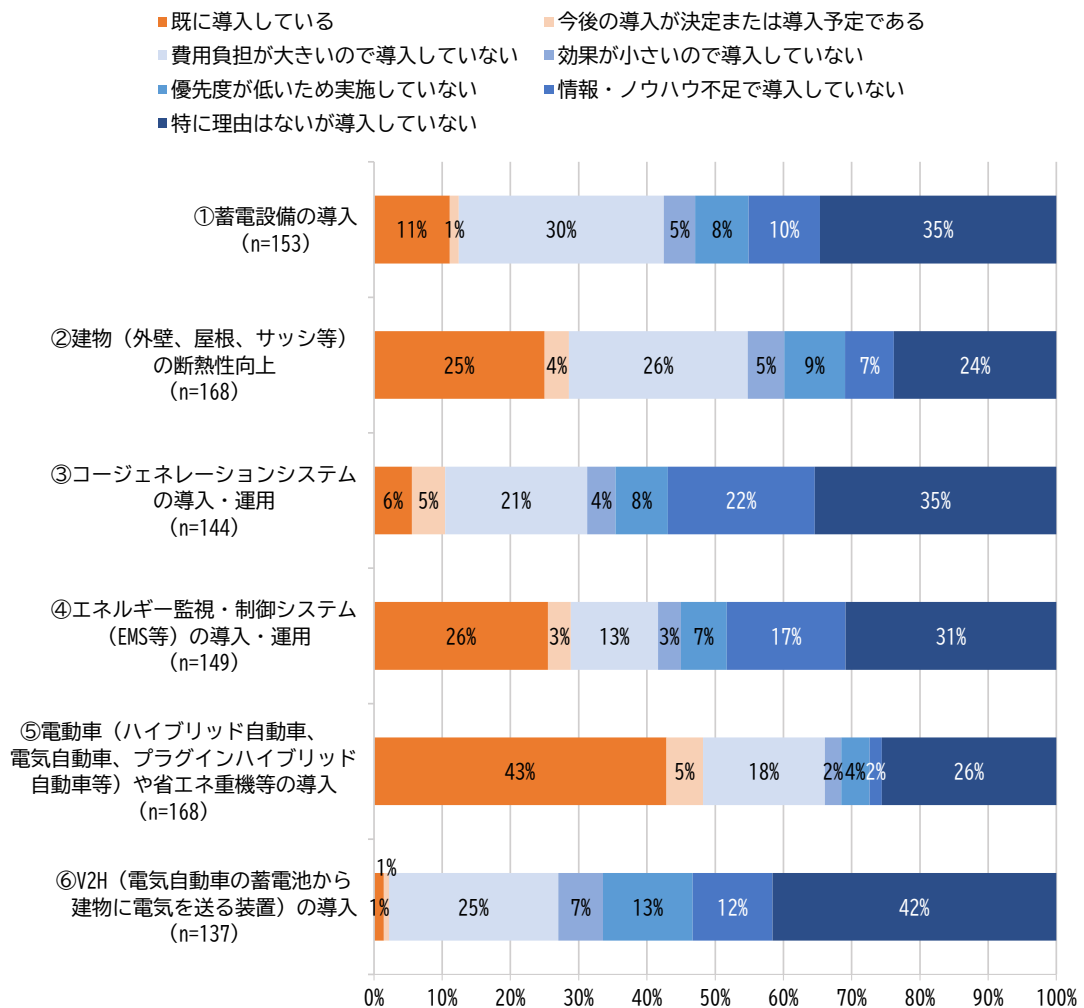
- ・“⑤電動車や省エネ重機等の導入”は「既に導入している」「今後の導入が決定または導入予定である」の合計が約4割で、他の項目に比べ最も高くなっている。一方、全ての項目で「導入していない」の合計が4割以上を占め、特に“⑥V2Hの導入”は「導入していない」の合計が約7割を占める。
- ・事業者規模別では、大企業は全ての項目で「既に導入している」が中小企業と比べて高くなっており、“④エネルギー監視・制御システムの導入・運用”“⑤電動車や省エネ重機等の導入”は「既に導入している」が約6割を占める。



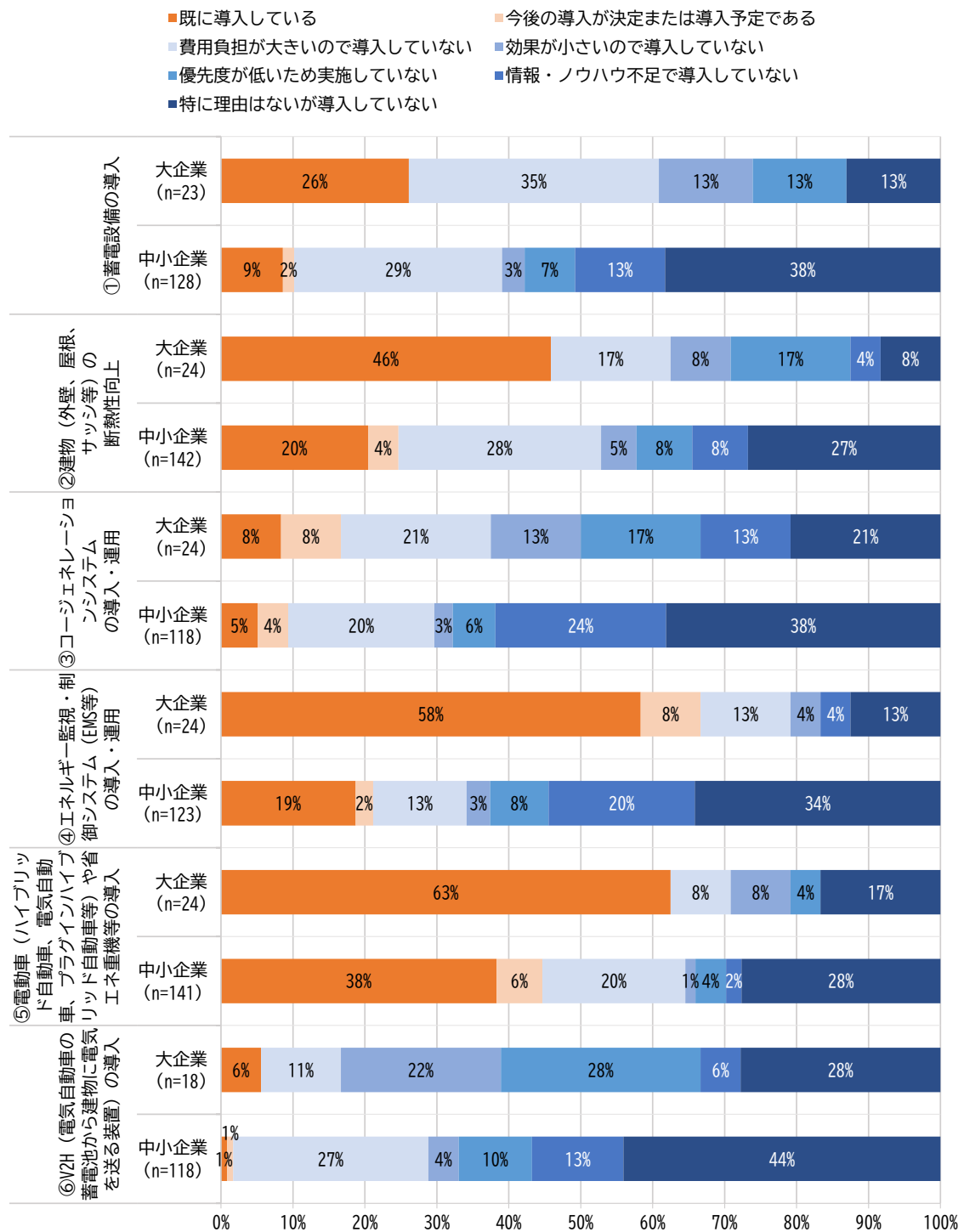
【事業者規模別】



【参考：「該当しない・わからない」を除いた集計（全体）】

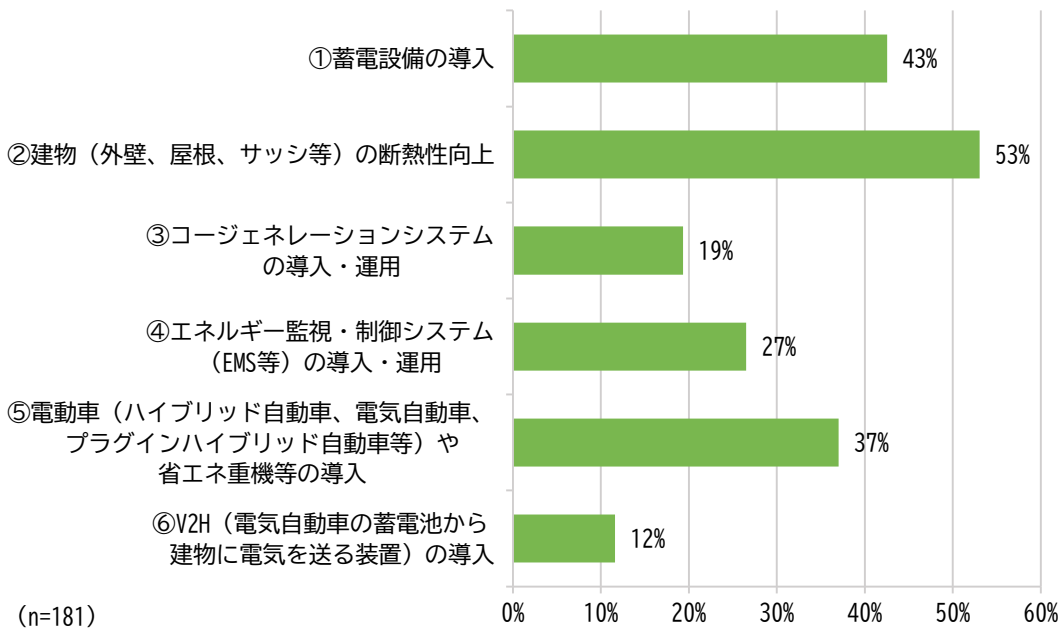


【参考：「該当しない・わからない」を除いた集計（事業者規模別）】

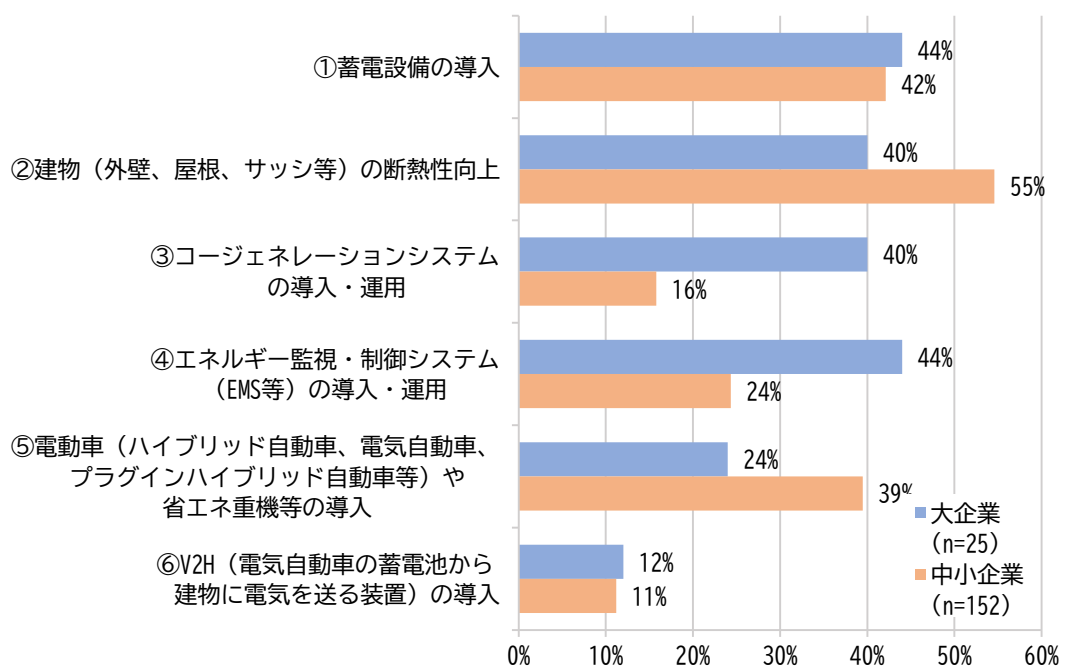


問 27-2 最も興味のある設備（複数回答）

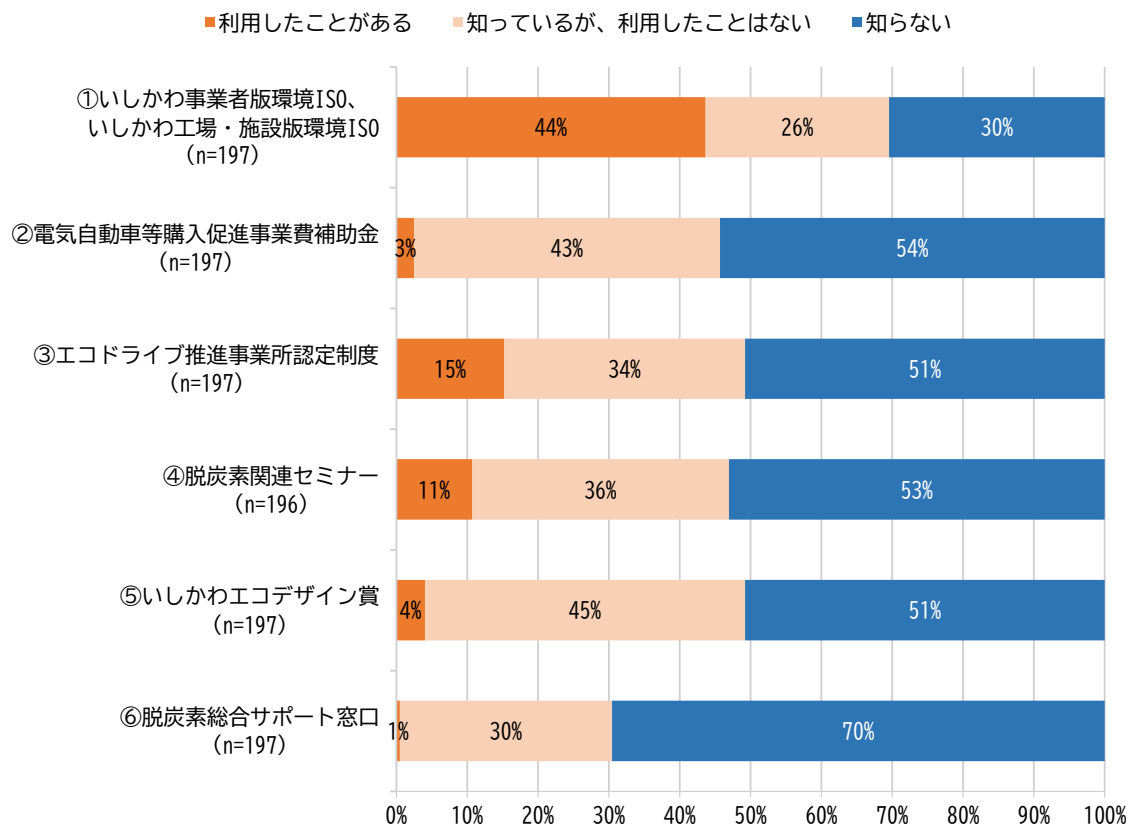
- ・「②建物（外壁、屋根、サッシ等）の断熱性向上」が 53%で最も多く、次いで「①蓄電設備の導入」が 43%、「⑤電動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等）や省エネ重機等の導入」が 37%となっている。
- ・事業者規模別では、大企業は「④エネルギー監視・制御システム（EMS 等）の導入・運用」が 44%で、中小企業と比べて 20 ポイント高くなっている。



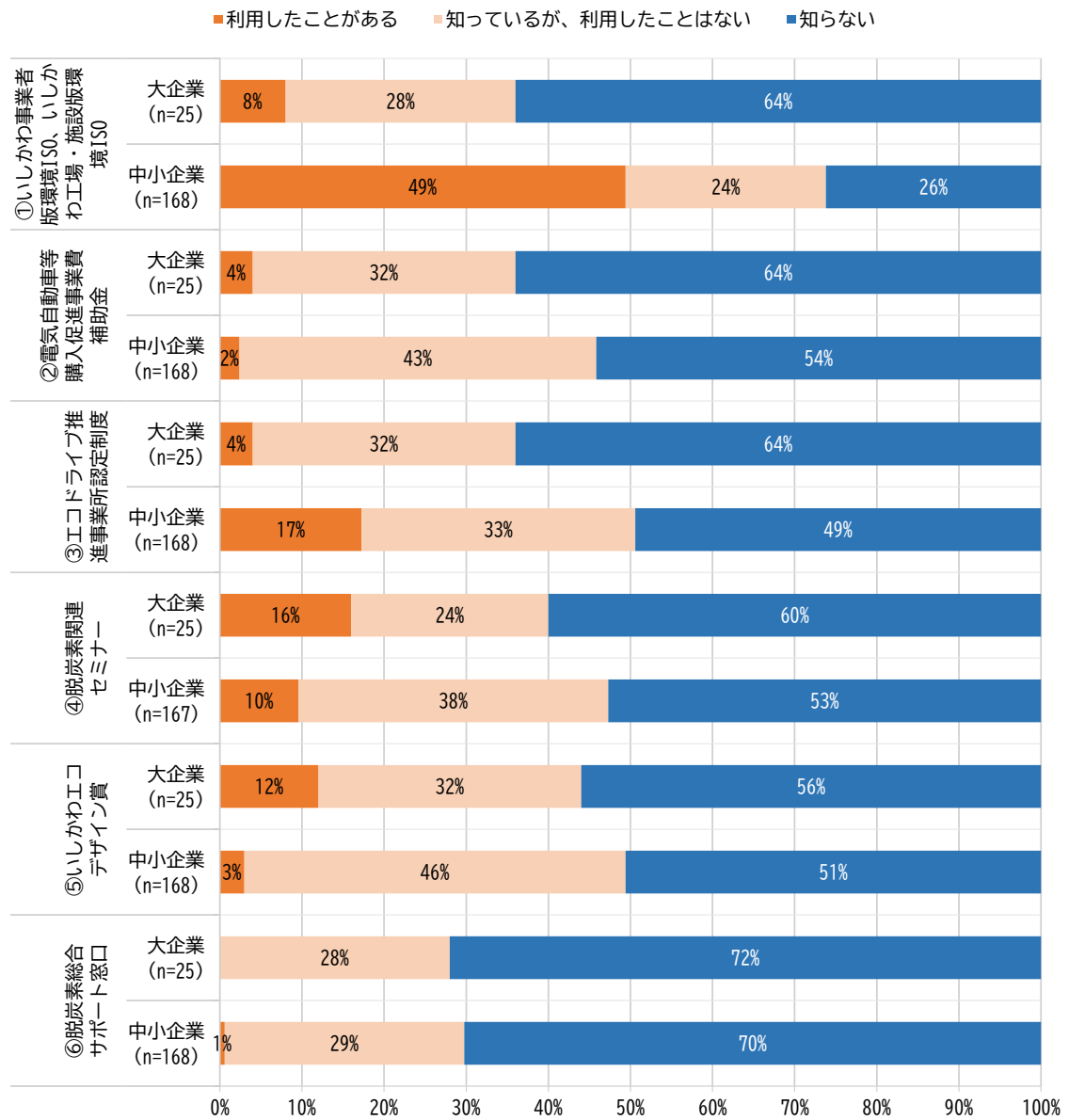
【事業者規模別】



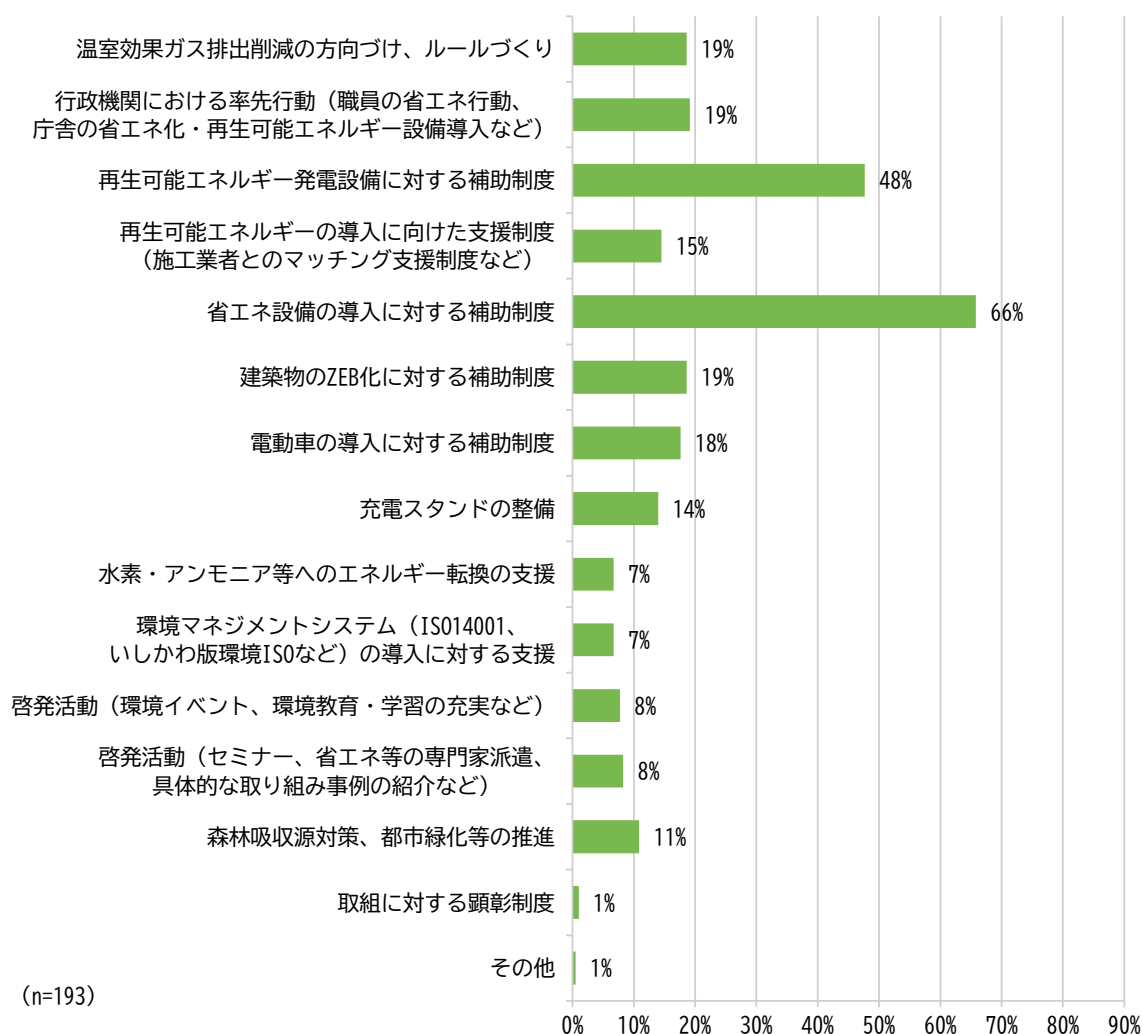
問 28	石川県が実施しているカーボンニュートラル事業の認知度
・ “①いしかわ事業者版環境 ISO、いしかわ工場・施設版環境 ISO” は「利用したことがある」が 44% を占める。一方、“⑥脱炭素総合サポート窓口” は「知らない」が 70% を占める。 ・ 事業者規模別では、“①いしかわ事業者版環境 ISO、いしかわ工場・施設版環境 ISO” において中小企業は「利用したことがある」が 49% を占め、大企業と比べて 41 ポイント高くなっている。	



【事業者規模別】

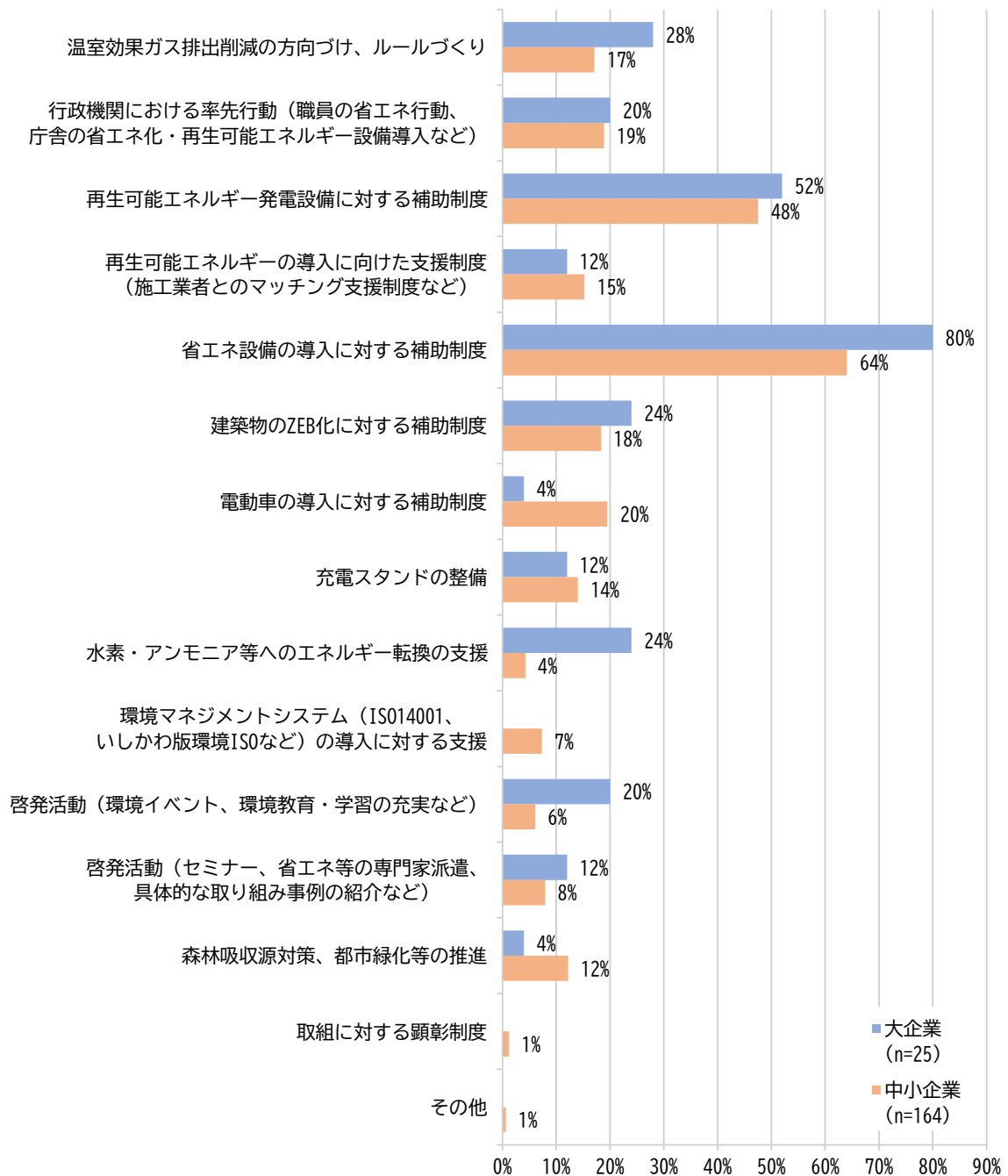


問 29	行政に期待する再エネ・省エネの取組（複数回答）
・「省エネ設備の導入に対する補助制度」が 66%で最も多く、次いで「再生可能エネルギー発電設備に対する補助制度」が 48%、「温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり」「行政機関における率先行動（職員の省エネ行動、庁舎の省エネ化・再生可能エネルギー設備導入など）」「建築物の ZEB 化に対する補助制度」がそれぞれ 19%となっている。 ・事業者規模別では、大企業は「水素・アンモニア等へのエネルギー転換の支援」が 24%で、中小企業と比べて 20 ポイント高くなっている。一方、中小企業は「電動車の導入に対する補助制度」が 20%で、大企業と比べて 16 ポイント高くなっている。	



その他の回答：民間に本業と関係ない仕事を増やさないルールの策定

【事業者規模別】



■自由意見

問 30	再エネ・省エネの取組の推進等に向けた意見や課題、要望
・「補助制度の充実」に関する意見が多くみられる。	

分類	意見内容	業種
補助制度の充実	補助金があれば進めていこうかなと前向きな検討ができる。	建設業
	再エネ、省エネ設備導入に対する補助金等の案内を取得できる、仕組みがあるとい	製造業
	い。	製造業
	費用的な課題がとて大きく感じる。補助金等の拡大検討を引き続きお願いしたい。	製造業
	省エネ、再エネの設備投資に関する補助金制度が今後もっと充足してくると良いと思	製造業
	う。当社のような中小企業では設備投資の決断が金額によって断念せざるを得ない事	製造業
	が何度あった。	製造業
	再エネ・省エネの推進のため、これまで以上に費用の負担が大きくなっている。それ	製造業
	に対しての継続的な補助の仕組みを構築を希望する。	製造業
再エネの推進	補助金制度の充実を望む。	製造業
	国、自治体からのCO2削減に向けた補助金制度の拡大を希望する。	製造業
	省エネの取り組みには多大なコストがかかる為、補助の充実がなければ難しいと考え	宿泊業・飲食サー
	ます。	ビス業
	本学が対象となるような補助金制度等があれば、情報のご提供をお願いしたい。	教育・学習支援業
	投資採算があわなければ導入することは難しい。もっと補助金があれば省エネ機種の	サービス業（他
	代替えも検討できるが現状では補助金が無ければ難しい。	に分類されない
	もの）	製造業
	北陸地域や日本海側で連携して水素・アンモニア・ブラックペレットなどのサプライ	製造業
省エネ設備の整備	チェーンの構築を推進してほしい。	製造業
	省エネ活動には、費用対効果の限界がありますが、将来を考慮すると再エネ推進が必要	製造業
	。特に太陽光発電が現時点で最も効率や投資を考慮すると最適であると思われます	製造業
	が、屋根設置などには重量的に古い建物には設置できない。国としてペロブスカイト	製造業
	が今後推奨されてくると思うが、開発が大幅に遅れまだ主流にはなっていないので、	製造業
	早く国としてバックアップし、ヨウ素発電方式を確立させていただきたいと思う。誰	製造業
	もが国産式を採用したく、これらの導入を促進していただきたい。	製造業
	太陽光パネルについては、CO ₂ 排出をライフサイクルの視点で考えると、メリットがあ	製造業
	るのか疑問なので、社会的にメリットがあることが分かると思う。太陽光パネル	製造業
その他	の材料は国内で全て賄われるかと言われるとそう無いはずで、海外から材料が輸送	製造業
	され、国内で製造、設置場所まで運搬、設置（重機での作業）、壊れたら撤去（重機	製造業
	での作業）、処分場まで運搬、処分。これだけの工程が考えられるが、そこで排出さ	製造業
	れるCO ₂ を踏まえてどれだけ削減できるのか。	製造業
	蓄電設備が一般化されるよう期待する事と、それらが廃棄されるときに再資源化や、	建設業
	安全かつ地球にやさしい廃棄計画の策定。	建設業
	現有既存設備の老朽化により設備更新には多額の費用が見込まれることから、課題は	製造業
	認識できているが対策を講じることが難しい。電力の脱炭素化・削減が前提となる。	製造業
	弊社石川工場では費用対効果のある省エネ施策はほぼ出尽くしている。わずかな削減	製造業
その他	のために使える設備まで更新となると無駄にエネルギーを使い、逆に地球温暖化にな	製造業
	ると思う。良い施策が出てくるまでは現状維持となる。	製造業
	今回のアンケートに答えてみて、知らないことばかりだった。企業として無理無く取	建設業
	り組めることは取り組んで行きたい。	建設業
	知らないことが多くあるが、今後、再エネ・省エネ取組みの知識を深めながら、着実	建設業
	に取組みの幅を広げていきたいと考えている。	建設業
	エネルギーの報告等の事務が煩雑すぎる。	製造業
	減産期に入ってしまうと目標達成（年率１％以上改善）が難しい。	製造業
	今回のアンケートは、事業所への内容ですが、個人が意識することが大切であると思	製造業
その他	う。アンケート内の単語に知らない言葉がいくつかあった。説明の備考を付けるなど	製造業
	していただきたい。	製造業
その他	職員２名の小規模事務所には不向きな質問が多いと感じた。	その他
		その他

再エネ・省エネの取組に関するアンケート調査

日頃から県政の推進にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、近年、地球温暖化による私たちの生活への影響が現れ始め、その対策が喫緊の課題となっていることから、石川県としても様々な取り組みを行っています。

この調査は、県内事業者の皆様を対象に、再エネ・省エネの取組に関する状況を調査し、その結果を今後の施策に反映させるために実施するものです。

ご回答いただいた結果は、全て統計的に処理を行います。個々の事業者名や回答内容を公表することはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご回答にあたってのお願い

- ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号に○印をつけてください。
質問によって、あてはまるものを「1つ」「3つまで」「全て」と指定がありますので、その指示に従ってください。
- ご回答は、次のいずれか1つの方法でお願いします。
 - 1 本調査票へのご記入による回答
 - ・回答を本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月12日（火）までに**、ご投函をお願いします。
 - 2 Web 回答フォームによる回答
 - ・**8月12日（火）までに**以下にアクセスいただき、Web 上で入力をお願いします。

再エネ・省エネの取組に関するアンケート調査 調査票

問 1. 貴事業所について教えてください。

事業所名			
事業所所在地			
担当者名		担当者所属部署	
担当者 TEL			
担当者 E-mail			
従業者数	_____人	資本金	_____円
事業形態 (当てはまるもの 1つに○)	1. 工場 2. 事務所 3. 店舗 4. その他(病院・宿泊施設など)		
主な業種 (当てはまるもの 1つに○)	1. 農業・林業	2. 漁業	3. 鉱業・採石業・砂利 採取業
	4. 建設業	5. 製造業	6. 電気・ガス・熱供給・ 水道業
	7. 情報通信業	8. 運輸業・郵便業	9. 卸売業・小売業
	10. 金融業・保険業	11. 不動産業・物品賃貸業	12. 学術研究・専門・技 術サービス業
	13. 宿泊業・飲食サー ビス業	14. 生活関連サービス業・ 娯楽業	15. 教育・学習支援業
	16. 医療・福祉	17. サービス業 (他に分類されないもの)	18. 公務 (他に分類されるものを除く)
	19. その他		

■環境への関心や意識について

問2. 貴事業所で重要な環境課題と位置づけているものを3つまで選んでください。

1. 資源・エネルギーの効率的な利用	2. 資源・エネルギーの循環的な利用
3. 気候変動リスクへの緩和・適応	4. 水使用量の管理
5. 水環境の保全	6. 大気環境の保全
7. 土壌環境の保全	8. 化学物質の管理
9. 廃棄物の適正処理・リサイクル	10. 生物多様性の保全
11. 地域の生活環境に係る問題への対策	12. 重要な環境課題はない
13. その他 ()	

問3. 貴事業所では、環境に配慮した経営や地球温暖化対策（省エネ対策など）について、どのような位置づけで取り組んでいますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 企業の社会的責任として取り組んでいる	2. 重要なビジネス戦略として取り組んでいる
3. 環境に関する法規制等の遵守のため取り組んでいる	4. ビジネスリスクの低減のため取り組んでいる
5. 取引先との関係上、必要となるため取り組んでいる	6. その他の理由 ()
7. 取り組んでいない	

問3において「7（取り組んでいない）」以外を選択した方にお伺いします

問4. 貴事業所での地球温暖化対策（省エネ対策など）の取組の目的について、最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 電気使用量の削減	2. 化石燃料（重油、ガソリン、軽油等）使用量の削減
3. 災害等に対するレジリエンスの強化	4. コスト削減
5. その他 ()	

問3において「7（取り組んでいない）」を選択した方にお伺いします

問5. 貴事業所で地球温暖化対策（省エネ対策など）に取り組んでいない理由について、あてはまるものを3つまで選んでください。

1. どのような対策があるのか知らないため（取組方法がわからない）	2. 初期投資（設備等）の費用を工面できない
3. 後継者がいないため、投資しても回収が見込めないため	4. 対策の投資効果（コスト削減、生産効率の向上、企業の競争力強化等）が明確でないため
5. 対策に関する人手が不足しているため	6. 対策の必要性を感じないため
7. その他 ()	

■再エネ・省エネ等の取組について

問 6. 貴事業所における温室効果ガスの排出量を把握していますか。

1. 把握している	2. 把握していない
-----------	------------

問 7. 取引先から温室効果ガスの排出削減を求められたことはありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問 7 において「1. ある」を選択した方にお伺いします

問 8. 取引先から温室効果ガスの排出削減を求められていると感じる場面についてあてはまるものを 3 つ まで選択してください。

1. 取引継続に排出量データの提出が必要	2. 環境監査の対象になっている
3. 新規案件で環境対応状況の確認がある	4. 環境関連の報告を定期的に求められる
5. 取引基準に温室効果ガス削減が含まれている	6. 取引先の Scope3 対応で削減要請がある
7. 取引価格に環境対応コストが影響する	
8. その他の理由で求められたことがある（	）

以降の設問は回答者全員にお伺いします

問 9. 温室効果ガスの排出削減にあたって、課題となっているのはどのような点ですか。あてはまるものを 3 つ まで選択してください。

1. 排出量の計算方法がわからない	2. 排出量把握にあたってのデータの収集・集計に手間がかかる
3. 排出量を把握しているが、削減方法がわからない、削減のためのノウハウがない	4. 排出量を把握しているが、削減にかかる費用負担が大きい
5. その他（	）
6. 課題と感じている点は特にない	

問 10. 環境に関するデータ、取組等を開示していますか。あてはまるものを 1 つ 選んでください。

1. 特定の取引先、金融機関等一部を対象として情報を開示している	
2. 一般の方を対象として情報を開示している	3. 情報の開示はしていない

回答者全員にお伺いします

問 11. 貴事業所での地球温暖化対策（省エネ対策など）の取組状況についてお聞きします。取組の状況について最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、実施の有無に関わらず、特に興味のある取組について、あてはまるものを3つまで選んでください。

取組内容	既に実施している	今後の実施が決定 または実施予定である	費用負担が大きいので 実施していない	効果が小さいので 実施していない	優先度が低いため 実施していない	情報・ノウハウ不足で 実施していない	特に理由はないが 実施していない	該当しない・ わからない	特に興味のある取組 (3つまで選んで○)
①排出量取引（カーボン・クレジット売買、カーボン・オフセット）	1	2	3	4	5	6	7	8	
②温室効果ガス排出量削減計画の策定	1	2	3	4	5	6	7	8	
③環境ビジネス （環境保全に資する技術、製品、サービス等を提供するビジネス）	1	2	3	4	5	6	7	8	
④環境保全活動への社員の参加、金銭的な寄附	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑤環境に関する社員教育の推進、セミナーや研修の実施	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑥環境マネジメントシステムの導入・運用 （ISO14001、いしかわ版環境 ISO 等）	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑦グリーン購入・グリーン調達 （環境への負荷ができるだけ少ない製品等の購入・調達）	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑧再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑨省エネ診断の実施	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑩生産設備の運用の効率化	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑪エコドライブ、アイドリングストップの実践	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑫道路輸送から鉄道輸送や海上輸送などへの転換	1	2	3	4	5	6	7	8	

回答者全員にお伺いします

問 12. 貴事業所では再生可能エネルギー発電設備（太陽光パネルなど）を導入していますか。

1. 既に導入している	2. 今後の導入が決定している、導入予定である
3. 関心はあるが、導入していない	4. 関心がなく、導入していない

問 12 において「1」を選択した方にお伺いします

問 13. 導入している再生可能エネルギー発電設備の詳細をご回答ください。

No.	再エネ 種別 番号	導入時期 西暦、月	設備容量 定格出力 kW	用途 番号	PPA での 実施 該当は○	備考 ※再エネ種別や用途で「その他」を選択された 場合、その概要を記載願います。
例	7	2015. 10	250	2		廃棄物焼却による発電
1						
2						
3						
4						
5						

(再エネ種別) 該当番号を選択			
1	太陽光発電（屋根設置型）	5	水力発電
2	太陽光発電（地上設置型）	6	バイオマス発電（木質やメタン発酵など）
3	太陽光発電（ソーラーカーポート）	7	その他（発電廃棄物利用など）
4	風力発電		

(用途) 該当番号を選択	
1	FIT・FIP 売電
2	自家消費
3	その他の売電

問 12 において「3」「4」を選択した方にお伺いします

問 14. 太陽光発電設備を導入していない方にお聞きします。導入していない理由は何ですか。

あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 景観が良くないから	2. 費用負担が大きいから
3. 適した設置場所がないから	4. 石川県の気候が太陽光発電に不向きだから
5. 屋根からの落雪が心配だから	6. メリットが分からないから
7. 必要な情報やノウハウが不足しているから	
8. その他（	）

回答者全員にお伺いします

問 15. 貴事業所では熱利用設備（地中熱を利用した空調設備など）を導入していますか。

1. 既に導入している	2. 今後の導入が決定している、導入予定である
3. 関心はあるが、導入していない	4. 関心がなく、導入していない

問 15 において「1」を選択した方にお伺いします

問 16. 導入している熱利用設備の詳細をご回答ください。

No.	再エネ 種別 番号	導入時期 西暦. 月	設備容量 定格出力 kW	年間の 運転時間 時間	備考 (※再エネ種別で「その他」を選択された場合、 その概要を記載願います。)
例	4	2015. 10	250	3,000	河川水の熱を利用
1					
2					
3					
4					
5					

(再エネ種別) 該当番号を選択					
1	太陽熱	2	地中熱	3	バイオマス熱利用木質ボイラーなど
4	その他の熱利用				

問 15 において「3」「4」を選択した方にお伺いします

問 17. 熱利用設備を導入していない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 費用負担が大きいから	2. メリットが分からないから
3. 必要な情報やノウハウが不足しているから	
4. その他 (	)

回答者全員にお伺いします

問 18. 貴事業所では省エネ設備（高効率空調など）を導入していますか。

1. 既に導入している	2. 今後の導入が決定している、導入予定である
3. 関心はあるが、導入していない	4. 関心がなく、導入していない

問 18 において「1」を選択した方にお伺いします

問 19. 導入している省エネ設備（高効率空調設備等）の詳細をご回答ください。

問 18 において「3」「4」を選択した方にお伺いします

問 20. 省エネ設備を導入していない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 費用負担が大きいから	2. メリットが分からないから
3. 必要な情報やノウハウが不足しているから	
4. その他 (	)

回答者全員にお伺いします

問 21. 蛍光灯が 2027 年に生産停止となることを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

回答者全員にお伺いします

問 22. 貴事業所では LED 照明設備を導入していますか。

1. 事業所内すべての照明設備の LED 化が完了している	2. 事業所内の一部の照明設備において LED 化している
3. LED 照明設備を全く導入していない	

問 22 において「3」を選択した方にお伺いします

問 23. LED 化を実施していない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 費用負担が大きいから	2. メリットが分からないから
3. 必要な情報やノウハウが不足しているから	4. 既存の照明設備がまだ使用できるから
5. その他（ ）	

回答者全員にお伺いします

問 24. 貴事業所において、建築物の ZEB 化に取り組んでいますか。

1. 既に取り組んでいる	2. 今後の取組が決定している、取組予定である
3. 関心はあるが、取り組んでいない	4. 関心がなく、取り組んでいない

問 24 において「1」を選択した方にお伺いします

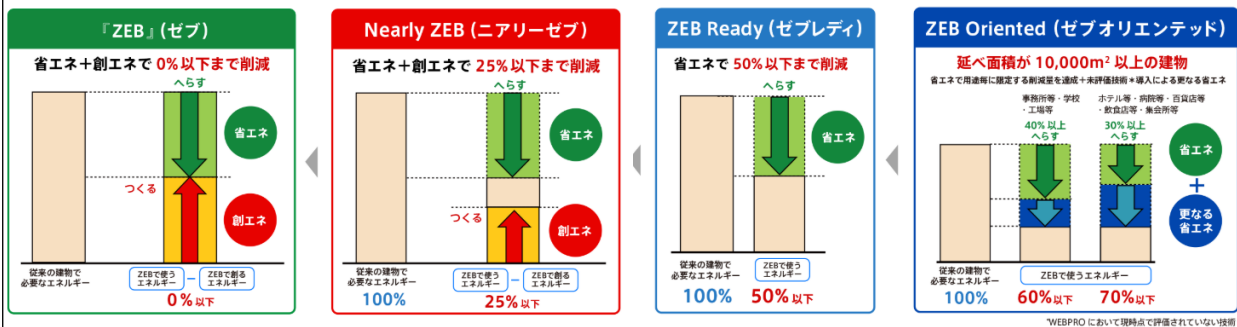
問 25. 貴事業所の ZEB 建築物について、下記の「ZEB の定義」をご参照いただき、あてはまるものを 1 つ選んでください。

1. 『ZEB』（ゼブ）	2. Nearly ZEB（ニアリーゼブ）
3. ZEB Ready（ゼブレディ）	4. ZEB Oriented（ゼブオリエンテッド）

【ZEB の定義】

出典：環境省「ZEB PORTAL」

1. 『ZEB』：年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物
(省エネ+創エネで 0%以下まで削減)
2. Nearly ZEB：『ZEB』に限りなく近い建築物として、ZEB Ready の要件を満たしつつ、
再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた
建築物 (省エネ+創エネで 25%以下まで削減)
3. ZEB Ready：『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な
省エネルギー設備を備えた建築物 (省エネで 50%以下まで削減)
4. ZEB Oriented：ZEB Ready を見据えた建築物として、外皮の高性能化及び高効率な
省エネルギー設備に加え、更なる省エネルギーの実現に向けた措置を
講じた建築物 (延べ面積が 10,000 m²以上の建物)



問 24 において「3」「4」を選択した方にお伺いします

問 26. ZEB 化に取り組んでいない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 費用負担が大きいから	2. メリットが分からないから
3. 必要な情報やノウハウが不足しているから	
4. その他（	）

以降の設問は回答者全員にお伺いします

問 27. 貴事業所では、次の設備等を導入していますか。設備の導入状況について、最もあてはまるものをそれぞれ 1 つ選んでください。また、導入の有無に関わらず、特に興味のある設備等について、あてはまるものを3 つまで選んでください。

設備等	既に導入している	今後の導入が決定 または導入予定である	費用負担が大きいので 導入していない	効果が小さいので 導入していない	優先度が低いため実施 していない	情報・ノウハウ不足で 導入していない	特に理由はないが 導入していない	該当しない（物理的に 対応できない等）	特に興味のある取組 （3 つまで選んで○）
①蓄電設備の導入	1	2	3	4	5	6	7	8	
②建物（外壁,屋根,サッシ等）の断熱 性向上	1	2	3	4	5	6	7	8	
③コージェネレーションシステムの導入・運用	1	2	3	4	5	6	7	8	
④エネルギー監視・制御システム （EMS 等）の導入・運用	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑤電動車（ハイブリッド自動車、電気自 動車、プラグインハイブリッド自動車 等）や省エネ重機等の導入	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑥V2H（電気自動車の蓄電池から 建物に電気を送る装置）の導入	1	2	3	4	5	6	7	8	

問 28. カーボンニュートラル社会の実現に向け、石川県で実施している事業者の取組を推進するための事業について、あてはまるものをそれぞれ 1 つ選んでください。

事業内容	ある 利用したことが	ない 利用したことは 知っているが、	知らない
①いしかわ事業者版環境 ISO、いしかわ工場・施設版環境 ISO	1	2	3
②電気自動車等購入促進事業費補助金	1	2	3
③エコドライブ推進事業所認定制度	1	2	3
④脱炭素関連セミナー	1	2	3
⑤いしかわエコデザイン賞	1	2	3
⑥脱炭素総合サポート窓口	1	2	3

問 29. 再エネ・省エネの取組に関して、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり
2. 行政機関における率先行動（職員の省エネ行動、庁舎の省エネ化・再生可能エネルギー設備導入など）
3. 再生可能エネルギー発電設備に対する補助制度
4. 再生可能エネルギーの導入に向けた支援制度（施工業者とのマッチング支援制度など）
5. 省エネ設備の導入に対する補助制度
6. 建築物の ZEB 化に対する補助制度
7. 電動車の導入に対する補助制度
8. 充電スタンドの整備
9. 水素・アンモニア等へのエネルギー転換の支援
10. 環境マネジメントシステム（ISO14001、いしかわ版環境 ISO など）の導入に対する支援
11. 啓発活動（環境イベント、環境教育・学習の充実など）
12. 啓発活動（セミナー、省エネ等の専門家派遣、具体的な取り組み事例の紹介など）
13. 森林吸収源対策、都市緑化等の推進
14. 取組に対する顕彰制度
15. その他（ ）

■自由意見

問 30. 再エネ・省エネの取組の推進等に向けて、ご意見や課題、要望等をご自由に記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。